臺灣日日新報　夕刊
四月二十四日
夕刊定價一部二錢
發行所 臺北市榮町四丁目
東京支局 東京市京橋區銀座七丁目
大阪支局

ヒトラー獨逸總統 第二次の爆彈宣言
近く山荘を出て伯林へ歸り 緊急閣議を開かん

【ベルリン二十三日發聯合至急報】ベルヒテスガーデンの山荘に引籠り對英佛戰爭の決策を練つてゐたヒトラー獨總統は愈々山荘を發足、近くベルリンに歸還、緊急閣議を開き第二次爆彈宣言を中外に宣明するものと觀られる

滿洲國皇帝陛下 嚴島を御巡覽
御日程を終らせらる

【宮島二十四日發】前夜香川縣榮島沖に假泊の滿洲國皇帝陛下お召艦比叡は二十四日午前六時半拔錨、午後一時宮島入港、聖崎沖に投錨、皇帝陛下には海軍ランチで同二時半商船波止場に御上陸、鈴木知事の御先導で嚴島神社鳥居前に進ませられ、野坂禰宜の御先導で廻廊を經て神社本殿に御參拜、それより宮島公園、千畳閣にお成り松山見晴臺に成らせられ四盈の風光を御賞覽、次で岩惣旅館の御貸館で御少憩後、宮司の御案内で千畳閣にお成り大シヤモジ等を御覽遊ばされ午後五時御歸艦、同夜八時御出港御歸國の御豫定である

照宮さま靖國神社へ御參拜

【東京二十四日發】目下學習院初等科第四學年に御在學の照宮成子内親王には鈴木皇子傅育官長及び野口事務官が御扈從申上げ二十四日午後一時九段靖國神社に御參拜あらせられた、照宮様の靖國神社御參拜は御初めにて御參拜後國防館、遊就館を御参觀あらせられた

建艦開始費を削減
大海軍論者の反省を求む
米國海軍豫算委員會で

【ワシントン二十三日發聯合】米國海軍豫算委員會は五億弗の一九三五年より三六年に亘る海軍豫算案を審議中であつたが二十三日その審査を終了した、右に依ると政府豫算案は二千八百萬弗を削減され四億五千九百萬弗に査定された、その費用は新艦二十四隻の建艦開始費で委員會は現下の國際情勢に鑑み削減したと述べ大海軍論者の反省を求めたものである、右豫算案の内容に關し政府當局は來年度海軍豫算案にて二千九百二十八萬弗を削減されその費目は新艦建造費だがこれはワシントン

ロンドン兩條約最高限度迄擴張充實する爲には莫大なる豫算を必要とし此の目的實現の爲には當局に於て米國國民を煩はすものであると述べてゐる

義捐物品

督府内震災救護事務所宛の二十三日までの震災義捐物品申込は左の通りで

△基隆市役所扱
醬油二四箱、福神漬一〇箱、鰹節二箱、澤庵一〇樽
△臺灣新民報社扱
白米二〇俵、砂糖、パン五千人分、衣類三十二點、福神漬詰九箱、ビスケット千四百函、鰹節八箱

大麥一二箱、蓬萊米一包、其他カマボコ、炭寸、毛布、バッグ等
△臺北市役所扱
[illegible]一〇梱越智支店、莫大小シャツ、靴下、二千七百枚松井呉服店、金線煉乳二〇梱梅本煉乳會社、同二〇梱[illegible]、皿一五〇箇金崎末吉氏

右物品の割當は基隆市役所扱、臺中、新竹兩州、臺灣新民報扱、新竹州へ、臺北市役所扱、新竹州へ

尚救護事務所では新竹、臺中兩州と緊密な連絡をとり要求必要に應じ即時發送を行つてゐる

入江侍從は けふ東京發
廿五日門司から乘船

【東京二十四日發】畏き邊りでは臺中州下震災罹災者の情況を御軫念遊ばされ、侍從を差遣はされる旨、御思召に依り入江侍從を御差遣あらせらるる旨二十二日宮内省より發表された、入江侍從は二十四日午後三時東京驛出發、二十五日門司出帆瑞穗丸で渡臺約二週間の豫定にて臺灣の皇室である、尚天皇皇后兩陛下には罹災民に厚く御慰問金をあらせられる御

桑木參謀長上京

桑木軍參謀長は東京で開かれる參謀長會議に出席のため二十四日午前八時二十六分臺北驛發上京した

各地懸命の救護
臺中州下三郡の狀況

◇豐原郡
一、負傷者救護狀況
内埔庄に於ては屯子腳に（市場、役場、和米工場の三ヶ所）及七塊厝、月眉に一時假救容所を設けたるも目下患者收容所建築に努力中なり
神岡庄に於ては神岡公學校雨天體操場の他新庄子、圳堵下溪洲の三ヶ所に假收容救護中にて患者の收容所は目下建築中にして二十三日中には二戸の完成を終へ之に收容の豫定なり
尚右兩庄管内の負傷者中一部は臺中醫院に入院手當中なり
二、救護班の活動狀況
臺中州の救護班三班醫師二名、藥劑師一名、衛生技師一名、技手五名、其他十名は神岡庄屯子腳方面に配置す
臺中醫院救護班（一班）醫師四名看護婦十名、臺南衛戍病院救護班（二班）軍醫二名、看護卒十一名、臺南州救護班（一班）醫師三名、看護婦八名、嘉義醫院救護班（一班）醫師四名、看護婦五名以上各班を屯子腳に配置す
臺北赤十字班（一班）醫師二名看護婦十名は神岡、屯子腳兩方面に配置す
高雄州救護班（一班）醫師二名、看護婦六名、臺中市救護班（一班）醫師一名、看護婦四名、其他二名右兩班は神岡方面に配置す
三、食糧の配給狀況
二十一、二日は臺中市及豐原街より炊出配給せり、爾後良好なり尚内埔庄は現地に於て炊出救助

總督、災害地巡視
北島拓務省殖産局長も同行

二十四日午前八時半臺北驛發災害地巡視の途に就きたる中川總督は同日中に內埔、月眉、屯子腳、神岡、豐原、石岡の諸地を視察し同夜は臺中千代の家旅館に泊するが二十五、六兩日の視察日程は左の如くである、尚一行中には北島拓務省殖産局長も加はり居り村山秘書官、渡邊嘱託が随行してゐる
△廿五日　午前九・五〇臺中發同一〇・三〇清水著、同一一・〇〇同地發、同一一・一五沙鹿著、同一一・四五同地發、同一二・五五梧棲著、午後〇・一〇同地發、同一・四〇後龍著、同二・〇八同地發、同二・四八竹南著、同三・二八新竹著（泊）
△二十六日　午前七・三三新竹發、同八・三五苗栗著、同九・五〇公〇・三〇頭份著、同一〇・一〇同地發、同一〇・四〇同一一・一〇同地發、午後二・〇二臺北著（石圍牆著同一一・二〇同地發、同一一・二五臺北驛著）

三、住居に對する處置
二十二日は前日同樣の方法を以て炊出配給を爲し副食物として福州味噌魚を適宜配給せり
右の外負傷者に對してはラクトーゲン煉乳等を配給せり
三、住居に對する處置
各部落の被害の程度により消毒を爲せり

四、住居に對する處置
內埔方面屯子腳市場及學校校庭に假小屋建設中にして本月中完成の見込なるを以て直に收容開始の筈
神岡方面圳堵に假小屋一ヶ所建設中なり
五、衣類寢具の配給狀況
神岡庄方面の罹災民四千名に對しては慰問品に依り配給せり
六、交通狀況
災害地方の交通に關しては警察官兵隊に於て完全に整理し居れり
七、管内に缺乏せる物資
食料品副食物不足を來すも右は臺中市より配給を受けつつあり
八、衛生狀態
一般に良好なり
九、其他
救護の要否及處置に就て目下調査中

中なるも神岡庄は二十二日朝より罹災者全部に白米の現品支給を開始せり

◇東勢郡
一、負傷者の救護狀況
災害發生と同時に郡職員の非常召集を行ひ庄役場其他官民協力の下に死亡者の收容をなし負傷者に對しては應急救護をなし爾後之を各部落に收容所を設けて之に收容せり
二、食糧の配給狀況
二十二日午後臺中醫院外四名にて各部落の負傷者に對し入院治療を勸めたる結果希望者四名あり自動車にて臺中醫院に送れり
四月二十二日各部落罹災者に對し炊出しを爲し弁當副食物の配給を爲せり

二、住居に對する處置
十二日朝約二千人に配給せり
郡役所裏庭に假小屋を建設中にして本月中に完成の見込なり現在に於てはテントを張り避難民收容中にて各個人に於ても假小屋を作り居れり
四、衣類寢具に對する處置
毛布約六十枚を貸與し居り
五、交通狀況
異狀なし
六、缺乏せる物資
臺中方面より米の輸送困難なるを以て滴水街の米屋に賣却を爲さしむべく手配中なり故に米に於ては差したる不足なきも副食物には不足を感じつつあり、然し之も南投、臺中方面より配給し得
七、衛生狀態
傳染病等に注意し居るも目下の所何等の異狀なし
八、其他の救護
田舍方面の救助方法に手不足を感じつつあり
九、救護の要否及對策に就ては目下調査研究中
（廿三日午前九時に於ける救護狀況午後三時受信社會課發表）

◇大甲郡
一、負傷者の救護狀況
負傷者は郡役所裏庭に收容し公醫四名、嘉義病院よりの應援醫師五名、看護婦四名其他各關係者を以て目下三、四十名の負傷者に對し全力を擧げて手當中なり、而して清水街民の救助は大體終りたるも田舍方面より傳々尚未だ負傷者散在せる爲收容不便なり

四、交通狀況
家屋の倒壞により障碍を來せるもの及切通しの如き場所崩壞せしものあるも大したる支障なし
五、管内に於ける缺乏物資
副食物（味噌、澤庵、鹽魚、鹽、醬、燈油）以上は東勢のみの缺乏にして州下全體の缺乏に非ず臺中市に於て配給すること
六、衛生狀態
目下天候良好の爲發病者なし其の他負傷者に對して成可入院を勸め居るも頑迷にして肯んぜず尚未だ負傷者散在せる爲醫療不便なり

力を考慮して假小屋を設け罹災者を收容すべく交渉中

その日その日

一視同仁の大詔が、今度の震災非常時に遺憾なく奉戴され、具現され實行された——
○
これでこそ皇國日本の眞姿も發露されるといふもの、聖上陛下には侍從まで御差遣ある
○
拓務省も、總督府も、政府も全力の限りはベストを盡してやつてゐる、凡ての手は震災地へ向つて差し伸べられた
○
罹災民に緊急な救護の手が届き日常生活資料が配給されれば、後は復興への一途——
○
元氣な槌の音に、萎縮してゐる民心も振ひ立つて、更生の新興氣分は之から日に日に湧き立つて來るだらう
○
滿洲國皇帝陛下、御訪日の日程を芽出度終られ御歸國の途へ、初の御印象はいかが——
○
日滿友交の大きな鎹は更に打ち込まれた、ガッチリと

三月眉の多忙を極むる診療所（下は炊出中の婦人會員）

同胞を救ふ義捐金
四萬四千圓突破
總督府救護事務所の受附分
本社扱の二萬圓も送達

督府内震災救護事務所に二十二日[illegible]

波滿、兩國の協定成立

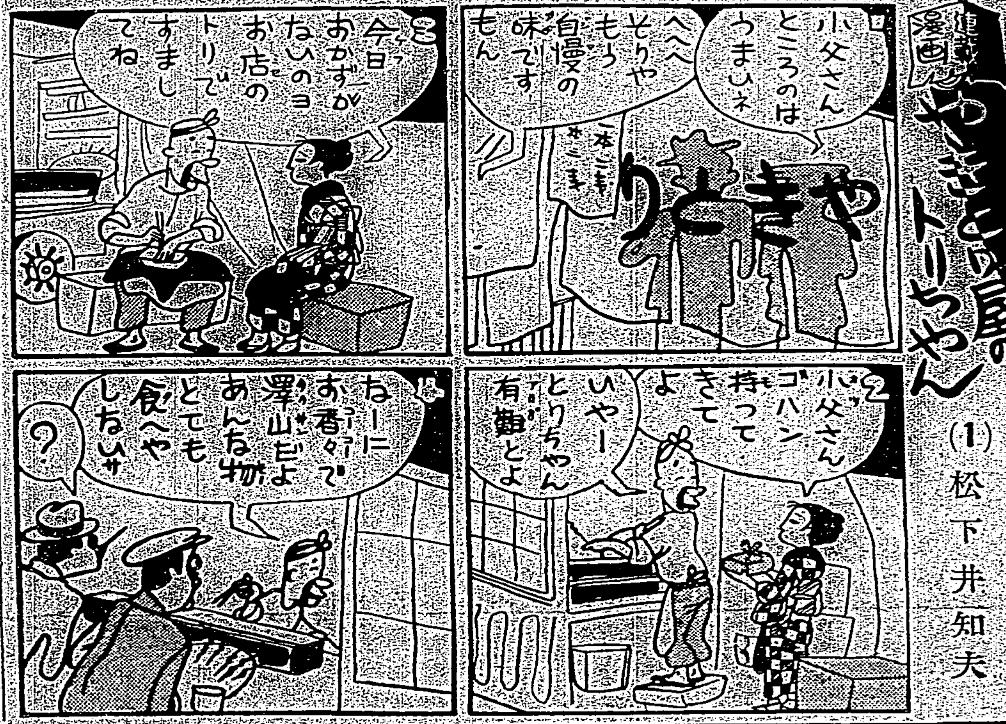
【ワルソー二十三日發[illegible]】ポーランド政府は露[illegible]

人事

▲佐伯叔作氏（日清生命重役）二十四日南部より來北（[illegible]）
▲國府重周氏（宇治山田市長）二十三日南部より來北（鐵道ホテル）
▲前田幸一氏（香港[illegible]）二十三日基隆より來北（[illegible]）

無絃琴

山段の大安溪には目下[illegible]



朗らかな人生 (25)

光明静夫作
田中比左良畫

永遠に貴男のもの（二）

「英雄さん！お待ちになつてゐたでせう、御免なさい、私の番もう終へてしまつたのヨ、ですからゆつくりしてゐてネ」
皿の上にフルーツを載せたのを運んで來た富美子さんは、悠然と僕に斯う言つた。
「僕、もうビールをちやんと飲んでしまつてこの通りですよ。まるで茹章魚みたいでせう。こんな醜態を貴女に見られるなんて全く穴があれば入りたい位ですヨ」
「そんな事はございませんワ。でもあんまりお飲みになると、お身體に毒ですわヨ。でも英雄さん！とても大人になつてしまつたんですネ」
「いつもく子供でゐますかつて

屈強な榮養食物 特許專賣 粉末 テルミニ

漢方研究家 森田醫學博士創製

斷乎！病氣を追拂ふ

米の母

步一歩と進んだ 強力榮養劑

「米の母」は白米の榮養的欠陷を補ひ、白米常食より誘因される諸疾患の治療豫防の目的を達す。殊に日本人に多い胃腸諸疾患、脚氣症に對して特効を有す

主要適應症
胃腸疾患 消化不良、食慾不振、胃酸過多、下痢、便秘
脚氣 [illegible]
結核及慢性疾患 肺結核、腸結核、[illegible]
虛弱、老衰 [illegible]

說明書 呈上
大日本體質改善協會
片倉榮養化學研究所
東京・京橋・五六七〇

〒 越智商店

少年團も參加して 配給に必死の努力
沙鹿でバラック急造に著手

(沙鹿にて島特派員)大甲郡沙鹿庄では庄役場派出所とな二三年前の新築建造にも拘らず全體に大ヒビが入つて全く危險なので、郡役所臨時事務所で要務を執務中である、庄内でも沙鹿、沙轆兩部落が最も被害甚だしく殆ど全滅の狀態で、鹿寮、竹林兩部落は大半破壞、昭和部落は、沙鹿埔子の二部落は被害輕微にして罹災民は現在三角公園、公學校、新築派出所等其他に大した被害はない、罹災民は現在三角公園、公學校、新築派出所等其他に天幕張りで約八百四五十名を收容してゐるが、二十三日夕刻より沙鹿八十戸、三十一戸(二百名收容)公館八十戸、三百二十戸四百人、鹿寮廿三戸九十一棟百十五人、西勢寮十五戸六十棟約百人の救護バラック急造に著手し、一兩日中に出來上り次第收容する事となつた、救護班は庄役場吏員、方面委員、各保甲、青年團、少年團及び婦人會等も參加して罹災品及び食糧の配給等に必死の努力を續けてゐる、臨時診療所は三角公園内に設けられて負傷者數十名が手當を受けてゐるが重傷者五名は彰化、臺中兩醫院に送られた、食糧品では白米の買入れに全力を注いでゐるが不足勝ちである、因みに庄内に八軒の精米業者があるが全部發動機を破損したので庄役場より修理して稼動作業を開始したが家屋内で作業すれば發動機の響きで時をりやつて來る餘震が感じられないので其の下敷きとなる恐れがあると從業者が逃げ廻るには庄當局もホトく困つてゐる

臺中州下の被害 七百二十一萬餘圓
死亡者は一千八百六十四人

【臺中電話】廿四日正午まで臺中州警務部調査による州下の被害見積次の如し(官公衙學校を除く)

郡	罹災者見込數	家屋損害見積額	大破損害額	計
東勢	二五、五四二人	五四五、五〇〇圓	二六、〇〇〇圓	五七一、五〇〇圓
豐原	三二、七〇六	二、〇三八、〇〇〇	二四三、七五〇	二、二八一、七五〇
大甲	四八、五〇一	四、二〇一、〇〇〇	—	四、二〇一、〇〇〇
彰化市	三三六	一〇、五〇〇	一四、〇〇〇	二四、五〇〇
彰化郡	五七六	五〇、〇〇〇	六、五〇〇	五六、五〇〇
大屯	六	五〇〇	—	五〇〇
計	一〇七、六六七	六、八四五、五〇〇	三九〇、二五〇	七、二一二、七五〇

死亡者、豐原郡一、四二六、大甲郡四〇五、東勢郡三二、彰化郡一、計一、八六四名

學用品教科書など 入手を督府に依頼
臺中州で學校關係の被害調査

【臺中電話】臺中州では今回の震災より學校及學童の被害狀況調査中であるが殊に被害の甚大なる所は學校關係の被害も甚大なる所であるが二十二日總督府より兩部長官の來中もあつたので二十四日午前中臺中州では善後策につき打合會を開いたが學用品及教科書の入手等については特に總督府に依賴する筈

大湖に復興氣分(路傍で店開き)

慰問品配給 本部を設置
臺中州で

【臺中電話】臺中州では今回の震災に對し各方面より多大なる金品の慰問を受けて感激してゐるが未だ統制立つた慰問取扱ひなく手違ひを生ずるので二十四日慰問品配給本部を州警務課に設けたが慰問品を贈られる各位は左の各項を承知せられ度い

一、慰問品は成るべく纏めて贈られ度い
一、內容品名及數量を表記され度い
一、慰問者名を明記され度い
一、配給になるべく條件を附せず當局に一任せられ度い
一、持參は左の何れかに(臺中州慰問品配給本部各郡の支部各街庄の配給所)

第十六驅逐隊の 芙蓉が基隆に入港
司令の大森大佐けふ 電信隊を率ゐ震災地へ

【基隆電話】中部震災救難の任に當る第五水雷戰隊第十六驅逐隊の司令艦芙蓉は既報の通り二十四日未明基隆に入港大正棧橋に繫留したが、海軍武官前田稔少佐、桑原市尹、林憲兵分隊長等は同艦を訪うてその勞を犒つた、同艦乘組軍醫官は飯盛夕顏、刈萱に乘込んで既に現場に急行してゐるが、司令大森尊太郎大佐は電信隊を率ゐて出北、午後より現場に向け出發した、第十六驅逐隊では芙蓉乘組み先任將校松田大尉を通して左の如く發表した

震災に對し海軍にては馬公要港部及び第五水雷戰隊第十六驅逐隊と協力救難作業に當ることとなつた、震災の報に接すると共に狀況調査並に

救護の

爲めに馬公より驅逐艦島風及び通信隊、衞生隊を通霄方面に急派せしめ又廿三日には驅逐艦夕風を同方面に增派、專ら罹災民の救難及び人心の安定に努めつつあり、第十六驅逐隊は南支警備より馬公に廻航の途次この報に接し急速補給を終り朝顏、刈萱を大安港に急派警備警戒に當り、本艦芙蓉は基隆に到航總督府及び海軍當局と連絡を執り救護班の派遣に當ることとなつて待機し要求に應じて本艦より所用方面に送ることとなれり

向松田先任將校は語る
第五水雷戰隊は訓練の一部を切上げて救難の任に當ることとなつたもので本驅逐隊は馬公で補給を終り二日間程休養することとなつてゐたのであるが震災の報と共に出動した、海軍では今回の震災を非常に憂慮して種々手配を行つてゐる、編隊は馬公からどんく送る外馬公要港部、鳳山無線電信所では總動員の有樣である、本艦は臺北及び現場と連絡を執つて現場に急派せる僚艦に指揮命令をなすものである

食糧や救護材料 災害地に送る
新竹州救護本部から

新竹州下の罹災地方は二十二日以來食料品其他の缺乏を告げ罹災民は生薑を噛つて飢ゑを忍んでゐると云ふ有樣で救助本部では取り敢ず二十三日白米六百十袋、鹽醃千五百斤、鹽鰺千五百斤、鹹菜二十五百斤、醤油百五十樽、小屋掛用十樽、醬油百五十樽、小屋掛用丸太三千二百本、二寸釘六百四十斤、亞鉛板一萬二千四百枚、五分板千六百坪等救濟材料繃帶二千三百本、ガーゼ、アルコール、ヨードチンキ其の他醫藥材料を送つた

六棟のバラック 一日で急造
梧棲街の救護狀況

(沙鹿にて島特派員)大甲郡梧棲街にかては震災後直ちに公共浴場前、郡役所前後、街中心の三ケ所に各々二棟五十坪宛のホンの夜露をしのぐだけのバラック急造に著手したが廿三日夕刻には全く出來上つたので收容最大限の罹災者を入れたが、街當局では更に半永久的バラックの二百戸を公共浴場に通ずる海岸道路上に建設して復興途上罹災者約五百名を收容すべく第二段の計畫を樹て、目下諸材料を買集めに大童の態である、施飲出しは街役場吏員により數を煮て舌刀十數名が大馬力で約八百人餘りの罹災者に配給してゐる

新竹州下の 被害

【新竹電話】二十三日午後十一時の新竹州下被害左の如し
△死亡二、三四五△重傷一、四〇二△輕傷二、〇三五△生死不明五△住家全壞九、八〇四△半壞八、三二七△大破一、九〇〇△小破三、五八六

應急措置の資に 義金中より三萬圓
本社より總督府へ寄託

州下の震災に對する應急措置に資する爲め本社では震災義金中より二十四日午前中までの分金參萬圓を同日總督府へ供託し罹災民救護の資として提供した、寄託者芳名の發表は

臺灣日日新報社

大口寄附者
けふ午前中に 本社へ供託の

義援金は次の通り

電信局や郵便局 また轉手古舞ひ
內地發信の電報が 五萬通も滯積

二十二日午後東京發信のものがやつと二十四日臺北に到着したと云ふ例もある、又島內發信も未曾有の繁忙さで震災地各局では用紙に缺乏を來しており電報を汽車で運んだ方が早いと云ふやうな奇現象を呈してゐる、一方電話も多忙を極め內地電話は通話時間を延長して二十一、二兩日は徹夜通話せしめ島內電話も各線の開通で運延しながらもやつと間に合つてゐるなど震災直後は遞信界に非常時を招來してゐる 日四千通を受けてゐるが、內地にはなほ五萬通が滯積してゐる由であるから肉親や知人の安否を氣遣つて內地から大震災地に寄せられる見舞電報は內地新聞號外が發行された直後から各郵便局に殺到し、臺北局ではあらゆる方法を講じて受信に努力し連日徹宵をつづけて每

東京市から 二萬圓の見舞金
市參事會で決定

【東京二十四日發】東京市では臺灣大震災に際し二十四日午前十一時より市參事會を開き協議の結果見舞として金二萬圓を贈ることに決定した

朝日機けさ 歸還飛行

新竹、臺中兩州下の大震災に派遣された朝日機は二十四日午前十時二十五分震災實況その他新聞資料を積込み多数の見送りをうけて臺北練兵場を離陸歸還飛行の途についた

本社映畫班撮影 大震災實況映畫
第二報全夜公開

▲新公園 七時より▲老松公學校校庭 七時半より▲稻江會館 八時半より(淸水神岡方面震災實況)

主催 臺灣日日新報社

臺北州で郡守 市尹會議
けふ會議室で

臺北州の郡守、市尹、警察課長會議は二十四日午前九時から州會議室で開催された、總督府管轄の通諜事項を示達、臺北州では今回の震災に引續き國語の本義明徵に關する件、地方制度改正趣旨及び關係法令周知に關する件外重要な指示事項に移り正午休憩後一時より指示事項、協議事項を各地報告の懇談を爲した

早坂教授が臺中州下を調査

【臺北電話】臺北帝大早坂一郎、臺北高校の□□兩氏は今回の震災地質調査の爲め二十二日午後六時臺北から二十四日午前九時台中驛に下車大甲、苗栗、卓蘭、清水、沙鹿、梧棲、神岡の調査をなし、二十五日東勢より京園に向ふ由

苗栗十六分間の山線開通

總督府鐵道部山線苗栗十六分間は二十四日朝開通した、因て豐原間は相變らずガサンカー運轉して居る

慰問品救恤品の 無賃取扱ひ
商郵兩船會社が

【神戶二十四日發本社特電】大震災に對し商郵兩船會社にかては内地から臺灣へ救恤品慰問品の輸出されることを豫想してその手配を進めてゐるが、兩社決定の上公共團體學校その他から送り出す慰問品救恤品は無賃取扱ひの便を圖ることに內定した、而して一方定期船は急遽動員する事と見込されて特に救援と最も迅速なる大阪からは早くも復興材料資込みに現地へ急がうとする商人の乘船豫約が多いものに限る

官公署公共團體のものに限る

右發表に際し大阪商船臺北支店では次の如く語つた
本社の方からも右樣の命令はありましたが私の方への入電ではまだ慰問品と確も正式に受けてゐないが、慰問品と云ふものは元より送り主共に官公署或は學校のやうな公共團體である場合に限り無賃で取扱ふことになつてゐます、それ以外に對する割引については未だ何とも聞いて居りません

震災繪葉書は一時間で賣切れ
あす第二回發賣

本社發行の新竹、臺中兩州下震災繪葉書は二十四日より發賣したが一時間後には早く賣り盡され直に追加印刷中で二十五日正午より第二回發賣をすることになつた

新竹郡から人夫百名應援に出發

【新竹電話】新竹郡では震災地慰問の爲め人夫百名を集め同郡庶務課長引率の下に二十四日出發した

補助憲兵けふ 原隊に復歸

震災地方一般の民心安定をみたので補災各地に派遣せられてゐた補助憲兵は二十四日午前八時撤去しに原隊に復歸した

不敵な泥棒
臺灣神社の石燈籠の唐金障子を盗む

臺灣神社の石燈籠の唐金障子二十八枚(價格約二百二十圓)が二十二日午前一時から二時迄の間に何者かの手で竊取されたので屆け出により北署刑事係ではこの不敵な泥棒を必死に搜査した結果、午後一時頃く真犯人を逮捕した、右は臺北市下崁庄四の二八李永陸(二)陳伯清(二)の兩名で目下樞密陳(五)兩刑事の手で詳細取調べ中

虎夫婦の名前 一般から募集
命名式は五月五日

先に圓山動物園に新しく虎夫婦を入れたが、一般から其の名前を募集する事となり、適當なものを選定して五月五日の命名式に發表する由で應募は同

あすの天氣
(臺北測候所發表)

臺北地方 東の和風晴一時曇
一區(北部) 北東の和風晴一時曇
二區(東部) 北の和風晴一時曇
三區(西部) 北の和風晴
(南部) 北の和風晴

概況(二十四日)七六二粍の高氣壓は本州を掩ひ東に移動七七五〇粍の颱風はパラオの北西海上に在り西北西に進み次第に發達する模樣本島は北部が曇他は晴荒、北の和風海上は穩であります

潮汐(二十五日)

	滿	干
基隆	午前三時四五分 午後三時四五分	午前一〇時五五分 午後一〇時五五分
淡水	午前三時二〇分 午後三時五〇分	午前九時一五分 午後九時五〇分

各地氣溫(二十四日午前十一時)

恆春 二八度 臺中 二六度
臺東 二七 臺北 二四
高雄 二九 基隆 二二
臺南 二九 那覇 二五
澎湖 二五 鹿兒島 —
阿里山 一三 長崎 一三
花蓮港 二六 石垣島 —

會葬御禮

謹啓 來る二十八日兩親の金婚式擧行可致候處今回中部震災の大慘事發生致し候に付新竹州臺中州下罹災民の窮狀に鑑み本式を取止め該費用の一部を救恤の資に寄附致し候間右に御諒承被下度候

昭和十年四月二十四日 吉川省三 敬具

臺日本社內

會葬御禮 脇坂安太郎

蚊帳優良品
廉價大賣出し
品質保證 本濱蚊帳(モヨギ色)

品名	六疊 六尺(七八)	八疊 六尺(七十)
木綿 若葉	五・〇〇	五・七〇
片麻 志賀	七・二〇	八・二〇
本麻 勢多	九・二〇	一〇・五〇
同 老松	一一・二〇	一二・七〇
同 晴嵐	一三・五〇	一五・三〇
同 比良	一七・二〇	二〇・〇〇

釣手 六太巻 二〇錢 二五錢 三〇錢 八〇錢 一円

ぬいめなしかや(白地 ボカシ)

品名	六疊 六尺(七八)	八疊 六尺(七十)
木綿 初花	四・五〇	五・〇〇
片麻 名月	八・五〇	九・五〇
本麻 薄雪	一二・五〇	一三・八〇
同 日ノ出	一五・六〇	一七・七〇
同 淺黃色ト藍黃色		
本麻 明涼紗	一〇・〇〇	一一・三〇
本麻 月姫	一三・〇〇	一四・五〇
本麻 初音	一三・〇〇	一四・五〇

御註文は振替東京四四九九番へ御送金を願ひます。代金引換にても御送金申上ます。
かや送料 大阪(七八) 七十五錢 (七十) 八十八錢
(全國御一報次第見本送呈)
日本橋印 西川のかや
東京 西川商店 日本橋
創業永禄九年(三百七十年)

蝱蟲軍 マクニンで零敗す
錠劑 ゼリー 粉末 十錠 二〇錢

王冠印事務用鉛筆 (全國到處文房具店)
サラリーマンの執務勉強にはれやかな社長と服んだ決算期 各地書店にあり

全世界の流行歌界を壓倒したヒット曲!
ダイナ
ディック・ミネ ラッキー・ミルス・バンド
ラッキーレコード

陸海軍志願
陸海軍人各種及少年航空兵志願者は「ガキデ必入大日本陸海軍」をみよ
東京本郷 大日本國防協會

來る!太陽映畫主題歌 母の歌 みなしご
偲ぶ想ひ 阿部幸次
乙女心 奧田英子
タイヘイレコード

生徒募集
(規則書申込要切手四錢)
五月十六日 夜間 每月十日開始
活動寫眞應用 設備內容全島一
臺北市蓬萊町參貳壹番地
公認 東洋自動車講習所 所長 工學士 島津恭夫

淺田飴
せき かぜ によし
よわき人によし

フケとりにワカミン

春の心得
オシャレ讀本
こんな記事は流行歌映畫の新語豫告ホームライフ四月號(四六倍四〇頁)色刷表紙に出てゐます。春の持物をお求めになる前に、東京日本橋本町玉露會社へ御申込み下さい

旨いなあ 得だなあ
カルピス
アスーム

ハイキングの歌
懸賞當選歌
作詞 西口淸隆 作曲 江口夜詩 唄 青山薫
鐵道省 日本旅行協會 大阪每日新聞社 東京日日新聞社
野に擴がり山に谺するこの歌のコーラス!
好きだけれど 中野忠晴
さくら日本 伊藤久男
コロムビアレコード
製造發賣元 日本蓄音器商會

一つ如何です!盗れる樣な健康を生む活力の素は此の中にありです
舌鼓を打つて服める藥は、たゞ此の一つ!ポケットにバッグに是非
お手持ちの容器を每日御常用下さい、徳用包が一番經濟的です
仁丹 仁丹 仁丹

近代味覺の尖端にたつ
素晴しくうまくて……滋養になる
アサヒ・ノーヒール
家庭向として小瓶もあります
臺北・臺南・花蓮 輸入元 越智商店
製造元 大阪 アサヒ飲料會社

親鸞聖人（189）

吉川英治作　山村耕花畫

女人篇

雲母月夜（十二）

月輪の里まで送つて行くつもりであつたか、姫を乗せた牛車が四五町行くと、彼方から、畑の畑と人影とが駈けて來るのと出會つた。人々は、手に〱松明をかざしてゐた。又、太刀だの、長柄だのを携へてゐた。そして此方の牛車を見かけると、「怪しげな若輩、通すな」と取り囲んで、罵り騒いだ。性善坊は、挨く察して、「もしや、各々は、月輪殿のお召使ではありませぬか」「さればか……さういふ所を見ると、おぬし達は、姫ぎみの身に就て、何か存じてゐる所があるに相違あるまい。姫は、何うしたか、存じ寄りもあらば教へてくだされい」「その玉輦ならば、これからお館へお送りしようと考へてこれまで參つた所です。おつつがなく、牛車のうちにお在で遊ばされる」驚かと疑つてゐるらしく、初めは、さらい性善房の面を睨みつめてゐたが、やがて、前後の事情をつぶさに訊かされたうへ、姫のために車を東へて、車の側に歩行してゐるのは聖光院門跡の範宴であると訊かされて、月輪家の人々は大地へ手をつかへて、

「知らぬ事とは申せ、無禮の段、おゆるし下さいませ」「これこそ、あらたかな御佛の御加護と申すものでございませう」「お館のおよろこび如何ばかりか……」「いづれ改めて御挨拶に出向きまする」「ああ、ほつとした」「ありがたい」と、云つても云つても云ひ足りないやうな感謝の姿を繰返して、人々は、姫の側近くに集まつた。覺明は、牛の手綱を渡して、「では、確に、姫の身は、お渡しいたすぞ」「はい……それでは」と月輪家の者が代つて曳いた。姫は、車の裡から、「この車まで、いただいては」と、遠慮して云つた。

「どうぞ、その儘」範宴は、姫の顏を、その時は前よりも少し鮮かに見た。姫は、涙でいつぱいになつた眸で、頭を下げた。その黒髪の紋はもう崩れだした枝に蛇々とうごいてゐた。召使たちは、何分にもお館の心配を一刻も早く安んぜねばと急ぐやうに、車の返轡を轢のことばは明日改めてとばかり先をせいて曳いて行つた。廻る輪の光を曳き描いて、轍は白い道に二筋の痕をのこして遠ざかつた。キリ、キリ、と闇な闇に消えてゆく車の音に、範宴は、いつまでも立ちすくんでゐた。おそろしい力が今、自分の假姿をもいや生命までも肉と魂とを引き裂いて胸のうちから引つ張つてゆくのではないかと氣づいて、愕然と、われに回つた眼で、雲母刷りの月を探した。

映畫物語　世界の終り
アベル・ガンスの名作

この映畫は、カミーユ・フラマリオンの天文學說からヒントを得て作られたスペクタクル映畫です。世界的名監督フランスのアベル・ガンスの原作、脚色主演に依つたものでカメラはＪ・クリューゲル、ルーダコフの二人です

……☆……

近代物質文明は極度に發達しそれがため今や世界はますく混亂に陷り、道義は亂れ時代の生み出すものは戰亂と破滅、ただこの道ばかりであります

……☆……

ここに、豪華を誇る巴里の都！二人の兄弟がありました。兄のマルチアルは天文學を研究し、弟のジャンは愛の福音を唱へて、ともに汚れ多い現世の救ひを一生の念願としてゐたのでありました。ジャンには天文學者ミュルシーの娘でジュヌヴィエーヴと云ふ戀人がゐましたが、兄も彼女を愛してゐることを知ると自ら身を引いて二人の幸福を計るだけの兄思ひの弟でした――かくて、すぎゆく日の流れ――そしてある日、陸軍のベンチで愛人のジュヌヴィエーヴはジャンに……☆

「この頃のジャンはずゐぶん變つたのね『兄のために……』」から思ふとジャンは悲しくなるのでした

しかしジャンの心は人類愛の福音を說く以外何ものもありませんでした。そのジャンが或る日裏街で「愛の福音」を說いてゐる時、裏街の人々は心なく罵つて石を投げつけます頭に傷を受けたジャンは入院しなければなりませんでしたが、やがて自分は發狂する身であることを知りました。一方兄のマルチアルは天の觀測に沒頭してゐましたが遂にある夜ヘルクレス座の新彗星が地球に向つて突進しつつある意外な大事件を知つたのです。もしも衝突すれば此の地球は一瞬にして木ッ端微塵！悲しい終末を遂げなければならないのです。しかもそれは僅々二ヶ月の後に迫つてゐる危急の狀態さうなるとたちまち金力と情慾との鬪爭が激浪のやうに全世界を襲ひ、修羅場に陷つてしまひました

……☆……

この時、貪慾なショーンブルグは利をもつてミュルシーを誘ひ娘を自分の手に握らうとしてゐましたが、これに對抗してウエルステルはマルチアルと組んで人類救濟、眞善美の理想の世界建設に向つて努力しました。この混亂の最中ジャンは發狂しました。ジュヌヴィエーヴはその枕邊で一度は自分の不實を詫びたが、迫り來る世界破滅を前にして最後の時を享樂しようと再ショーンブルグの許へと歸つて行きました。しかし、彼は自分の詐欺的投機をウエルステルに無電で放送暴露される事を早くも察し、それを防禦しようとして墜落慘死――といふ哀れな結果をとどめました

……☆……

さて愈々彗星は地球に刻一刻と向つて進行を速めて來ました。地上では或る者は救ひの祈りをあげ、或る者は最後の享樂を求めてゐます。だが、中にはこの世の終りを眼前に見ながら、最後の時まで世の人に盡す健氣な人々も居ました。……遂に彗星が地球に衝突した！と思はれたその瞬間、世の人々はマルチアルを中心にして、人類愛の建設へと立ち上ります人々は今こそ全く利己の世界から蘇つたのです。共賑きの裡に幸にも彗星は地球を外れて進んだ。やがて地上には愛と幸福の和さが甦り更生した住みよい世界が再び開かれるので在ました（寫眞は其一場面）

▲配役▼

ジャン・ノヴァリック……アベル・ガンス
マルチアル・ノヴァリック……ヴィクトル・フランサン
ショーンブルグ……サムソン・フェンシルベル
ウエルステル……ジョルジュ・コラン
ジュヌヴィエーヴ……コレット・ダルフーイユ
ミュルシー……ジャン・デイトード
イザベル……シルヴィー・グルナード

便箋

東寄、句歌無制限、何人も投書し得、宛名は本欄係

△渇に狂うた心の鈍に落ちて行く世の地獄路　臺北　小紅
△うその落場はティーも嗤い五色に染分けて　臺北　曉光
△折るにや惜いが病の母へ見せて上げましよ櫻花　櫻花　國語
△見栄は張らねど二國の緣と樂しい君の底　臺北　一笑
△花に浮かれて居るその暇に散らつた文机　臺北　春月
△花は數々こぼれて咲けど袖を引かせる花はない　臺北　光
◎モダンガールもちやほされ風情は添はぬ櫻吹雪を浴びて　臺北　無常
◎見てやれ深山に雄々しくも守る銃後の敵國百合　臺北　八起

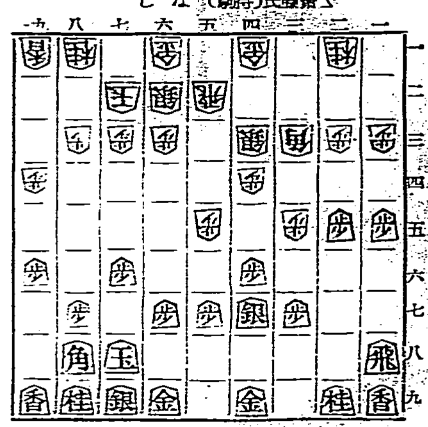
雜誌紹介

▲あらたま（五月號）雲間より庭に射す日のあかるければ向へる兎を築山に放つ（正治）その他同人の作品研究等を收めてゐる（定價二十錢　市內本町一ノ二二番發行所）
▲東方の國（九ノ七）滿洲國皇帝陛下御來訪を記念して滿洲の特輯號となし、滿洲に關する各種の記事を滿載してゐる（定價二十錢　東京市麻布區笄町六八　東亞社）

名家敗退將棋（三十九）

（齋藤氏二回勝二人目）

香角香　七段　△齋藤銀次郎
香落番　四段　▲鈴木禎一



▲一四歩△同歩▲同飛△二三歩▲一八飛△三三金▲五八金右△五四銀▲六八銀△四三金▲二八飛△八二玉▲六六歩△七二金▲六七銀

▲鈴木四段曰く　一四歩は豫定で私の實驗では歩を手に持つてをれば種々活用が生じるものですから

△齋藤七段曰く　三三金は五一に寄つては防禦は厚くなつても左翼が薄くなつて危險が生じませう

▲鈴木四段曰く　六八銀で相當手厚くなつてゐるが[illegible]いと思ひます

◇大崎八段評　齋藤君の四二金は左翼を守らうとしては[illegible]なければ單に手厚く指してゐては金香の空き筋になるは明らかである[illegible]

▲鈴木四段曰く　六六歩は六七銀と繰上げる考へで敵に六五銀と出られるを防いだのではありません六六歩で[illegible]此金を攻めに使はないと面白くありません

修羅時鳥

新興キネマ特作　嵐寛壽郎主演

▲大衆小說として多大の好評を博した吉川英治の『修羅時鳥』を亜木鷹太郎とマキノ正博が監督映畫化したもので、嵐寛壽郎の主演になる新興キネマの特作、嵐寛壽郎、高津慶子、月宮乙女が助演してゐる
▲中野かほる、三好の『子を持つ遊女』（主題の友達戰・川村花菱原作）と共に二十五日より臺北芳乃館で上映される
▲物語は！――[illegible]に名ある六萬石篠所城の當主本田長政守名代の床にあり家老大山將刀等家臣の陰謀に陷える時、六萬石の後繼者宮之助丸は[illegible]、左近は[illegible]その上日夜を酒宴に過してゐた。左近は一旦城を脫けたものの、再び捕はれて天守閣に幽閉されて了つた

この頃一世の富限者として今を時めく銀兵衛門が、竹生島諸佛參詣に大津へ來ると云ふ事を知つた本田家では、借財の好機とばかりに銀兵衛門を招いたが、それを知つた銀兵衛門は五月雨さに人目を避け、住吉詣にと道を變へ、その途上逢坂山で浪人戸[illegible]

[illegible]十郎の兄乃に遊れる。しかもその最期の言葉[illegible]の山と殿に隱された五十萬石大れを繼ぐべき一子井太郎の行方不明、[illegible]は時鳥の羽根の品と聞いたが、[illegible]兵衛・兵十郎の兩人で、この共同で[illegible]を手に入れ、五十萬兩横奪を企てる。

所が浪人篠岡政次郎は、兵十郎等の此の秘密を知つてしまつた。しかもその猶が、篠所城天守に捕はれる衣江の頭にあると知つたのが、篠岡政次郎。大盜にも銀兵太郎と名乘り、單身城中へのり込んだ。

暁人眞の銀兵太郎も城中にまぎれ入つて衣江救助にかかつてゐた。騷々する乙等の人々忍從として求めるお猫の壁に、おろされた謎から選ばれたのは誰か十國、果してこの勝負は如何になるか――
▲と云つた興味一〇〇パーセントのものの配役は左の通り

大山將刀（嵐寛壽郎）[illegible]

幸運な尾上榮五郎
『太閤記』に主演
新興の賣出し方針成る

新興キネマの要望に應じて松竹京都から轉社した尾上榮五郎が第一回主演映畫は矢田挿雲氏の『太閤記』と決定したが、これが著手に先立ち鈴木澄子の『お傳地獄』へ特別出演する事は先生の意氣物愛いものがあるが新興キネマでは從來行はれたスターの賣出し方法を變へて『太閤記』全十卷を榮五郎主演に當て、[illegible]これに就いて酒井坊撮影所長は語る

『一本位主演して世の中に出てもパットしないのが現在各社スターです榮五郎の場合は全然趣きを變へて『太閤記』十卷を以てチャンチャン賣る考へでゐますまあ見てゐて下さい、こちらには自信があります』

臺日案內

書籍　新常用語辭典　臺北市榮町一丁目　新高堂書店

料理屋　生そば　辨金京町店

寫眞　オリエンタル　臺北榮町

時計眼鏡　新カメラ　特賣　臺北市榮町

世帶道具　メガネ專門金光堂

藥種商　無煙風呂

雜件　インキツト

月やく　最も信用ある

樺山アパート　臺北市樺山町

家財道具

電話商品券・金融

小玩具・食料玩具　楪健三商店

ハギレ卸　困津村合資會社

春夏　子供服　婦人服　カタログ贈呈　大阪市東區谷町　瀧本合名會社

カタログ値段表進呈

メリヤス　春夏物品揃　合名會社オーミヤ本店　大阪東區北久寶寺町三丁目

キユーピーマヨネーズ　春のピクニックにも毎日の御食膳にも

御園チタミーム白粉　50セン　化粧上り明るく冴えて華やかに清新なうつくしさ

その御園固ねり白粉　35セン　色味にツキに新鮮味あふれて個性の美を向上させる最新白粉

御園つぼみ白粉　40セン　濃淡自由に水でとけて特別ノビのよい固ねり

御園固煉白粉　50セン　お風呂などへの御携帶に便利な金屬容器入（白色）

効力・火持！他に比類なく需要者本位で眞に經濟的です！

一番ヨクキク　金鳥の渦卷蚊取線香（キンチョーウヅマキ）

蠅　南京蟲　家ダニ　退治に……キンチョール

新竹臺中兩州下震災被害
欽派侍從視察慰問
廿四日正午由神戶啓輪

二十三日午後六時半。由宮內大臣。電達臺灣總督內容如左。九重聞貴管內震災。被害不少。欽派侍從入江相政。而中川總督。立對宮內大臣發謝電。問本島新竹臺中兩州下震災。九重欽派入江侍從。不勝恐懼感激之至。謹謝天恩。即請代奏聞。臺灣總督中川健藏。又總督府職員一同。皆深感激皇室旣大無邊仁慈。而對災害善後處置。加一層盡力。又入江侍從。擬于二十四日午後三時發東京驛。二十四日正午。搭乘神戶出帆瑞穗丸。望臺灣解纜云。

文教局震災救護
開緊急幹事會
以後每日午後開例會

二十三日午後一時。于文教局長室。開緊急震災救護幹事會。深川局長以下中島主計。石井地方。中田會計。高橋衛生。桝山秘書。高橋文書。森田警務。王野社會。須田商工。佐治營林署庶務各課長出席。就新竹臺中兩州下救護狀況。殊如由新竹州。要求緊急送付物資之糯米六百俵。其他配給。並以後醫療藥品。食糧品。臨時屋建築材料。並打北他供給上之準備。及對策協議。又對臺中州下救護狀況。亦併協議。以後幹事會。每日午後一時。開定例會。

臺南州市當局碊商救災
決定照會各郡街庄
一律迅速辦理勸捐

臺南州當局。以今回中部地方之震災。死傷無數。哀鴻遍野。承督府通牒。去二十三朝十時。在州內務部長室。由林田內務。佐々木警務兩部長。集野田衛生。星野（？）務。牛田高等。大塚會計各課長。三上社會事業主事。長谷川關係屬僚等。開碊商會。先由三上社會事業主事。報告兩州下被災慰問狀況。乃就義金勸捐上。有所磋商。結果決否照轄下各郡市街庄。令出勸誘。樂輸者。則由各日刊新聞社。爲之辦理。此次震災。自因耗一傳。南市之般戶。大多解囊捐助。自向報社或警察聲明。仁漿義粟。厚惠災黎不少云。

災害地電力
應急對策
料金大勉强

臺灣電力。以震災地方。殆爲臺中營業所區域。乃由臺北臺南兩營業所。急派職員及工夫應援。下村技術課長。青木營業課長。急赴被害地。調查被害。配電線及引入線中。家屋之被害方面。至二十二日夜修復。已得點燈。而家屋全壞大破。點燈全滅地方。急修電線。二十三日中告一段落。又此際避難收容所之點燈。及電柱等臨時點燈者。無料奉仕。個人草創家屋其他臨時燈。照定乃普通定額電燈之一倍。今回特收半額。即照普通料金。又后里苗栗至新竹方面送電線。後里苗栗間有不良處。二十二日修復。由后里變電所。得以送電。於新竹。惟后里發電所取入口及水路。被岩石埋沒。不能通水。此下流一帶耕地灌溉及飲料水供給故障。臺電急復舊該水路。又照震災之電燈需要減程度。目下調査中。大約八千燈內外。聞臺灣合同電氣區域之臺東街。昨秋九月暴風。殆已全滅。電燈損害約一萬圓。二月半需要復舊。今此災害前。點燈數更多。臺電電燈之需要減。約二箇月以內云。

乘客安然子慘死
列車爲驛員避難所
安藤大安驛長公爾忘私

此番震災中。鐵道方面。被害最大者。爲新竹州及臺中州下山線。就中后里大安最大。二十二日午前十一時。由后里沿鐵道向大安。途中第八隧道。延長五一四米九六。二十二日午前中。僅可透視。然其後餘震。各所崩潰。遂被塞去。入口龜裂三五寸數處。斷碎墜下。其中間斷。而隧道內之流箱切潰。而通信陷于不能。以是電信線。現正移轉工事。又越過隧道。線路被害尤甚。灣曲如飴。有埋沒。龜裂之地。大安驛。二十一日午前五時二十分。臺中驛發基隆行機關車。六一六號。在該驛發。爲六時二分。即與地震同時。乃於發車之間停車。列車爲驛員之避難所。大安驛舍南側半壞。乃將事務室。移轉在驛邸。而南隣宿舍一轉瞬間。亦崩潰。大安驛長安藤勝富氏令愛惠美子。二歲。被壓死。據該驛長談曰。値發車時刻之六時二分。突感强震。同時驛舍及附近部落。先後倒潰。乃將發車停止。使乘客日下知事夫人外九名降車。知事夫人外四名。歸後里。殘餘五名。往七塊厝。追乘客無事。列車處置完了。歸宅之時。則其妻被壓在梁下。伸其半身。乃救出之。其妻一知地震。爲欲救其長女惠美子。途中被壓倒。其女壓死。幸乘客其他驛員無事。又其時由知事夫人。贈與巴蕉。乃轉分與避難民云。

應援豐原
彰化警官壯丁

彰化郡警察課。爲應援豐原郡震害計。派大下警部補。引率巡查十一名。壯丁團二十名。去二十一日午後九時。由彰化啓程。急赴現場云。

派慰問使
臺北基隆兩市

臺北市及市協議會員代表樂滿市助役。市協常置員安川勝次郎。陳振能三氏爲慰問罹災地。二十三日午後七時。搭北驛發下列車。向新竹竹南。苗栗。臺中州大湖。豐原。按二十五日歸北。又基隆市。二十二日正午在市會議室。由市尹。助役。庶務。教育兩課長。及常置員。社會事業委員集合。碊商結果。決派遣慰問使于臺中。新竹兩州震災地。臺中即山下助役吉原多三郎。潘長春三氏。新竹即多喜教育課長。范實勳兩氏。各于同日午後二時半發列車出發。又救護隊。有蔡星穀。蔡炳煌。劉清福三醫師。偕看護婦二名。搭同夜九時四十五分發列車。向現場。又市慰問品。麵麴三十箱。澤庵十丁。福神漬二十箱。鰹節二箱。計約六百圓。各分配發送于臺中。新竹二州云。

山線修理
要五箇月
須費六百萬圓

鐵道部。就縱貫鐵道山線震害處復舊。傾注全力調查。二十二日以來。餘震數十回。二十三日早。豐原。后里間隧道南口。亦崩潰。小山技師。踏查無策。同山線。隧道崩潰。鐵橋破壞。線路陷沒等。被害甚多。大安驛附近八號隧道內。其後續見崩潰。修理要五箇月。費用約六百萬圓云。

竹州家屋倒壞二萬
罹災民十五萬
應急對策極力善處

內海新竹州知事。二十三日談災害狀況如左。今回州下大震。被害良多。每接一報。死傷。家屋倒壞愈增。對此應急救護對策。死傷者處置。一般罹災民救護。最爲急務。顧死傷者處置。動員州衛生當局及州下公醫。醫師。組織救護班十二班。及得督府當局援助。外有衛戍病院。臺北醫院。赤十字醫院。臺北州。遞信部等熱心應援。配置于各罹災地。負傷者二千名。應急治療。大體至昨夜完了。而倒壞家屋多至二萬。罹災者十五萬。此亦須緊急救助。供給食糧。急救材料。建築材料等。因鐵道不通。非常不便。幸州下市。郡。街。庄吏員。不眠不休努力。至昨夜輸送大體完了。又現地民情。現已平靜。然物資輸送。暫時繼續中。今後要備購入資金。爲第二次工作。本日開州幹部會議。對州罹災救助基金中。于法規所許最大範圍。決定支出十四萬圓。右依現地被害狀況。配付新竹市三千圓。竹東郡一萬圓。竹南郡五萬圓。苗栗郡五萬五千圓。大湖郡二萬二千圓。計十四萬圓。以上金額。非十分足數。故第三次工作。欲起州債。或國庫補助。極力復舊。現詳查被害狀況。今後對策。努力善處云。

臺中州災害地
物資無不足
臺中市供給

臺中州下災害地。物資供給。以臺中市。能得十分足數。豐原方面。白米不足。至二十二日。由臺中市配往百五十俵。現已得自給。大甲郡方面無澤庵。由南投街供給之。東勢郡下東勢街石圍墻。不足白米。由石岡庄配往十五包。而東勢街假小屋用亞鉛板一千枚。經對臺中市購入。神岡庄求臺中市。備炊事用鍋二千個。鉛桶一千脚。鹽一包。鹽鮭三百貫。玉葱及馬鈴薯各五百斤。由市集齊配出。而建築材料亞鉛板等。臺中市能得十分供給。然衣類寢具。俟至救護所完成後。或告不足。現由臺中市建築組合調製中云。會無阻碍云。

博覽會出品勸誘
全島碊商無期延期

博覽會關係事務。總督府初擬于二十三四兩日。召集全島勸業課長。開出品勸誘碊商。爲此次震災。無期延期。又臺灣震災被害。若對內地諸大都道府縣。則于府縣。其他特設館出品等。恐生支障。故出品勸誘係。對關係方面。通知雖有相當被害。而于博覽會出品。

要港部派島風救護
因有不備再派夕風
廿三日開向大安港

第三驅逐隊島風。現投錨于通霄汴海面。救護班及警戒隊。由同隊司令平塚中佐指揮上陸。從事救護。據聞銅鑼方面救護。有遺憾處。馬公要港部。乃再命驅逐夕風。載救助材料及救助隊。二十三日正午開向通霄。又入港中之第十六驅逐隊一隻。正午開向大安救助。同隊殘餘各艦。急赴基隆。在同處與督府碊商。從事救助。連絡通信。及其他任務云。

刈萱赴大安
夕風廻航新竹

新竹。臺中兩州下震害救護。更增派軍艦。從事救護作業及食糧供給。通信連絡。第十六驅逐隊芙蓉朝顏兩艦。二十四朝抵基隆。救護隊上陸。急赴災害地。而驅逐艦刈萱。於二十二日薄暮。抵臺中州大安溪外海。救護班上陸救助。而赴通霄之夕風。廻航于新竹方面云。

從事救助
刈萱抵大安

臺中州下鳳山海軍無線出張所。接馬公要港部之電。請驅逐艦刈萱。二十三日正午發馬公。薄暮抵大安海。投錨後。衛生救護隊上陸。急赴大甲。豐原兩郡下被害地。而臺中州堀高等課長。爲迎接一行。午後四時赴大安。

沃度丁幾藥
無處可購

二十二日驅逐艦島風。爲救護震災地。載多數衛生材料出發。爲是馬公藥店之沃度丁幾。經已售盡。二十三日夕風出發。無可購入。故對澎湖廳當局得澎湖醫院協力。始備百本。提交要港部。

城隍繞境
或延于秋季
商工業者反對

本年大稻埕霞海城隍繞境祭典。有一部唱延于博覽會期中者。此事影響于小商工業者收入頗大。是故臺北永仲買人組合。臺北行商自治組合。近將邀集北區旅館組合其他。開座談會。極力反對。遵守舊例。奉代表者。與崇神會幹部會見。勸其勿再提議延期云。

▲決不延期 關于霞海城隍繞境延期與否。去二十三日午後一時。由崇神會幹部。協議結果。已決定不延期。照年例于古曆五月十三日繞境云。

保田頭取
廿三日任命

元興業銀行副頭取保田次郎氏。受大藏省方面推舉。就任臺灣銀行頭取。二十三日正式任命。當日午後臺銀東京支店。已以電話報告臺北本店秘書課。前頭取島田氏辭任。於今已歷一年云。

應援救護
大溪青年團
其他各界活動

世人一聞中部臺灣。大震災慘報。無不同情。大溪郡。當局去二十一日下午。非常召集。警官二十餘名。急赴現場救護。而大溪青年團員二十名。亦于二十二日。自發的。欲赴災害地。應援救護。業于二十三日。早晨。由大溪出發。其他同地有志及方委等。醵出募集救恤金。各界非常活動。

臺北市教聯
臨時會議
募金慰問

臺北市教化聯合會。開中部大震災募集義捐金。決定教化團體總動員。爰援于二十四日。召集市內教化團體長。開臨時團長會議。碊商派代表者。前往現地慰問。並議募集義金事宜其他。

地租改正
稅率增徵

臺灣地租規則改正。業已施行。此後土地等則之變更。與租率之增徵。僅臺南州下增加額。國稅與附加稅。共約百五六十萬圓。占全島二分一。是由於嘉南大圳工事完成後。其區域內土地。因水利及交通之便。等則自然向上。生產力亦隨之而加云。

臺南市喪葬之奢侈
行列演戲宛如迎神
冥屋之貲更覺開耗巨款

臺南市。邇來下層階級。習尚奢侈。如喪葬之儀。華出殯時。恰如迎神賽會。藝棚。馬隊。高蹺戲。南北管等。繞市巡遍。甚非惟不守禮制。且踵事增華。主宗教不分。僧道羅列。直令近者。無所適從。其屋之製。所費不貲。謂非此不足以盡孝思。不能誇耀鄉里與朋儕。然此大都爲無智者流。詎知號稱新人之某醫師。亦竟爲流俗所同化。去月前其母出殯時。行列之熱鬧。已成爲南市有識人士談話之資料。比去十二日終七之期。於常皇冥屋之前。演劇連臺。往觀者相屬於途。洵所謂市者大悅。或言某何不移此靡麋之財。以資有用之途。不特可以革除陋習。且無知之輩。亦未由藉口云。

鳳梨合同會社
全島工場統制成立
株式一部欲公募

昨年二月以來。久未解決之鳳梨產業合同問題。已經高雄發起人會決議。茲已成立。二十二日由中瀨局長發表合同會社內容。會社名照總督命名。爲臺灣鳳梨合同會社。全島七十八工場之合同會社。資金總額五百萬圓。全部一株五十圓。總數十萬株。五百萬圓之中。二百十六萬圓爲工場評價額。其餘二百八十四萬圓。欲開創立總會。今後統制精緣故募集及公募。六月爲獨占的企業。欲保有一般社會性。公務株式。希望多數參加。凡定款之變更。役員選任。重要事項決議。利益金之處分。須受臺灣總督承認云。

臺博協贊會
開理事會
議定兩案

臺灣博覽會理事會。二十三日午後一時半。開于鐵道旅館。出席者正副會長以外理事十一名。而中瀨。赤石。吉田三顧問亦臨席。議定會計事務手續。及接待部事務代決規程。而南方館助成金補助件。容後再行調查決之。議至四時散會。

人事

▲基隆礦業會社員林景熊氏令弟景崙氏。由許梓桑氏作伐。與張福記社長謝汝銓氏長孫女巧娥締婚。去二十一日擧行結婚式。同二十一日起三日間。在自宅招待朋友百餘名。開披露宴。

▲臺北市協楊漢龍氏長郎祖琴君。此次由貯銀大稻埕支店長陳化年氏執柯。與鄭根木氏令妹玉英姬締婚。定來月五日。在神社前擧結婚式。新郎畢業臺大理農學部。女神戶高女出身云。

瑞芳庄民
當仁不讓

瑞芳庄。對新竹臺中兩州下震災。爲對罹災者救援。對一般募集義捐金。方面委員。正委員家長聯盟會庄下各會社及公司。等總動員。對全庄民鳩金。又去二十二日夜。九分家長聯盟會長翁山英氏。於同地昇平座演劇換幕時。演說罹災救助法。即時登場會社。翁明捐金三百圓。施文魁氏五十圓。其他百圓以下陸出。猶金厚利公司理事長。周錦樹氏義捐三百圓。同公司職員一同一百圓。

艋舺樂捐
陳氏奮發

艋舺金義合陳義塗氏。對此回震災。率先派員訪問臺中新竹兩州下災。開店或其他罹災民。種々慰問。

朴子街方委
募集恤金

東石郡朴子街方面委員。接報新竹臺中州震害。死傷慘狀之報。不禁一掬同情之淚。去二十二日。黃街長邀集當地方面委員。在當街役場。開臨時會議。碊商募集救恤金。滿場一致贊成。立向當街人士。募金一百五十圓。送交臺南州聯爲分送兩州。充災民救濟。

南投慰問災民
支出八百圓

南投部。爲慰問罹災民。去二十二日朝。由郡會部。

桃園人士
慷慨義捐

桃園街有志。聞震災慘害。郡代表。攜帶現款。赴罹災地慰問云。召集郡下街庄長與其他首腦部。開緊急會議。正午決定支出金八百圓。又朝倉郡守。古本街長。爲慨然寄附者。多有其人。府評簡朗山氏。金二百圓。桃園軌道。社。金三百圓。街協陳希達氏。金二百圓。均囑街役場。爲之遞送。又桃園音樂會。得臺日取次店後援。去二十二三兩日假桃園座。開活動寫真會。盡以所得。充爲義捐。又方面委員。亦出爲募集云。

團體及個人義捐
奮發甚衆最多一萬圓
臺北市內尤見好成績

臺中。新竹兩州管內。震災以來。海內外團體個人。各秉其惻隱之心。義捐物資者。踵已相接。團體最大者。如臺灣銀行。臺灣電力會社。各一萬圓。其次三和。勸業兩銀行。各二千圓。商工銀行。臺灣放送局。國際通運會社。各一千圓。華南銀行。蓬萊閣龍泉飲料會社。各五百圓。又次臺灣土木建築協會。臺北醫師會。各二百圓。同靜修女學校職員生徒。一百八十八圓八十六錢。同居勤和會。東光

鹿港花壇有志
各載物資
救恤災民

彰化郡鹿港街有志。鑒及今般震災。共表同情。援贈慰問品。片刻間得白米三十石。芋菜罐詰百打。去二十三日午後一時。分積三臺自動車。急往現場寄贈災地災民。又彰化郡花壇庄蕃木庄長以職員與庄民有志。協力提携。募

臺南市有志
奮發義捐

對今回臺中新竹兩州大震災。具有測隱心者。皆不禁下同情淚。而率先捐倡救助。臺南市去二十三日。有港町口井材木商百圓。壽町劉瑞山百圓。臺南長老教會院百圓。明治町林科氏五十圓。臺南信友會五十圓。永榮町林天龍氏五十圓。商銀臺南支店員一同三十圓。各登明寄附救助云。

新營柳營庄民
義捐救恤

新營郡柳營庄長劉明哲氏以下職員小使一同。醵出如左。

集白米五十一俵。去二十一日午後一時。積載自動車二臺。急送現場。對豐原郡二十五俵。大甲郡二十俵。東勢郡六俵寄贈云。

李學樵氏
書畫捐
潤筆資從廉

臺北書畫家李學樵氏。名天民。此次頗見新竹臺中兩州下地震。災民慘狀。惻隱心傷。當仁不讓。將貲書畫。以充義捐。潤筆之資。一切從廉。略定如左。

一、畫山水。牡丹。枇杷。荔支。梅蘭菊竹松。芭蕉花卉。墨蟹花鳥。
一、潤格二宣。紙半切每幅十圓。橫不六圓。三宣紙半切每幅五圓。橫不三圓。絹本綾耗均加倍。如欲大幅加算。
一、書隸篆草三種。
一、潤格二宣紙半切每幅五圓。橫額三圓。三宣紙半切每幅三圓。橫額二圓。聯對均同上楷書加算。通訊處臺北市下奎府町四丁目二十八番地李學樵。

救恤災民
節喪費捐白米

臺北市御成町二丁目六番地設張烏居氏遺族張長錦氏。此次節約喪費。以寄附白米十五包。以救恤震災民。於二十四日。向市社會課寄出云。

第二聯隊除隊
啓程歸去

臺南第二聯隊。昭和七年四月所徵兵百四十一名。去十九日已與除隊。本營受二十日由南發輕便。歸還內地。因以是二十二日午前九時頃。由臺南發列車北上。豫定翌早由基隆解纜回鄉。是早於驛前見送者。有州林田內務部長。古澤市尹。平良同助役。及鄉軍分會員。愛國婦人會員。聯隊將校。憲兵分隊。各中等校長。無慮百有餘人云。

無賴跳梁
非爲後逃散

基隆郡瑞芳庄四脚亭。去二十一日恭迎天上聖母演戲。有基隆二坑無賴漢張九本及通稱茶生瓷。坡外十餘名。徘徊其間。至同日午後九時頃。包圍許景滄之宅。侵入戶內。襲擊許氏父子。幸得由後門逃出。而無賴漢一黨。於家中擊破電球及家具。四脚亭派出所聞報。急派警官及壯丁庄民趕到。時無賴漢已作鳥獸散。目下郡當局正搜查犯人云。

三峽
議募義捐

海山郡陳三峽庄長。因鑑于臺中新竹兩州下大震災。去二十二日午後三時。於庄役場階上會議室。邀區總代。協議災民救恤方策。而爲總代。及吏員等。向各處急募義捐。業編者陸續而作云。

兩媼義捐

三峽庄三峽陳黃氏茶。及陳猪氏杏。聞及臺中新竹兩州下震災。均發慈心。前者以金十圓。後者五圓。自報明於庄役場云。

翰墨因緣

▲汐止鑛業家周錦樹氏。二月間倚徵詩徵聯。蒙全島文人墨客投稿甚多。其所得錦閣九百四十六聯。錦閣即景律詩五百八十四首。武功五百四十八首。眉山四百八十八聯。錦源四百九十五聯。從來徵詩。未有如此回之得多數投稿。故周氏前雖聲明每題貽三十名。今則每題欲加貽二十名。即五題計貽二百五十名。元眼花臚金牌經已製就。而五名至十名之獎品詩箋。亦可於六月間分給於入貽者。各題得詩。已送呈於各詞宗評選云。

會事

▲彰化信用組合。定二十七日午後一時。假市會議室。開臨時總代會。附議事項役員選擧等云。

▲臺南市大天后宮董事。爲媽祖例祭及慶祝。官民協同鼓舞事。訂本二十五日午後四時。招請州市當路。及市內諸商等於媽祖宮事務所。開催磋商會云。

商況（廿四日）

米況

正米市場前場

▲二期蓬萊米 當限 不申 中限 不申 先限 不申

▲二期蓬萊米 當限 中限 先限 一〇、一八 一〇、〇七

▲二期丸糯米 當限 一五、四四

大阪期米前場

	寄	中	引
一	二九七五	二九九四	二九九一
二	二九七〇	二九九三	二九九〇
三	二九七〇	二九九〇	二九八九
四	二九六九	二九八九	二九八八
五	二九六七	二九九〇	二九八八
六	二九六八	二九九一	二九九二
七	二九七二	二九九五	二九九四
八	二九七二	二九九五	二九九四
九	二九七二	二九九五	二九九五
十	二九七一	二九九四	二九九三

東京期米前場

	寄	引
寄	二九七一	三〇〇六
引	二九八〇	三〇〇七
安	二九七〇	三〇〇五

神戶期米前場

寄	二八三四	二八七五
引	二八三五	二八七八
高	二八三三	二八七九
安	二八三三	二八七一

公債

東京國債前場

	寄	引
甲號五分利	一〇三、七五	一〇三、八〇
特別五分利	一〇三、五〇	一〇三、五〇
第一五分利	一〇二、四〇	一〇二、三〇
第二五分利	一〇二、七五	一〇二、八〇
第三五分利	一〇二、七五	一〇二、六〇
第四五分利	九八、七〇	九八、七〇
第一四分利	九八、八〇	九八、八〇
二年五分利	一〇三、六〇	一〇三、六〇
二年五分利	一〇三、七〇	一〇三、七〇
佛貨四分利	八五、八〇	八五、八〇
米貨六年利	八八、五〇	八八、五〇
同五年利	三六〇	三五、三〇
四億出來高	五三、七五圓	

爲替

外國爲替相場

米貨爲替 二八弗五五仙
英貨 四弗八五仙
英日爲替 一志二片八分一

神戶對外爲替

對米期近	二八弗八分七賣	二八弗六分七賣
寄	二八弗二分一賣	
引	二八弗一六分七賣	二八弗一分一賣
同 先物	二八弗一六分三賣	
對英期近	一志二片八分一賣	
寄	一志二片六分一賣	
引	一志二片八分一賣	

東京實株

	前場寄	引
日魯	大四、二〇	大三、九〇
北炭	[illegible]	[illegible]
三菱	一〇〇	一二七、七〇
日石	四〇、六〇	四〇、五〇
日產	九九、九〇	九八、五〇
日曹	一二、四〇	一二、七〇
人絹	四三、七〇	四四、六〇
東電	四七、六〇	四七、四〇
日電	五五、〇〇	五四、八〇
淺野	一六、三〇	一六、四〇
流紡	大五、五〇	大五、四〇
日糖	五九、六〇	五九、〇〇
明糖	[illegible]	[illegible]
麥酒新	三九、九〇	一〇七、三〇
淺野新	二〇三〇	[illegible]
日銀	五九〇	同新
正金	二〇二、五	同新
鐘紡	七八、二〇	同新
臺銀	七六〇	同新
商銀	九〇、三〇	同新

紐育株式

スチール株 三三弗
アナコンダ株 二二弗

株式

大阪短期前場

	寄	引
商船	四八、一〇	四八、二〇
日郵	六五、一〇	六四、七〇
日產	九九、六〇	九九、六〇
日鐵	七九、三〇	七八、六〇
倉紡	七九、三〇	七八、五〇
レーヨン	一三三、四〇	一三三、六〇
帝人	一二〇、〇〇	一二〇、〇〇
淺野	六五、一〇	六五、三〇
滿鐵	[illegible]	四七、二〇
東電	一〇八、〇〇	一〇八、〇〇
日毛	一三三、五〇	一三三、九〇
鐘紡	一二五、九〇	一二五、八〇
東洋紡	一七五、二〇	一五〇、五〇
東新	一五〇、六〇	一五〇、五〇
大株	九五、八〇	九五、六〇
大新	九四、四〇	九三、八〇

大阪長期後場

	寄	引
大株	九四、六〇	九四、五〇
大新	九三、九〇	九三、九〇
東新	一五〇、七〇	一五〇、八〇
鐘紡	一二四、九〇	一二五、二〇
同新	一二七、一〇	一二六、〇〇
東電	七六、九〇	七七、〇〇
日鐵	五八、二〇	[illegible]
臺銀	三一、六〇	[illegible]
鹽糖	一〇七、七〇	一〇七、七〇
南糖	四八、七〇	四八、七〇
同新	一三、四〇	[illegible]
郵船	五一、三〇	一六、二〇
同新	六二、七〇	六二、七〇
日魯	一一七、九〇	一一七、九〇
日產	九七、四〇	九七、三〇
日石	一二五、八〇	一二五、七〇
帝人	一二九、七〇	一二九、五〇
同新	七二、七〇	七二、〇〇
レーヨン	七六、六〇	七六、五〇
倉紡	一三三、一〇	一三四、五〇
同新	一一〇、七〇	一一〇、七〇
東レ新	七三、五〇	七三、七〇
日石	四一、〇〇	四〇、九〇
同新	一四、七〇	[illegible]
北炭新	三〇、七〇	[illegible]
宇治電	四三、〇〇	四三、〇〇

東京短期前場

	寄	引
東新	一三〇、六〇	一三〇、一〇
大新	九四、三〇	九三、六〇
鐘紡	一二五、七〇	一二四、〇〇
同新	一二六、三〇	一二五、四〇
日魯	一一六、三〇	一一六、〇〇
日清	七三、五〇	七二、六〇
東レ新	七三、二〇	七三、八〇

砂糖

玖瑪

寄 二仙四〇

爪哇

直	五盾九仙二分
四月積	五盾九仙二分
五月積	五盾九仙二分
六月積	五盾九仙二分
七月積	五盾九仙二分

大阪現物

三温（OBB）	一五圓一〇錢
分蜜（M3）	一五圓四五錢
精製臺灣	一〇圓九〇錢
同（臺灣）	一〇圓九五錢
同（日）	一九圓九〇錢
耕地白（A文）	一九圓九〇錢

大阪清算

▲前場

	寄	節	引
四限	一一〇九	一一〇九	[illegible]
七限	一〇九四	[illegible]	[illegible]
九限	一〇八九	[illegible]	[illegible]
四限	一〇二〇	[illegible]	[illegible]
六限	一〇〇〇	[illegible]	[illegible]
八限	一〇九一	[illegible]	[illegible]

銀塊

倫敦現物	三三片八分一
同先物	三三片二分一
紐育現物	六九仙八分七

絲況

大阪綿絲

米棉	一八一圓安	
印棉	二七錢安	

大阪棉花

▲前場

	寄	引
四月限	二〇〇、三〇	二〇〇、二〇
十月限	一九九、二〇	[illegible]

大阪人絹

▲前場

	寄	引
三月限	六二、七〇	六二、七〇

橫濱生絲

▲前場

	寄	引
四月限	六〇、六〇	六〇、七〇
九月限	六二〇、〇〇	六二三、〇〇

臺灣日日新報
特輯 グラフ
發行兼編輯人 印刷人 若 林
發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

雄々しい「復興槌の音」 震災後早くも三日目に

急造のバラック村 神岡庄に三百五十戸 内埔庄に六百五十戸建てる

【豐原にて城田特派員】豐原郡下の災害復興工事は既報の如く郡役所が家園の整理バラック急造に懸命の努力を傾けつゝあるが内埔庄神岡庄の罹災民收容バラック各十棟づつ(一棟三十二坪)を二十二日午後八時に到り完成したので直に各所共罹災者の收容をなしたが同庄の外自己單獨にてバラック建築のものもあり單獨建築の能力なき者の爲め二十四日より一戸建四坪を内埔庄六百五十戸、神岡庄三百五十戸を各集團部落として急造賦興することとなり、敷地も決定し直に準備に着手したが罹災者一同は此の限りなき萬全なる救護策に感激してゐる

賴母しい復興の鼻唄 未だ止まぬ岩石の崩潰を外に 新家屋の建築に懸命

(大湖にて岩田特派員)大湖郡下の視察を命ぜられた有富技師と記者は二十三日朝早く大湖に出でんとし郡長等の止めるのも聞かず今猶岩石の崩潰が止まぬと言はれる大湖迄十三キロの山道を行くことに決心し二十三日午前八時三叉を出發した、地震後の山道は到る處崩潰して步行さへ困難を極めその道に沿うて散在する人家は全壞といはぬまでも殆ど修理の見込みなきまでに大破してをり時時死體が莚に包まれてをり或はビール箱に入れたりして運搬されるのに出會ふ所からすれば相當の死傷者があつた如く察せらる、併して此の附地は警戒の手も殆ど及ばないだけに誰に支配されることもなく思ひ思ひに附近の山中から林木を切り出して朗かに鼻唄を歌ひながら早くも新家屋の建築に着手してゐるのを見たが眞に朗かしい復興の狀景である

して路上に大石の重なり數町の隧道も人牛は潰され自轉車はおろか步行さへも困難ならしめてゐる桂竹林より約一里半の箇所に崩落した岩石が下には本島人がリヤカーと共に押し潰されてゐるらしいと警官は語つてゐた此の間の道路被害は新竹州下第一といはれてゐる此の狀況より公館を經て苗栗に至る間は人畜の被害は相當あるが自動車の交通には差支ない

溫い慰問品に 罹災者も感泣 二ケ所に臨時診療所を設け 手當も行きわたる

【神岡にて島特派員】神岡庄下にある傷病者は三百八十餘名で神岡公學校を救護本部になし高雄醫院より醫師四名看護婦十名臺中州衛生課醫師一名及び二十三日には臺北赤十字より醫師一名看護婦二名應援あり神岡新庄子兩路の二ケ所に臨時診療所を設けて手落ちなく加療中であるが二十一、二の兩日臺中醫院に運ばれた重傷者は五十名中半數は重態少からぬと聞く、救護手配は臺中市に接近せる爲め早急に行はれて手廻り早く炊出しは既に二十二日迄に打上げ二十三日よりは玄米飯の配給により各自罹災民が夫々炊いて食べてゐる、慰問品は午前中全部配給し罹災民は珍らしいもの等貰つて涙を流して喜んでゐる

專賣品配給に 支障はない 小賣人の店舖は 速かに復舊する

今回の震災地に關し臺中支局長より二十二日專賣局に達した報告に據れば罹災地の賣捌人店舖等には多少の被害あるが小賣人は[illegible]店舖は全壞し香煙草[illegible]全く絶えて居る、又た新竹より寄り來れる報告に依れば[illegible]の新竹より寄り來れる報告に依れば小賣人店舖等多少の被害[illegible]あり又配給の上にも[illegible]

畑が無い、又た耕作方面としては臺中州大甲郡に支那種耕作面積三十九甲、耕作者二百十餘名、同大屯郡にも支那種植付面積七十五甲耕作者三百四十二名、黄色種同二十四甲、耕作者四十二名等あり、栗煙草は臺中州[illegible]者自宅に取納庫せるものともある被害の程度未だ一切不明である其の他豐原の煙草試驗所並に臺北支所に貯水タンク等に多少の被害があるも之は撤理[illegible]である、小賣人店舖に在つて被害を受けた香煙草及び食鹽等へ對する被害程度は被害の程度の見極めのつくのを待つて出來るだけ速かに調査する筈である

落石止まず

(苗栗にて苗栗郡)岩田特派員)大湖より苗栗に通ずる道路の中[illegible]は落石[illegible]交通が可能であるが同所から[illegible]沿ひ片方は岩石の[illegible]

臺中醫院で大急ぎ 假收容所を設ける 次ぎ次ぎに重傷者が擔ぎ込まれる 場所は公園の附近

【臺中電話】二十一日の地震で重傷を負つた郡下各地の患者はトラックで續々臺中醫院に擔ぎ込まれ[illegible]

醫療藥品を 新竹に贈る 臺南州の慰問品

【新竹電話】臺南州衛生課松崎課長は臺南州當局の醫療藥品多數を携へ二十三日午後新竹州を訪問内海知事、下村衛生課長等に慰問の挨拶を述べたが醫療材料に窮してゐる新竹州では感激してこれを受領した

一千圓義捐 高雄の杉原氏

【高雄電話】高雄市役所では臺中新竹兩州下震災義捐金募集中のことは既報の如くであるが二十三日市内湊町杉原佐一氏は率先して金一千圓を震災義捐金として市役所に提供したので直ちにその手續きをとつた、又鳳山郡役所に本島人女學生で姓名も告げずに義捐金五圓、資料二十錢を添付し、同所米商劉同興氏も金百圓の手續き方を願ひ出た

軍隊の救護班が 診療に大童 郡役所の廣場に陣取つて

(大湖にて岩田特派員)二十二日正午過大湖郡管内に出で午後一時には大湖郡役所の所在地たる大湖庄に到着したが被害は最初喧傳された程ではなく此處は地震突發と同時に通信不能となり情況を州當局に報告せんにも方法なく庄内の精米所も殆ど破壞されて早くから食糧に窮して居たので二十二日となつて州より給された白米十俵と購買組合所持の白米とによつて庄民が飢を凌いでゐる有樣である、二十二日桃園中隊の警察官、州衛生課員、第一號班の救護班小野中尉以下三十四名が應援に到着する迄は全くの手不足で救護もろくに出來なかつたといふ郡役所前の廣場では軍隊の救護班が重輕傷者の手當に大童である

浴衣を急送

さきに竹南、苗栗、豐原、大甲に向け八百圓を愛婦本部から送つた愛婦本部では更に罹災地方から衣類の缺乏をうつたへて來たので二十三日本部諸員總出動で浴衣五千枚を急造し二十四日臺中に三千枚、新竹に二千枚を支部あて急送した

一時は電報が 四萬通も停滯 全能力を總動員して不眠不休 臺北局は戰場のやう

一時全島を傳へられた震災地の電信回線は漸く復舊したが山なす見舞電報の始末に電信局はさながら戰場のやうな有樣である、臺北電信局の話に依ると内地よりは全島的の震災なるかの如く各地への電報は洪水のやうに押寄せ二十二日正午の狀況は内地より來着すべきものにて配達經路不能の爲めどうにも出來ずに其の侭保留して居るもの四萬通を超え本島から發らねばならぬもの二千三百餘通に及んで居る、[illegible]をして居るが何分にも平素職員は限られたる人員で此の平常の十數倍にも上る電報の處理に當るのだから二十一日以來全く局員は不眠不休を如實に續けて居るしかし今夜あたりから全島各局より十名ばかり應援に來る筈だからそれを樂しみにして居る、まあ震災地の同情を思へば何んでもなかうと元氣を出して居る、元來斯うした時には家族に關する電報と重要なもののみ發ひ制限を設けなければならぬ場合もあらうと思ふが[illegible]いとか永々と電話等で御叱り御口書を頂戴して恐縮して居るが只今の所以上の狀況でどうにもならぬわけだから一般に理解して頂きたいとのことだつた

救恤品を滿載して 大和丸出港 見舞客も多數乘船

【基隆電話】[illegible]初の内臺[illegible]大和丸は二十[illegible]門司を出帆[illegible]

外商も義捐

【[illegible]】[illegible]シー商會[illegible]

震災哀話 掘り出せばこの慘事に

食卓を圍んで 親子六名が壓死 いづれも涙の作業

【神岡にて島特派員】神岡庄の主要地たる同地が殆ど全滅に近いのもさることながら一層悲慘なる全滅に瀕した大甲溪に沿ふ新庄子圳堵の兩部落に再び夕刻入れば兩部落の家屋と云つても土塊を積上げた壁に茅の屋根を葺いた土造家屋計りだ一瞬として家族を失はぬ者はない生存者等は今や恐怖の二夜も過して幾分平靜に歸り人の訪れを見れば悲しみ滿ちその係り人なつこく傍に寄りそつて何かと當時の模樣を話しかけるが聞けばこの兩部落の家屋は全部既に一番最初の大搖れで一度にペシャンコになつて終つたとのことである、就中圳堵第一保の保正王永[illegible]君方家族七名中子供一人を殘して六名共團死したが掘出された死者六名は一家揃つて朝食中であつたらう箸片手に茶碗片手に口には食物をホホばつて枕を並べてこと切れてゐる樣は掘出し作業に從事中の者は誰一人涙を注がぬ者はなかつた、又街庄土造家屋は[illegible]食ふ物なく[illegible]走り廻つてゐる[illegible]である同庄罹災民の大部分は各自[illegible]各所に小屋を建造中であるが新庄子圳堵の兩部落には各三棟づつ罹災救護のバラックを建造中にて出來上り次第收容の筈である

醫者は來ず 藥草等で血止め 田尾は食糧も缺乏

【竹南にて松井特派員】竹南郡南庄字田尾及大南埔方面には二十一日午後新竹州衛生課より看護婦派遣を繰り出せる巡査部、池田警部補等が派遣され負傷者の救護に當つて居るが字田尾には相當の負傷者がをるのに醫師が派遣されてないため患者は藥草等で血止めを施して居る狀態なので、正午急ぎ醫師一名を[illegible]田尾部落に向つた、田尾部落には罹災者が多いが早くも食糧缺乏を來して居り[illegible]居る

各方面から 見舞電報

新竹、臺中兩州下の震災に對しては各地より見舞の電報や義捐金が殺到してゐるが、二十二日には總督府宛に[illegible]、内務、殖産、財務、遞信、交通各局長、[illegible]、臺灣軍司令官、[illegible]司令官、[illegible]各國領事、南洋フィリッピン駐在各部等より見舞電報あり英國では[illegible]場合によつては救濟援助の[illegible]用意ある旨申越し來つた[illegible]

五千圓携行 州より大湖郡へ

【新竹電話】新竹州小濱高等課長は州よりの救恤金五千圓を携へ二十三日大湖へ赴いた

福州でも 義捐金募集

【基隆電話】二十三日未明入港の[illegible]北支航路長沙丸で齎された情報によると福州中部大震災の報は福州にも報ぜられ、また死者三百との第一報が到着したのみであつたが、同地官民は非常に成行きを憂慮同情して義捐金募集に着手する模樣である、同船にて先般福州に赴いてゐた[illegible]氏一行と共に大日本製糖重役金澤冬三郎氏が歸つて來たが金澤重役は南京政府の砂糖專賣は單なるデマだらうと語つてゐた

罹災民のために 各方面から同情 見舞品や義捐金募集

新竹、臺中兩州下の罹災民のため二十三日臺北州役所へ次の如く見舞品を依託した特志者がある

△宮前町松榮服店からメリヤスシャツ一千五百枚メリヤス靴下一千二百足

△京町越賀食料品店から栗野罐五打入十箱

△太平町張清港氏から金線印ミルク五打入二十箱

△榮町練乳會社金線印ミルク五打入三十箱

○

明治製菓臺中配給所では二十二日屯子脚、豐原、神岡、清水各街庄を菓子とミルクを滿載せるトラック[illegible]

○

新竹州下に對しても同州社會課に對しミルク三千罐の寄贈を申出た

○

圓山臨濟寺内の佛教婦人會は二十三日市内托鉢を行ひ、全部を震災義捐金として本社に寄託したが二十四日は大稻埕方面の托鉢を行ふ筈

○

兩州下に於ける多數の罹災者救濟は一刻も猶豫を許さない現狀なので大稻埕青年團では[illegible]合の援助の下に二十三日大稻埕を[illegible]

斷水で案じられる 八千甲の稻作 降雨なければ枯死するとて 生殘つた農民が祈願

【豐原電話】大安溪上流の山脚圳の水が切斷された爲め内埔里一帶は水がなく臺中市役所撒水車で豐原より運搬しようして僅かにお湯を沸してゐるのみで豐原郡では極力復舊策を講じつゝあるも事態の困難の爲め工事費五萬圓を以て請負はせる事となつてゐるが請負師は十數名押かけたものの業を引く狀態である、尚同圳管内の水田八千甲は茲一週間の中に降雨がなければ全部枯死するので生殘つた農民は[illegible]降雨の祈願をなしてゐるのに反し救護の方は幸ひ晴天に惠まれ豫定よりも順調に進捗して行つてゐるが一旦降雨あらんか負傷者及び罹災民の救護は到底出來ぬあと一週間は晴天を祈つてゐる

○

[illegible]臺灣大阪では中部の大震災に東京日本本社より五百圓の支出をなす事になり同二十二日より西門市場側、太平町四丁目に社會議を立て一般市民の同情を仰ぎ義捐金募集に着手した、竹下大隊長は震災の準備をなし二十二日午後一時救恤品食料品五十餘種(石油醬油)を携へ上原大尉と共に災害地に向ひ臺中、豐原、高雄の各少數とも連絡をとり救濟事業を開始した

苗栗郡下の被害 百五十餘萬圓 鷄隆、公館等がひどいが 救濟の手配は成る

(苗栗にて岩田特派員)大湖を出發した記者は[illegible]トラックの便を得て郡内を見て回り公館を經て苗栗に到着し苗栗では福田守備隊司令官に出會ひ午後五時新竹州下の慘害を一手に引受けてゐる苗栗郡の中心地たる苗栗街を再び訪れたが當日より二日目のことで被害を受けなかつた家はぼつぼつ店を開いて商賣を開始してゐる、道行く人の面上にも先日と異なつて晴れやかに見える、郡守は管内各方面巡視中で不在、庶務課長に面接して聞けば次の如く語る

郡下の損害は百五十九萬五千三百圓の見積りでその内譯は家屋全壞百四十七萬二百圓(四二〇一戸)半壞七十四萬八千圓(三二三七戸)大破五萬二千圓(七四四戸)破損二萬五千圓(八三九戸)で被害家屋は合計九千二十一戸です、復舊の手當てですか?まだまだそんな所ではない、輕傷者數も未だにはつきりは分りませんし救護の手配をやつと終つた所なんです、各地で食糧に不足してゐるので州に依頼してあるのですが仲々送つて來ないので困つてゐます、各地各方面から應援を得たことについては衷心感謝してゐます云々

因に郡當局の二十三日午後二時調査に依る人家被害數は郡下にて死者七百六十七、重傷者八百二十八、輕傷四百九、全壞家屋四千二百一戸、半壞三千二百三十七戸で警察派出所管内の死傷者六百五十四、全壞家屋五百五十六戸

八仙山の木材 豐原に山積 馬力をかけて製材か

【豐原にて城田特派員】營林所臺中出張所では今回の震害に何等被害を蒙らなかつたが本所よりの通りの指令を待つて全能力を發揮すべく西岡營林所長は臺中州廳に出頭打合をなす所あり同所は建築材料が豐富であるから出來得る限り便宜を圖るべく準備をなしつつあるも貯木場及び山につき調査中である二十四日午前中にこの調査も出來上るので本所よりの指令を待つて全能力を發揮すべく準備を急いでゐる尚同所營中在勤軍人達は直に救護に出動させ婦人達は一般罹災民の爲め炊出しに從事してゐる

入浴が最上の慰勞

【豐原にて城田特派員】宗藤豐原郡守は慶安の救護配備に連日不眠不休の狀態で顔埃にまみれながら救護配備に努めつゝあるので二十三日夜は郡役場倶樂部、郡守官舍に入浴の準備をなし一同を慰勞する所あつた

福田中將 震災地を巡視

(清水にて島特派員)福田守備隊司令官は二十三日午前十一時四十五分豐原、神岡を經て清水着震災地を視察の上清水發午後零時十八分の列車で新竹州後龍驛に向つた

白米を急送

【中壢電話】新竹州下に於ける大震災の爲め交通不便で罹災民に炊く米がないので二十二日夕食に炊く米が缺乏してゐる狀態で竹東郡では直に米が缺乏してゐるとの通知に接した中壢郡では直にトラックに白米五十俵を搭載し同二十二日午後八時に至り更に苗栗郡方面へ二十四日朝食用に中壢米を二百俵を急送手配方の通知があつたので街内各精米所を總動員し貨物列車に積込み罹災地へ急送した尚罹災地には物資の缺乏大なので中壢街より青年團員七名人夫三十八名を楊梅庄より青年團員四名、人夫三十二名を集め二十四日午前六時二十八分の列車で罹災地へ急派した

共同墓地に 死者を埋葬 神岡は四百九十二名

【豐原郡神岡にて島特派員】大被害を蒙つた豐原郡神岡庄にては二十一、二の兩日に亘り死體掘り出しに全力を擧げて努力し二十三日全部を發見庄内共同墓地に埋葬を終つたが同日夕刻迄に判明せる確實なる死者數は

圳堵 一八七　新庄子 一四二
神岡 一〇四　下溪州 三三
北庄 二七
計四九二名である

軍司令官宛に 報告方を依頼

【東京二十二日發】陸軍省人事局中村補任課長は二十一日午後、臺灣軍司令官に宛て臺灣大震災の被害情況並に被害者の内容に就き調査報告方を依頼したが、右被害中には兵役關係者が多數ある場合には他兵役で何等かの救援方法を講ずる事となつてゐる、右に關し中井恩賞課長は左の如く語つた

本島人には兵役の義務はなく從つて陸軍省が直接乘り出す筋合ひではないが、調査の結果兵役關係者に多數の被害者があれば慰食を滿載して救恤方法を研究する意向である

義捐金募集

【高雄電話】高雄市愛國婦人會支部では震災義捐金(一口二十錢)を募集することとなり二十三日より州下各支部に通牒を發し[illegible]

愛婦から救恤活動費金を送る

愛國婦人會本部では今回の新竹、臺中兩州の震災に就て災害中心地たる竹南、苗栗、豐原、大甲の各愛婦分會長宛に救恤活動費金として金二百圓宛計八百圓を二十二日正午急送した、尚同愛婦本部では之に對する繃帶その他の材料の不足の分に對しては家政女學校生徒の總動員をしてこれが手傳ひをさせる事となつた

各市郡より救護慰問品發送方法

新竹、臺中兩州下の大震災罹災者に對する眞摯なる救護慰問品の爲め臺北州では各市郡宛附近の驛より罹災州宛に發送すべく通牒したが、二十三日夜交通局府にて開催された部局長會議に依り臺北州内に救護事務局を設け此處で被害地の情況により適當なる物資の發送を爲し臨時聯絡の統制を計る旨決定、各州に慰問品の種類、内容を即報するやうになつた爲め臺北州では各市郡に慰問品の種類、内容を報告せしめた後其救護事務所の命令を待ち直接市郡附近の驛より罹災地に發送する事に變更した

棺桶不足、 内地式を使用

【臺中電話】約三千名に達する即死者を出した本島式棺桶不足を告げ死體の後始末に困つたので、臺中州下では取敢ず内地式長方形の簡單の棺桶を作つて納棺掛かせしめつつあり、而して二十二日中には屯子脚の一部を除き此の埋葬を了したので愈々二十三日よりは本格的に倒壞家屋の整理その他復舊作業に移ることとなつた

阪神地方の臺灣關係者憂慮

【神戸二十二日發本社特電】臺灣中部の大震災に就て阪神方面にかては關係者が多いだけに極度に神經をとがらしつつあり、一報又一報と被害の深刻化が報ぜられる毎に愁ひの度を深めつつあり、平生臺灣の事と云へば案外冷淡な各新聞も第一面全部を之れに費し其の深刻なる慘狀を思はせてゐる

衛生課長視察

【新竹電話】督府高衛生課長は二十三日夕刻來新二十四日は苗栗郡下の震災地を視察後臺中州下震災地に入る豫定であると

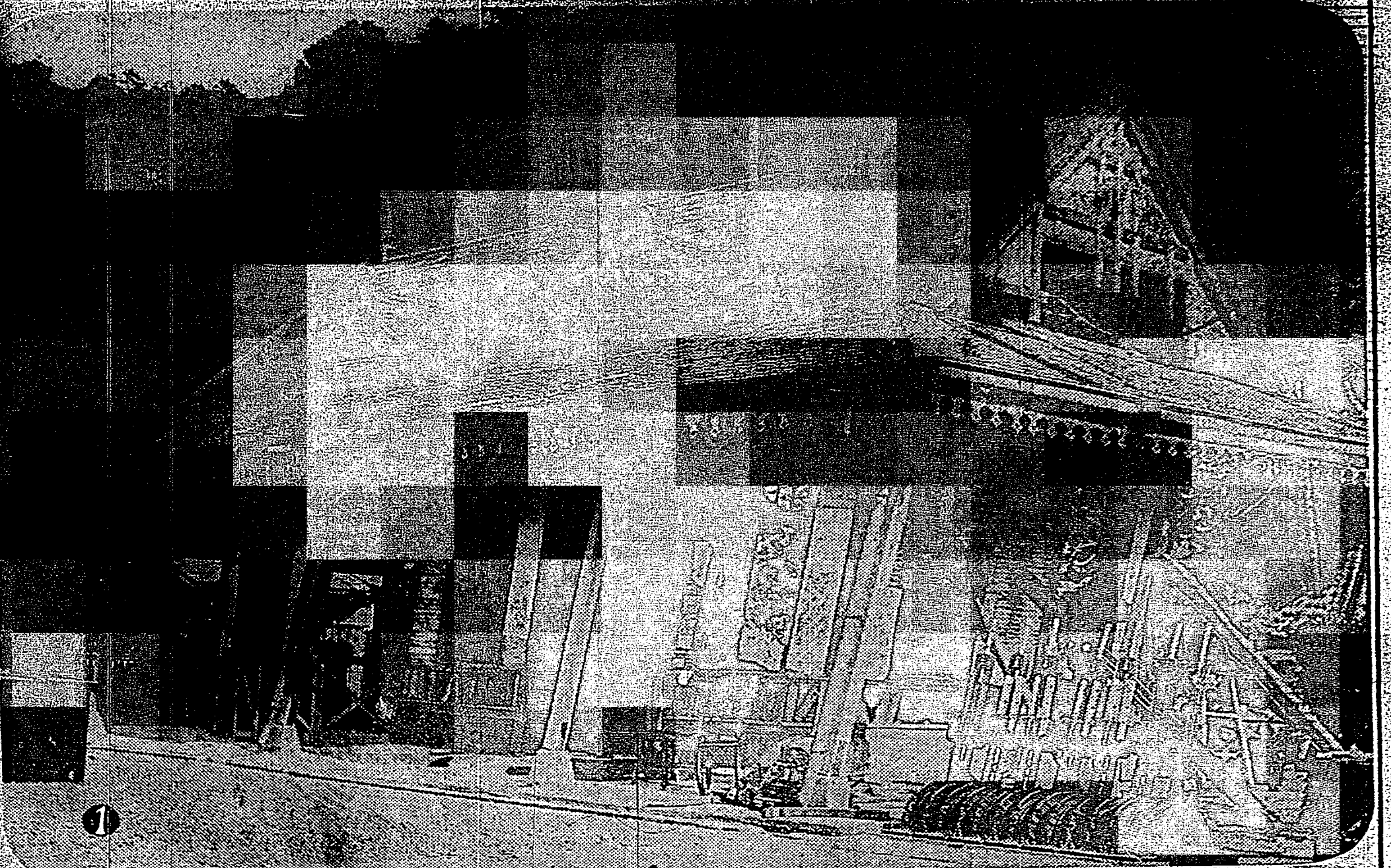
新竹州下の 蕃情平穩 判明した被害

【新竹電話】今回の震害に對し新竹州蕃地は殆ど被害なく、殊に人氣は地震は昔からあるので殆ど平穩である模樣であるが、駐在所の被害は相當多い模樣である、目下判明せる被害左の如し

△大湖郡 蕃人死亡一、負傷者五、蕃屋全壞三、半壞二、駐在所全壞一、半壞七、蕃屋全壞六、半壞一四

△竹東郡 蕃屋全壞三、半壞五

△竹南郡 蕃屋全壞一、半壞一〇、駐在所全壞一、半壞三



寫眞說明

【一】傾斜して正に倒壞せんとする大安驛（本社特派員撮影）

【二】后里大安間のトンネル大龜裂（本社特派員撮影）

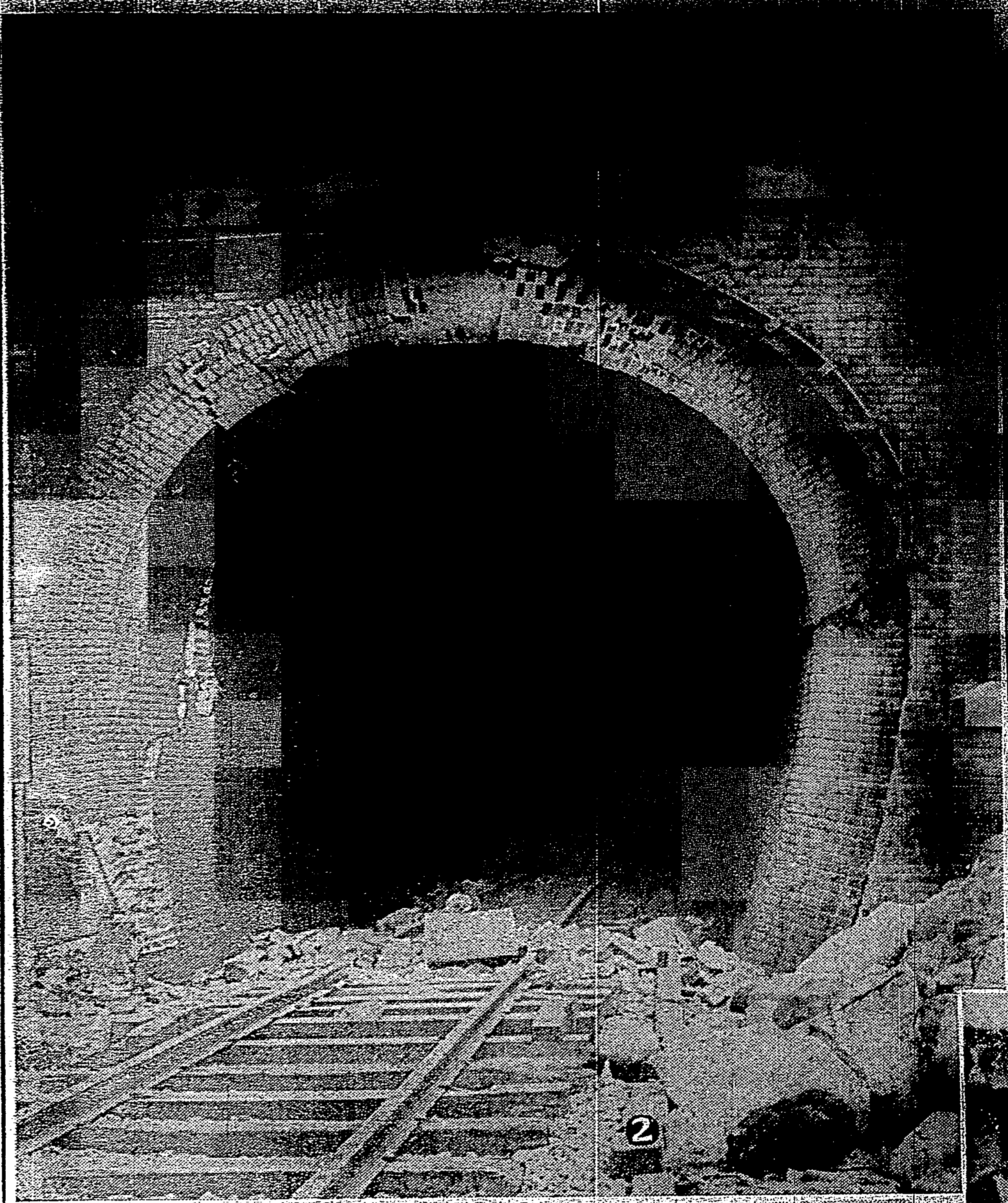
【三】積み上げられた棺を警戒してゐる青年團員、豐原郡內埔庄にて（本社特派員撮影）

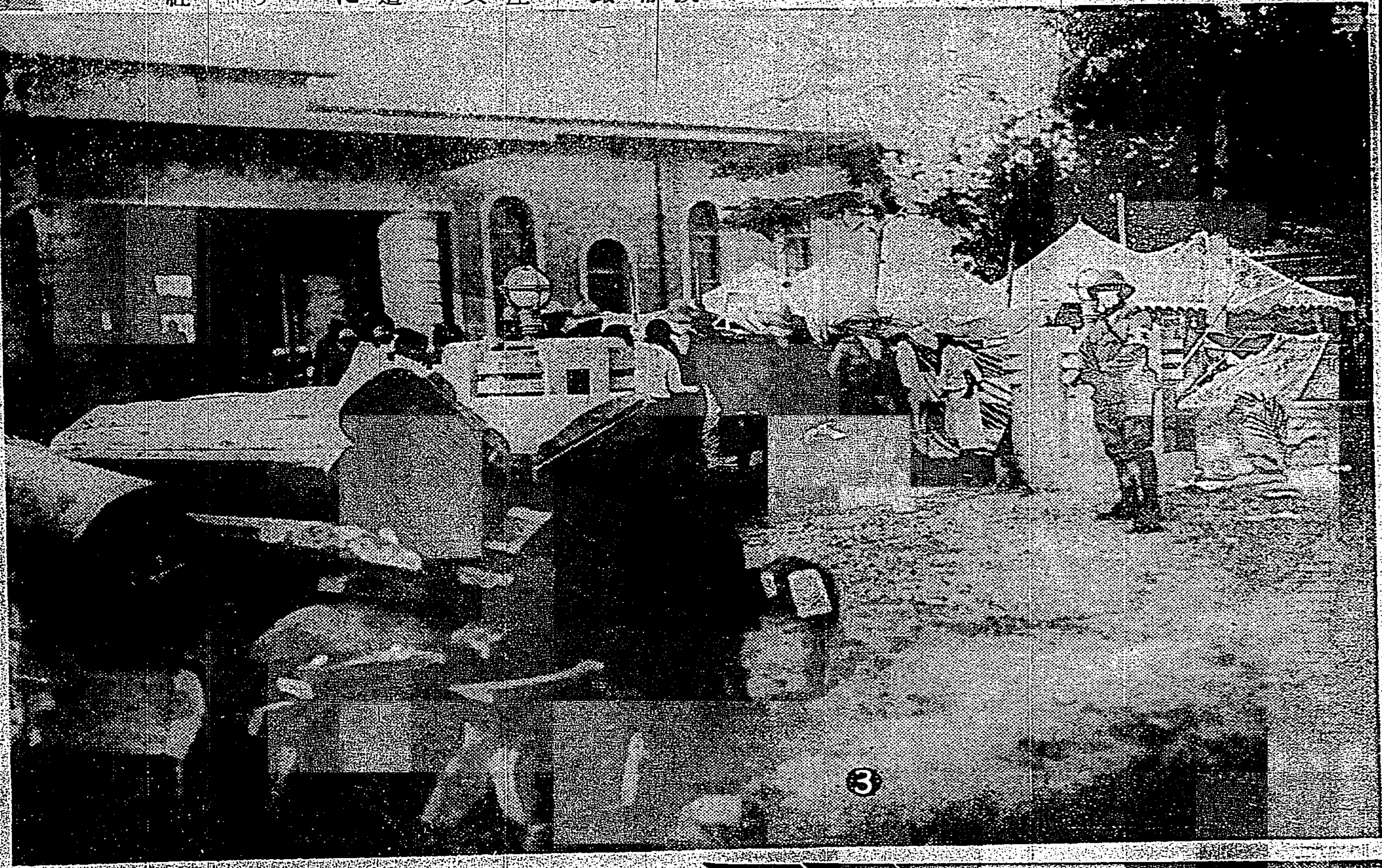
【四】母は慘死し生殘つた二男二女が重傷の父を介抱してゐる涙の手當（豐原郡內埔庄にて本社特派員撮影）

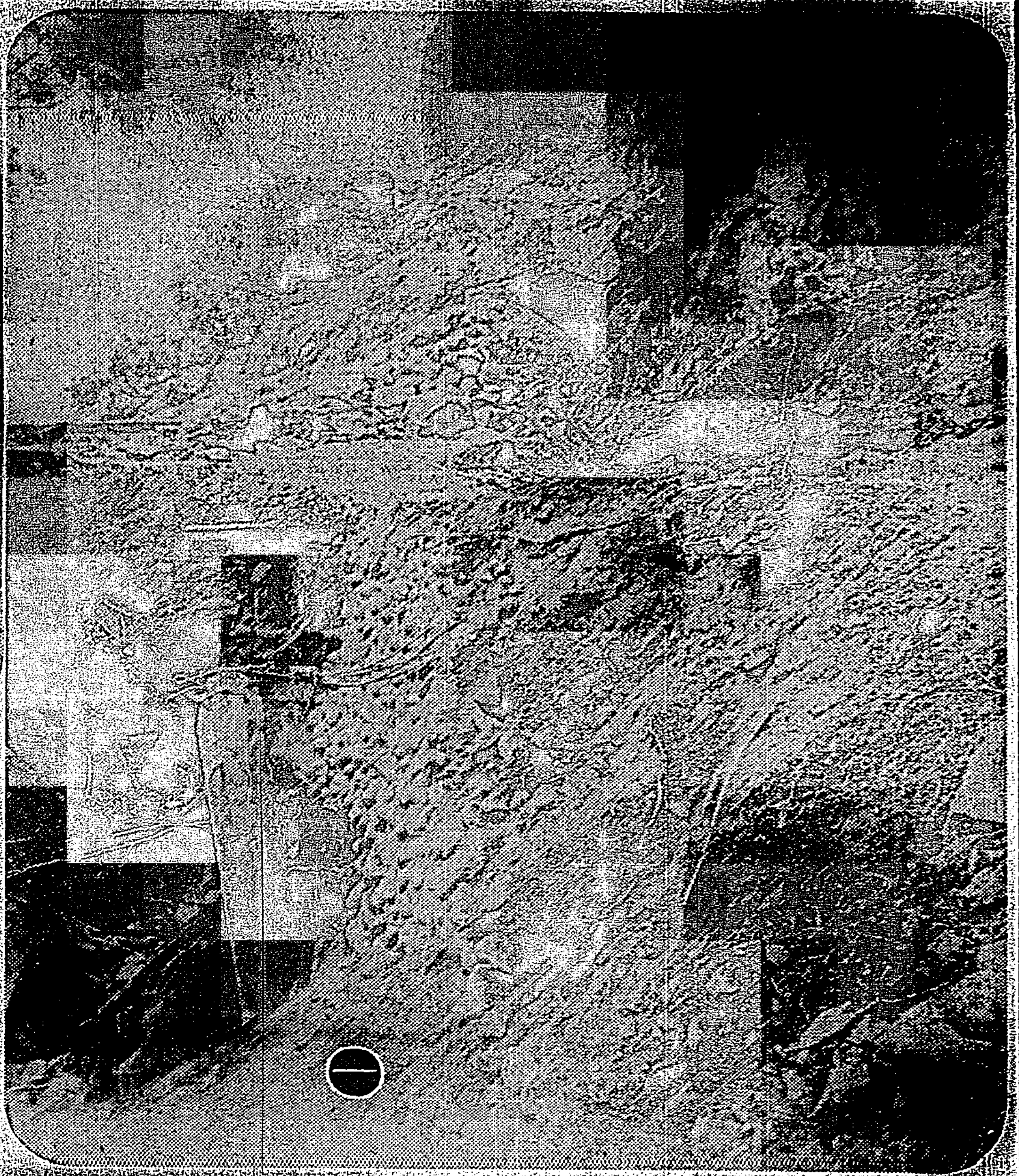
【五】豐原郡屯子脚の庄役場にて食事を給與（本社特派員撮影）

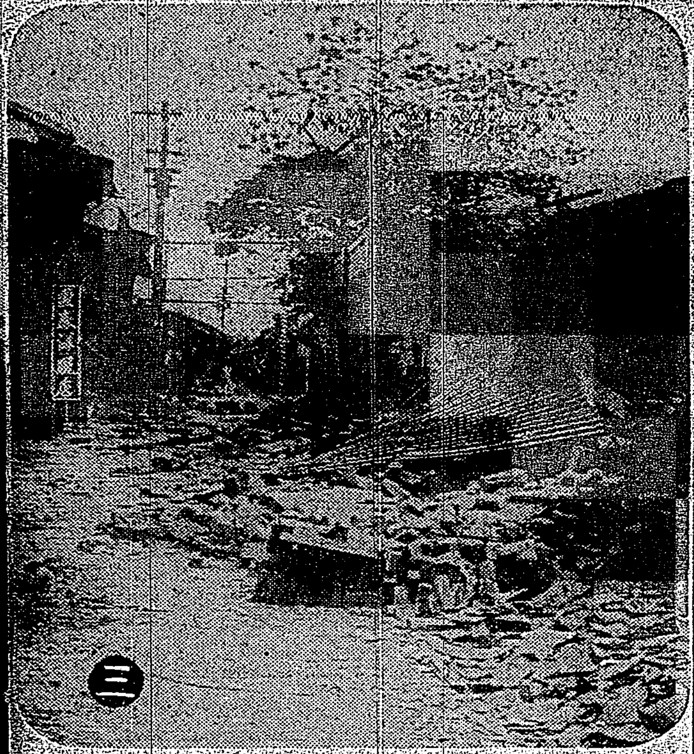
【六】臺南赤十字社派遣員の活動（內埔庄にて本社特派員撮影）

【七】治安維持に出動する補助憲兵の活動（大甲地方にて本社特派員撮影）









寫眞說明

【一】苗栗、大湖間道路の崩潰（有富寫眞班員撮影）

【二】同上路上に落下せる大岩石―立てるは岩田特派記者（有富寫眞班員撮影）

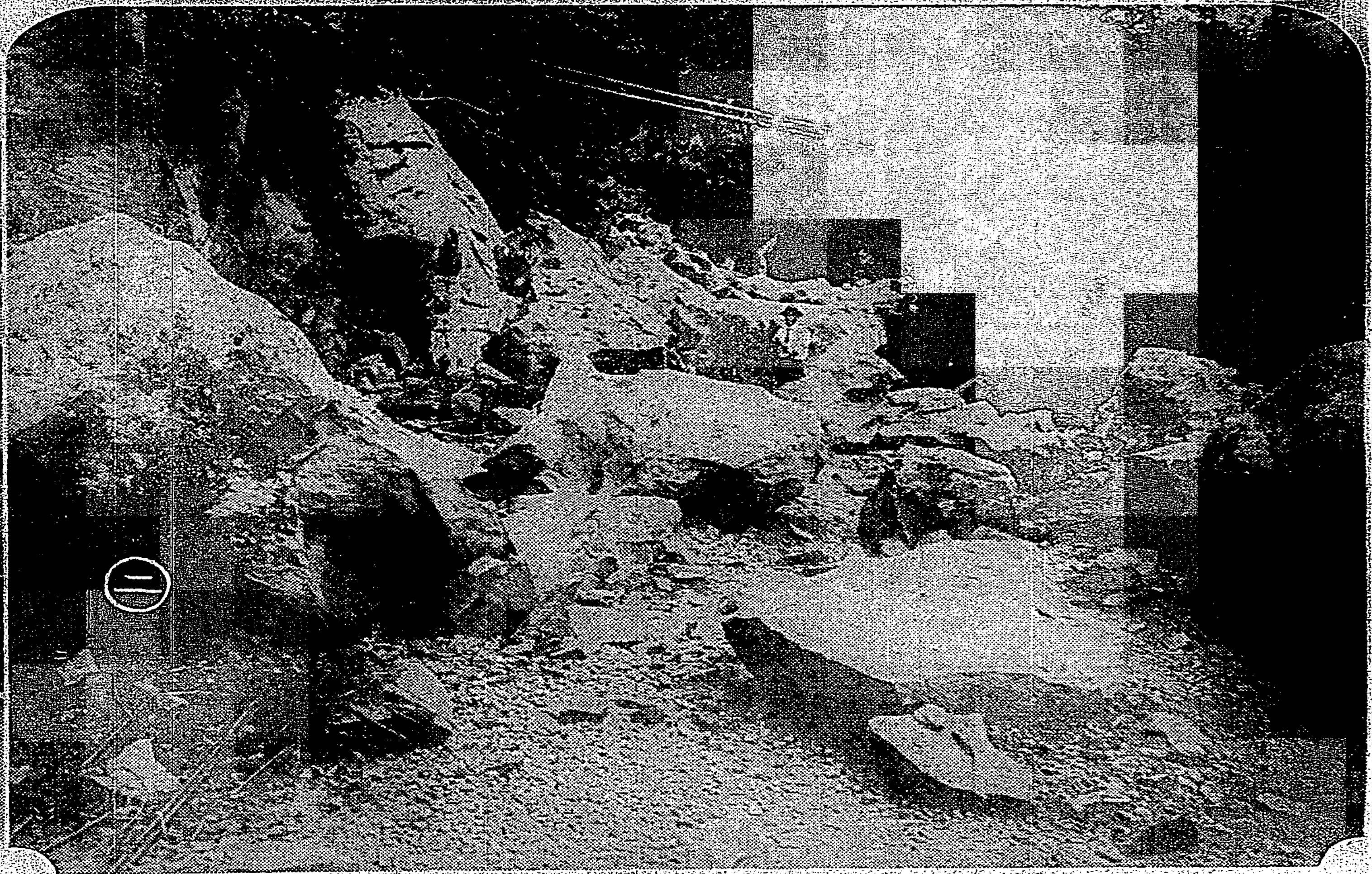
【三】苗栗郡公館庄の慘狀

【四】大湖街目拔の通り（有富寫眞班員撮影）

【五】食糧品運搬を軍隊で護衛（有富寫眞班員撮影）

【六】大湖街の避難民

【七】大湖街壞滅の跡



翕然として集まる 震災地への厚き同情
在臺の華僑も急遽檄を飛ばし 全島から義捐金募集

今回の大震災に對し臺灣五百萬の住民は擧て罹災者に同情し義捐と同時に義捐金募集に應じ百圓、二百圓と分に應じて醵出するなど同胞愛の美くしい情景を到る處にみせてゐる、一方官衙並に地方當局の處置は機宜に適し殷賑を[illegible]て善後策に努力してゐることに對し罹災者は勿論本島民も非常に感謝してゐる模樣である、臺北市永樂町會には二十一日緊急臨時總會を開催して義捐金勸誘を協議し一致可決し役員は總出で各戶を歷訪して義捐金募集に當つて居り總會にはつきものの酒食を廢しその費用を全部義捐した、又在臺華僑も默視する能はずと蹶起し、全島に檄を飛ばしたが役員は二回以上として詳く會員より醵集する外三日間は宴會や歌舞音曲を遠慮することを申合せた、對岸旅行中の辜顯榮氏はこの震災を福州にてきき直ちに歸臺の途につき二十三日基隆入港と同時に二千圓を本社を通じ義捐するなどその一例であるが、全島華僑を擧げてのこの同胞惻心の發露は誠に麗はしいことで非常時美談として永く傳へられることであらう

東瀛學校に 一千圓 辜氏が寄附

貴族院議員辜顯榮氏は先般來臺した坂西利八郎中將と共に福州に赴き日文學堂の要人等と懇談し同地に日文親善に奔走中であるが、兩州の震災が[illegible]現在本島罹災民子弟は勿論支那人子弟をも收容して日本語の普及に努力してゐるのに敬意且つ氏自身の古稀の祝を祝する意味にて去る二十一日宿所たる[illegible]に東瀛學校設立者たる[illegible]會長林熊徵氏を初め關係者並に同校生徒全部を招待茶話會を開催したがこれを記念に同校に一千圓を寄贈したと

新竹 臺中 兩州下の死者 三千二百九名 外に生死不明五名

新竹、臺中兩州下に於ける今回の震災被害につき二十三日午後八時總督府警務局の發表左の如し

區分	種別	新竹州	臺中州	計
人	死亡	一、三四五	一、八六四	三、二〇九
	重傷	一、四〇四	七、四〇一	八、八〇五
	輕傷	一、七一五	—	一、七一五
	生死不明	五	—	五
家屋	全壞	九、二〇五	六、〇一七	一五、二四二
	半壞	七、九三八	七、六六五	一五、六〇三
	大破	二、七六九	一、五六一	四、三三〇
	小破	三、二九六	—	三、二九六

生殘つた哀れな子等（本社特派員撮影）

新竹州の總損害高 五百三十三萬餘圓
二十三日まで判明の分

【新竹電話】二十三日現在の新竹州下の震災罹災者は既報の通り十五萬六千二百三十一人により家屋全壞その他の損害見込額は左記の通り五百三十三萬九百圓の巨額に上つてゐる

（住家）（單位圓）

	全壞	中壞	大破	小破	小計
新竹署	三三、四〇〇	四、二五〇	四、三五〇	二六、八〇〇	六八、八〇〇
新竹郡	二、七〇〇	一〇、七五〇	二、四〇〇	四、五五〇	二〇、四〇〇
中壢郡	—	七五〇	—	一〇〇	八五〇
大溪郡	—	—	一五〇	五〇	二〇〇
竹東郡	三四七、一〇〇	二三五、五〇〇	一八五、四〇〇	三四、二五〇	八〇二、二五〇
竹南郡	九六六、六〇〇	一七六、二五〇	一〇一、八五〇	六八、〇五〇	一、三一二、七五〇
苗栗郡	一、〇四〇、四〇〇	八〇九、二五〇	一一一、六〇〇	四〇、七〇〇	二、〇〇一、九五〇
大湖郡	三三八、八〇〇	一三五、七五〇	九、七五〇	五五、〇〇〇	五三九、三〇〇
合計	二、六八一、五〇〇	一、三九四、五〇〇	四一五、五〇〇	[illegible]	五、三三〇、九〇〇

罹災者實に "二十萬餘人"

【臺中電話】臺中州下の罹災者は二十萬餘名に達するが、家を失ひ家財什器を失つたものは火多數でそれ等の人々へ就職や又適當な移住地を斡旋する必要があるので州地方部に於て早くこれが對策を研究、目下實害の調査中である

民心安定

【臺中電話】臺中州下の民狀は地震に伴ふ恐怖から流言蜚語等多少あるが、恐怖のものなく比較的平靜であつたが、其の後地震も漸次少くなつたので全く安定するに至つた

續々寄附申出

【新竹電話】竹南郡頭分庄震災の庄協議會員林連壽氏は今回の震災に對し金二百圓を、又[illegible]氏は金廿圓を寄附し、中壢郡では二十二日午後一時郡役所に於て街庄長打合せの結果金五千圓の寄附を爲すことに決し、取敢ず金三千圓を二十三日各街庄長持參して州に出頭罹災者に配布方を依頼することになり、又新竹市北門[illegible]氏は金百圓を寄附する旨新竹署に申出た

保甲民の美擧

今回臺中州震災に於ける震災は未曾有の慘禍にして被害も又莫大なりと聞きたる臺中州能高郡北山坑甲保合會長[illegible]氏は北山坑飛龍氏と語り四月二十一日臨時保甲會議を開き罹災者救恤の一端ともと[illegible]能高郡守に寄附方申出たのは[illegible]村なるが爲め一層の美擧と云はれてゐる

金二十五圓[illegible]、金三十四圓飛龍、金十圓林居明、金十圓劉[illegible]、金十圓徐煥文、金六圓林九、金五圓蔡連旺、金五圓邢乾眼、金二十圓保甲役員、金八圓五十錢壯丁團員

節して罹災者へ 祭祀の經費を

新竹州中壢街[illegible]氏は此度の大震災の慘害を非常に同情し來る舊七月の祭祀の費用一部を節[illegible]

神岡庄の避難民收容所（本社特派員撮影）

庄長らの義捐

臺南州新營郡柳營庄長劉明哲氏始め同役場職員小使迄一同相計り金二十七圓を醵出し去二十一日中部大震災罹災者の見舞金として同郡下に率先して郡役所へ送金方を二十二日申込んだ尙同庄[illegible]派出所巡查[illegible]氏は平生市場買物の剩錢を竹筒に貯へたる金二圓九十錢も二十三日申込んだ新營街新營[illegible]外有志六名も相計り二十五日[illegible]一人に付[illegible]二十錢徵收し收入金全部罹災者の義捐金にあつるべく目下[illegible]してゐる

街內一圓から 義捐金募集

新竹州中壢街では此度の大震災の罹災者に對する義捐金募集方を二十二日午前十時街內有力者及委員等を召集打合せを爲した結果二千圓を目標に街內一圓より募集に決定、夫々直ちに着手することとなつた

震災を機會に 住宅建築を改善

臺南州斗六郡警察課長永田三郎氏は今回の中部地方の强震に家屋全壞したのは要するに建築の不完全に起因するので特に市區改正の途上にある郡下斗六街斗南兩ケ所はこの際之を以て建築改善の[illegible]なることを痛感し之を郡民に徹底せしむべく目下具體的研究中にて不日之が具體的方案が發表さるるものと見られて居る

愛婦で慰問金品を募集

今回の震災については罹災地の新竹內海愛婦支部長、臺中臺中支部長は勿論會員總出動で炊き出し負傷者の看護等に大童で活動してゐるが愛國本部でも臺北州支部と合同して[illegible]事務員を特派し現地の狀況を視察させ同二十一日午後十時三十分臺北驛發で熊井主事が罹災地に赴き、一方罹災民救援の爲會員の慰問金品を一般から募集する事となつた

內地觀光の高砂族 震災の報に喫驚

【門司二十二日發本社特電】竹東郡に引率された內地觀光の高砂族一行三十餘名は[illegible]丸で本日正午過ぎ門司着、同船碇泊中門司市內を見物して海路東上したが、臺灣の震災を船中で聞かされて吃驚してゐた

漁港の築造を 當局に陳情
馬公商工會から

馬公商工會では既報の通り去月澎湖廳長に對し馬公漁港築造速成方の件、[illegible]數箇の件に就き陳情する所があつたが更に四月二十二日午前三浦顧問、上商柳作副會長、原平雄、大久保壽三郎の諸役員は要港部に大野司令官を訪問し陳情歡願する所があつたが大野司令官は木曜參謀長、中堂先任參謀其他幕僚立會の下にこれを聽取され、漁港築造の件に就いては土地柄でも必要であるから出來るだけの盡力をしてやる[illegible]と云ふことであつた、同參謀長は明言は出來ないが考慮して置くと云ふことであつた、[illegible]部に佐竹司令官を訪問同様の陳情をしたが[illegible]澎湖廳の件は要港部としては大いに考へて居る所があるが此際上の見地から馬公に漁港の實現は大いに必要な點が多いから是非その實現を見る樣に運動してやらうと云ふ事で一同は滿足して引下つた、尙此運動には街民相結束し[illegible]して目的達成に努力する[illegible]

二百五十甲餘の 鹽田を擴張
關係部落民は これに反對か

既報專賣局に近時[illegible]しつつある全國鹽統制方針及び鹽增產計畫に基づき田端專賣局長は豫ねてより島內各地に鹽田擴張を企て既に過般の上京に依り關係當局の內諾を得て所謂田端局長案の四千甲を、逐次擴張すべく內定を見た譯で先づその第一步として本年度より二百五十甲の擴張を實施することとなつてゐるが當局は今尙前記の實施區域を內密に附してゐるも[illegible]するに交通上比較的便利な臺南州東石郡東石庄[illegible]及び頂東石の二海埔地に二百甲を殘りの五十甲を北門郡下に擴張施設を計るべく決定した由で東石郡下の二ケ所は既に過日田端局長が實地踏査を遂げ當時より斯かる計畫があつたものとされてゐる、然るに二部落の內[illegible]地方は同局長視察[illegible]

街頭に立ち 募金を開始
東京市民の同情 其極に達す

【東京二十二日發】關東震災の經驗を持つ東京に於ける官民の同情は其極に達し社會事業團體並に學生團體其他は早くも銀座、新宿等市內要所の街頭に立ち大々的募金を開始した

自發的の義捐

臺南州斗六郡斗六街[illegible]陳林氏[illegible]

試錐の成績よく 小豆大の砂金がザクザク
產金會社有卦に入る

【花蓮港電話】花蓮產金會社の新城に於けるボーリング試錐第一本目の成績は既報の如く極めて良好であるが、二十二日の如きは深度九十五尺で二百八十九粒の砂金を發見した二十一日迄の粒數は四百三十四粒であるから合計七百二十三粒で大きいものは小豆大のもの粒が選つてをり大小無數ひの砂金の粒である由つて深度百尺に達したる時砂金粒の重量を計算すると同時に又ボーリング土砂量一坪に對する含有率を以て割合を計算することとなつてゐる

八百餘萬圓の 價値ある金鑛區
タツキリ溪中心の金鑛

【花蓮港電話】タツキリ溪中心とする砂金鑛區の外に又[illegible]の砂金が發見された事は既報の通りであるが二十二日から同鑛に多くの出願を見てゐるのは既報の通りであるが、二十二日から[illegible]出願地に對し[illegible]に着手してゐるが同方面へは臺北江本、山下三氏の出願地の外花蓮港[illegible]氏の大高水南氏の分は既に一月中に調査濟みであるが[illegible]局長屋[illegible]は同出願地に八百萬圓の價値がありと稱してゐる

暹羅、瑞典公使が震災見舞

【東京二十二日發】駐日シャム公使ラクサ氏は二十二日午前十時十分外務省に廣田外相を訪問、本國政府の訓令に從つて臺灣に於ける大震災に對し鄭重なる見舞ひの言葉を述べて辭去した、又駐日スエーデン代理公使バクケ氏も同樣廣田外相を訪問、政府の見舞を述べて辭去した

街民へ軟かい 牛肉を供給
勸業係の計畫

【花蓮港電話】花蓮港街民の食膳に供する牛肉は主に黃牛で而も其の肉質が固く不味である爲め街民には嫌はれ賞美する者なく其の屠殺頭數も廳下を通して一年僅かに五、六百頭に過ぎない有樣であるが花蓮港廳勸業係では何とかして一般街民に、もつと旨い牛肉を供給したいとの考へから[illegible]の完成するを待つて之が實施に取掛る計畫を立ててゐる、肉牛とする黃牛は農耕又は運搬用に使役した老牛のみを屠殺してゐたが屠殺前數日間も休養させ豐富な飼料を與へて飼育した後に屠殺すれば肉も柔かく其の味も美味で內地牛[illegible]

恐喝犯人捕はる

【嘉義電話】嘉義郡下[illegible]柯火炭（二〇）は四月上旬同所前科一犯郭數明（三〇）と共に同所陳氏の宅に到り同家の背後には勢力家があるぞ君の息子が柯の黑豆を盜んだがその賠償金として二十圓を出さねば豚小屋に放火するぞと脅迫して金十八圓を捲上げた[illegible]

部落改善の打合會

【中壢電話】中壢街では二十一日午前十時より中壢公會堂に於て州街職、各小公學校長、區長等[illegible]長田視學の挨拶、部落改善に關する座談會を開催し上山郡務課長[illegible]意見を交換して正午散會した

臨時總代會

彰化[illegible]利用組合では來る二十七日午後一時より市會議事[illegible]に於て臨時總代會を開催することとなつた

解散最後的の打合せ

【臺南電話】[illegible]は既報の通りであるが二十日午前十時より同社階上にて更に臨時總會を開催し財產目錄貸借對照表等各事項の承認を求め解散についての最後的打合せをなした

小公學校長會議

臺中州彰化郡に於ける小公學校長會議は去る二十三、四の兩日に亙り彰化郡役所二階會議室に開催され第一日は郡守訓示、指示事項、諮問事項答申[illegible]前年度の實績に鑑み學校教育、社會教育並に職員指導上本年度特に實效努力せんとする事項如何に對し夫々學校長より熱心な答申あり第二日は打合事項、指示事項など各員共愼重に打合懇談があつて無事終了した

花蓮港の 結核豫防宣傳

【花蓮港電話】花蓮港廳衛生係では來る廿七日の結核豫防日に對し積極的に種々の行事をなすが廳下各街庄區に對して大ポスター四百枚宣傳ビラ五千六百枚、漫畫繪本六百七十冊、パンフレット三百五十部等を配付する外各街庄學校では結核に關する講演、保甲、部落社等も同様[illegible]夜具の日光消毒、[illegible]では豫防宣傳の[illegible]を出し接客業者に對しては衛生講話を行ふ一般にはラジオ放送講演會を開き私立醫院にても無料健康相談並に大小便の檢査の求めに應ぜしめる、尙花蓮港街では自動車でビラを撒布バスにポスターを貼り付けて宣傳する等々盛り澤山の行事である

彰化市の結核豫防

彰化市では來る二十七日結核豫防記念日に當り行事として左記事項に依り大々的に施行することに決定した

△午前十時より自動車四臺を以て宣傳隊を編成し樂隊を先頭に各大通りを練り宣傳ビラ配布
△市會議事に臨時健康相談所を設け醫師に依頼結核患者の診斷喀痰の檢査を行ふ
△前記相談所にて結核患者に對し豫防及消毒藥の無料配給をなす
△市內樞要の數ケ所に立看板掲示
△市內に營業所を有する乘合自動車の車掌後尾及車內にポスターを掲示
△[illegible]新報を自部購入學校其他に配布

稻熱病の被害
稻村技手視察

臺中州能高郡下にかかる稻熱病の被害區域は殆ど埔里庄のみにして此の作付甲數一千三百餘甲步の內約百五十甲は被害を受け郡當局は街庄を督勵して驅除に努め居るも現在に於て五割以上の減收と認めらる、甲數は六十甲以上に達し其他も一割以上の減收は免れざるべく被害甚大なので農民は憂慮して居る、因に總督府農務課稻村技手は以上の被害狀況を視察し十九日歸府した由

花蓮港除隊兵

【花蓮港電話】花蓮港第三大隊昭和七年徵集兵の除隊兵二十名は二十二日午前八時營門發直送上り[illegible]船し途に着いたが黑金通り驛前より羽鳥醫院前迄の間には各官衙在郷軍人、諸團體、女學校、小公學校生徒等が、[illegible]廳長以下[illegible]を迎へ盛んな見送りをなした

優良兒の選獎會

臺南州新營街は乳兒愛護[illegible]普及の目的で五月五日子供の日選獎會を開催すべく優良兒を州へ推薦の爲め既に審査依託し審査の結果一等王[illegible]明、[illegible]明、[illegible]川[illegible]三男、[illegible]郎、二等五名、三等十一名、選外者百餘名があつて昨年[illegible]

自治制講習

臺南州[illegible]郡[illegible]では二十三日より向ふ一週間[illegible]に於て每日午後七時より十時迄自治制に關する講習會を開催してゐるが講師は[illegible]郡守並に板垣街庄主任係である

天長節祝賀

【屏東電話】屏東市の天長節祝賀會は二十九日午前十時半より公會堂にて開催することとなり二十五日迄に市役所庶務課に申込むこと

成績は良好

[illegible]檢查は二十二日より二日間郡役所構內にて田中、八木兩檢查官の手で[illegible]成績は頗る良好である

頭圍信組の 自力更生展
五月上旬に開催

【宜蘭電話】宜蘭郡頭圍信用組合では昨年八月以來新築工事中であつた組合事務所及び農業倉庫の竣工に依り落成式を兼ね農村自力更生展覽會を五月上旬開催するが日取及び行事は大體左の如く決定した

△五月十日午後一時落成式
△十日より二日間農村自力更生展覽會
△十一日午前九時より[illegible]農業組合研究會
△午後一時より[illegible]

新營の組合事務所は延坪百六十坪工費一萬四千餘圓、農業倉庫は延坪五百六十坪工費一萬五千圓、合計五萬四千餘圓に及ぶもので產業組合研究會には郡下から產業組合役職員六十餘名、農會研究會には臺北、新竹兩州下の農會關係者百餘名列席して事務上の諸研究を爲し展覽會には產業組合に必要な資料としてポスター、ビラ、パンフレット、寫眞掲圖等を掲げる外農村用米調製用の機械の實物を陳列する等大々的催しで餘興には舞踊と活動寫眞等もある害である

加良谷巡查警察葬

【高雄電話】高雄州刑事課勤務加良谷貞義巡查はかねて病氣療養中であつたが二十三日午前六時遂に死亡し二十四日午後四時より[illegible]堂にて警察葬を執行すると

豚舍改良の褒賞授

【高雄電話】高雄州鳳山郡[illegible]組合主催豚舍改良獎勵會褒賞授與式は二十二日午前十時より同地公會堂にて知事代理家村勸業課長臨席の下に擧行、[illegible]技師の審查報告に次ぎ褒賞を授與したる後式辭を述べ知事代理の告辭ありて一等は田中組合長田中郡守より二等大林[illegible]、三等大[illegible]、四等紅毛井以下合計二十二名が成績良好にて入賞した

發育檢查豫選

【臺南電話】臺南州主催乳幼兒[illegible]會は來る五月五日開催するが二十一日午前九時から[illegible]本館にて[illegible]臺南醫院の野村院長始め各科醫長等出動して乳兒の發育檢查を行つたが午後一時までに二百十二名、午後五時迄には遂に二百名を突破するの盛況を呈し二十二日は[illegible]優良兒の選奬を行ひ入選兒を決定する豫定である

臺灣日日新報
本日夕刊特輯グラフ共十六頁
臺灣日日新報社 臺北市榮町
本紙一部五錢・一ヶ月金壹圓參拾五錢
振替口座臺北二一〇番
電話

改造　五月號　特價八十錢

現代に於ける自由主義の効用と限界　大森義太郎
（反動の嵐と抗爭する現代自由主義は如何なる效果と限界を有すか…）

美濃部問題と岡田内閣　阿部眞之助

日本ブルジョア層論　向坂逸郎

ネパール紀行・平等通昭
日本植物一家言・牧野富太郎
ゴルキー的創作方法・德永直
ベルガ貨の轉落・世界情報
滿洲の國花東洋蘭・朝倉文夫

ブルジズムの出現・大佛次郎

明治の武將　三宅雪嶺

現試驗論　廣濱嘉雄
財界風聞・三菱田友三

歐米勞働運動の現勢・荒畑寒村
鬼才ボウマルシェエ・辰野隆
現下復古現象の批判・戸坂潤

横濱今昔　佐藤惣之助
舊聞日本橋　長谷川時雨

大衆讀物　憎惡　陸直次郎

日本ファシズム展望の新筆
石濱知行　今中次麿　馬場恒吾

名人略傳漫談　關根金次郎

現實の豐富と文學の豐富・谷川徹三
最近のコムインテルン・布施勝治

思想としての條文與學　林髞

昇天銃殺人々　櫻如

旅役者物語・林二九太
小栗上野介・近松秋江
映畫人交遊記・サトウハチロー

世界的大風說記　竹内逸

危機を孕む歐洲の政治情勢　美濃部亮吉

日本漁村の現狀・蜷川虎三
支那國民經濟の行方・周憲文

東京の盛り場（文と繪）・堀田清治
（詩）塵・高橋新吉
ピエール漫談・佐藤清象
無題錄・山本實彥
寸評・文藝・美術・映畫・演劇・スポーツ

小說　武昌城下　郭沫若
小說　牝鷄　林芙美子
小說　青空　廣津和郎
小說　ミライエスタ　三波利夫
小說　水路　葉山嘉樹

未發表遺稿　トルストイの祕密の日記（死の家出前後）

實際園藝　アザレアとサツキ特輯

五月號　いよいよ出來
アザレア新種と實生　矢野長三
始めてアザレアを作る人へ　吉井良恭
アザレア挿芽と育苗　長尾大太郎
…
皐月の流行品種について　田中喜三一
皐月の流行品種の作り方　北村愛之助
皐月の盆栽式仕立方　牧野守治
…

原色東洋蘭圖譜　石井勇義著
實際園藝主幹

短期大特價提供
特價期間四月末日後は定價に復す

原色萬年青圖譜　石井勇義著
大好評重版
短期大特價提供・特價期間四月末日まで・期間後は即日定價に復す。

近世渡來園藝植物　松崎直枝著
大好評

原色園藝植物圖譜　石井勇義著　全六冊

原色野外植物圖譜　牧野富太郎著　全四冊

原色日本海草圖譜　東道太郎著

蘭科植物の栽培
東洋蘭と西洋蘭
蘭と萬年青の培養
球根の種類と栽培
盆栽と花木の培養

誠文堂　東京神田錦町

婦人倶樂部五月号の全讀者に洩れなく贈呈！大評判の別冊大附錄

夏の子供服婦人服

今夏は洋服大流行!!
この婦人倶樂部をお手に入れねば御損です
賣切れぬ中大急ぎお求め下さい！

●今年度の新流行型、一流大家苦心の新考案數百種の中から、型といひ配色といひ斷然優れた傑作ばかりを選びに選んで全部で四十種を發表した豪華版の大附錄！
●發表の型は悉く目も覺める樣な實物通りの着色寫眞と、一目でわかる圖解入の作り方說明で、手縫でもミシンでも應用自在、誰にもスグ出來る、親切な附錄で大評判！
●男女子供服の各歳の代表新型から、上品でスマートな若向中年向婦人服まで、スバラシク立派な流行洋服が材料實丈でスグ作れるトテモ經濟的で重寶な附錄で大評判！
●愛讀者への大特典！
御希望により裁斷無料奉仕附屬品一切つきの洋服地を特價で提供致します。數に限りあり早いが勝です。大急ぎお申込下さい。

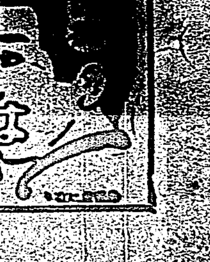
堂々數十頁の豪華大特輯
生花投入盛花全集

誰にもスグ出來る
一流大家、家元三十四家の責任指導！
●色とりどりの目も綾な盛花、投入、生花の型を合計三十七種、…
●別に、お花の上手な飾り方、生花の流派とその花型、…
お花上手は婦人一生の得！
是非とも價い値打と到る處大評判

ミス日本は誰？眞珠入の金指輪　百圓の大懸賞つき
現代日本百美人寫眞　發表

大評判の漫畫繪本　凸凹黑兵衛　引續き添附

定價五十錢　送料六錢
大日本雄辯會講談社



はー齒痛と頭痛に
のんできく
効の良藥
一散
神經痛、ロイマチスに
試驗は
本舖　國田…

法人登記公告
社團法人臺灣山林會（變更）理事…

商業登記公告
●基隆炭礦株式會社（變更）取締役…
●臺灣興業信用組合…

株式募集廣告
…
發起人　山野…　大木…　有坂…　光永…　大島…

大阪商船出帆　基隆
近海郵船出帆　基隆
辰馬汽船出帆
大連汽船出帆　基隆
會葬御禮　中村…

異變時と航空機の利用
今回の地震でも美事に立證

一

今回の大震災で鐵道、電話が甚大な被害を蒙り交通、通信機關は一時全く杜絶の中に義勇號が二十一日急遽臺北を發して神岡地帶を空から視察し臺北、臺南間を僅々二時間半にして往復し、不測の異變に際して重大な臨時の役割りを演じたのであるが、玆に於て何人も此文明の利器の威力の絶大さを一段と切實に味はされた事であらう。地上に於て臺灣の北と南を連絡する唯一の幹線たる縱貫鐵道は地震に依つて一たまりもなく、幾多鐵橋を破壞されトンネルは崩潰し、南北の連絡が一時全く絶たれたのであるが、此の時に於て飛行機が其の性能を大いに發揮した事に想ひを致せば、平時、非常時を問はず今更ながら航空事業の重要性を痛感されなければならないのである。

二

飛行機の持つ性能とは申すまでもなく空間が與ふる運動の自由と其の迅速とがそれである。之が飛行機をして交通、通信、運輸等に於て絶大な價値あらしめる所以である。今度の震災の結果、鐵道の復舊は相當の長時日を要するものと觀られる。不時に於ても輸送能力の足らざる事甚しき鐵道が斯くては交通、運輸等の上に於て由々しき支障を餘儀なくされる。のみならず臺灣は山脈重疊、鐵道網の發達は知々困難な事情がある。然るに航空機に於ては斯くの如き不利はない。臺灣に於て民間航空事業が發達して居れば非常の事變に際しては固より、平時に於ても旅客の輸送、郵便飛行等多大の便益がある。否便益があるに留まらず今日の時代に於ては航空事業の振興は絶對必要事に屬する。

三

然るに臺灣の民間航空と言へば僅かに四機といふ情けない狀態である。斯くては今回の震災のみならず、更に豫想せざる異變に思ひを致せば寒心の至りである。島民の輿論の結果內臺航空が近く實施せられる事となり、內地との距離は甚しく短縮されるわけである。しかしながらそれだけでは依然として臺灣の人士は北の方をのみ向いてゐるだけだ。臺灣は南支、南洋發展の足石なりと言ふのは單なる空言であつては堪らない。今日の四圍の情勢では臺灣は全く時代に取り殘され、南方發展の途は殆ど全然塞がれて了ふであらう。今や須らく眼を開いて世界の航空政策を注視しなければならぬ。然らば內臺航空は更に臺灣を大いなる足場として南方へ大いなる活躍の基をなすべき所以が痛感されるであらう。日本の航空事業が非常に遲れ列強に比すれば大人と幼兒との開きがあるとしても臺灣は其の位置と使命に鑑み、日本に於ける航空國策をリードする意氣込みで進まなければならぬ。

四

今や列強に於ける世界の空中征服の觸手は益々進められてアジアに集中され、而も其の直前に於て競爭は愈激烈を極めてゐるのである。英國のインペリヤル・エーアウエイズは首都より印度を經て新嘉坡へ、佛のエアー・フランス同じくサイゴンへ、又和蘭のケ・エル・エムも同じくジャワへ、いづれも一週間一往復の航空を確實に實行してゐる。英國は更に香港へ進出すべく、米國は桑港よりマニラへと太平洋を横斷し、更に南支那との連絡を圖つてゐる。斯く臺灣は各國の航空網を以て殆ど全く圍繞された形でありながら、民間航空事業は前記の始末で海外へ航空路などとは今の所思ひもよらない。國防上は言はずもがな經濟的に遺憾の極みである。

五

今日の經濟的、商業的發展に於て航空事業は其の最も重要なる基礎をなし習要をなす。今迄の所我國商品の海外進出は著しく、南方發展に見るべきものがあるが、それは無統制の憾みがある。のみならず航空國策といふ重大なる國家的援助なくしては現通商陣は恒久的安全を確保し得るか？臺灣が地理的に重要な位置を占めてゐるに拘らず、時代の趨向に關心少く重大な使命を持ちつつ實するところ微々たるは遺憾とすべきのみならず、帝國の南方發展の爲めに深く考慮されなければならぬ。南方へ向つての航空國策の確立に依つて南方との距離は大いに短縮せられ彼の地に居住する邦人邦商は非常に力づけられるのみならず、親善關係深しきシャム或は一衣帶水の比島との親善關係も著しく促進されるのである。而して斯くの如きは大局的見地に立つて初めて實現が望まれ得る。臺灣に於ける人士は官民何れを問はず、眼界をもつともつと大きくして時代の進運に應じ、臺灣の使命に鑑み時代の要向を察して航空事業の振興に向つて全力を致さねばならぬ。

東洋平和の御足跡輝しく
滿洲國皇帝陛下 愈よ御歸國
二旬に亙る御巡訪を終へ 昨夜、宮島御發

【宮島二十四日發】滿洲國皇帝陛下には二十四日午後の嚴島御遊覽によつて日本訪問の御日程全部を滯りなく終へさせられ、同日午後八時再び御召艦比叡にて宮島御發大連に向け御歸國の途につかせられた。顧みれば陛下には去る二日アカシヤ芽ぐむ新京御出發、六日待望の日本に御來訪あらせられ、畏くも天皇陛下と睦く親しき御會談を遂げさせ給うたのを始めわが朝野と深き親誼の實をあげさせられ、二旬に亙る御巡訪によつて日滿千年の榮光と平和の金剛柱をうち建て給うたのである。燦たり東方の乾坤、われ等九千萬の同胞は之れを瞻仰し奉りて共に倶に遠か離りゆく御召艦の勇姿を拜しつつ一路平安を禱り奉ると同時に友邦滿洲國の繁榮と皇帝陛下の御萬福を祝ぎ奉るのであつた

輕微な御風邪

【宮島二十四日發】滿洲國皇帝陛下には二十三日神戸御出港以來輕微な御風邪に罹させらるる旨二十四日午後二時御召艦比叡から發表、嚴島神社御參拜後の御日程を繰上げさせられ午後五時半御歸艦、同八時宮島を日本に御名殘を惜ませられつつ午後八時大連に向つて御出港御歸國の途に就かせられた

府第二豫備金支出 大藏省も承認す
岡田財務局長へ通知

【東京電話二十四日發】大藏省は昨日臺灣總督府岡田財務局長より臺灣震災救恤施設として第二豫備金の支出方に就き交涉あつたに對し、二十四日午前省議決定の結果總督府特別會計第二豫備金並に剩餘金を以つて之れに充て若し右にて尚不足の場合は一般會計より臨時支出する事に決定、直ちに此の旨を岡田局長宛電報を以つて通知した

善後措置には充分協力す
賀屋主計局長より岡田局長へ打電

【東京電話二十四日發】臺灣震災に對し大藏省では別項の如く臨時救濟策を講じ充分之れに協力する事となつたが、賀屋主計局長は岡田財務局長宛に左の如き電報を發した

今回の災害に對しては深く御同情申上ぐ、尚此の善後措置に就いては速かに充分な協力を致す

震災救護定例幹事會

定例震災救護幹事會は二十四日午後二時より文教局長室に深川局長以下中島、石井、中田、高橋、楠山、高砂、森田、王野、須田各幹事參集開催され、其後の新竹、臺中兩州下の救護狀況に基き協議し、臺中州は救護狀況順調に進捗しつつあるも新竹州下災害地は交通極めて不便なる爲め救護充分ならざる模樣なるを以て各課より盡力援助をなし遺憾なきを期する事となつたが、就中新竹州下の罹災者收容設備と罹災者の收容バラック設備に關し急速手配方を申合せ午後四時散會した

悲歎の遺族に總督が慰問の言葉
豐原、內埔で當時の慘狀を偲び うたた痛心の面持

【豐原にて渡邊特派員】中川總督は新山祕書官を隨へ二十四日午前十一時五十四分大甲驛着にて來中、北島土木局長も同行驛まで小濱內務局長、日下知事、宮谷警務部長出迎ふ、大甲分室に入り日下知事の挨拶、小濱內務局長の震災狀況を聽取、自動車にて豐原郡役所に到り宗藤郡守より狀況を報告

負傷者を臺中醫院に收容し若いが入院料を氣にして入院をしないが四日(廿二日)より入院料免除となり大いに助かつてゐる、バラックは六百五十戶を建てる事となり工事を急いでゐる、飲料水は后里圳の水を使用してゐたが缺乏の爲め往起したので臺中市から供給を受けてゐたが二十四日から大安溪の水を取り入れる事になつた[illegible]

[illegible]に到り報告を受け[illegible]の靈前に[illegible]を述べ[illegible]

內埔庄中子淵に到り一家十六名と共に壓死せる庄長張其他の靈前を訪ひ在りし日の面影を偲び張氏其他の相の前に默禱、長男張氏其他の遺族にあつき慰問の言葉を述べたが

校に兒童投長外職員四家族二十七名の內十三名が即死、職員も亦二名負傷死した瞬間の光景、亂り網の目のやうに龜裂の入つた校舍をめぐり鐵筋コンクリート建の役場が目覺醒なる狀態には總督も痛心の面持ちであつた、轉じて內埔公學校がマッチ箱をこはしたやうになつてゐるを見て當時の强震を偲んだ、それより神岡に入り小憩、同庄の學校を眼のあたり見て丁度來合せた早坂帝大敎授一行と落ち合つた

神岡庄（臺中州豐原郡）の掘出作業進捗す

臺中醫院を見舞ふ
昨夜は臺中泊

【臺中電話】[illegible]

勇猛心を起して復興に努めたい
臺中で中川總督語る

【臺中電話】今回の地震で最も深刻な被害を蒙つた豐原郡下より東勢郡を視察した中川總督は語る

新莊に倒れた家屋を見ると被害の豫想以上に甚しかつたことを感ずる、併し重傷者が比較的少ない樣に見受けたのはせめてもの幸ひだ、州當局は勿論各郡街庄に於て手配をしてゐるので安心してゐる。この上とも注意したいのは傷病者の治療を一ヶ所に集め罹災者の收容バラックを一日も早く建てることだ、何處を見ても手が廻らぬと云ふ所はない樣だ、願はくばこの打擊に負けず一大勇猛心を起し復興に力めたい、建築に就ては今回の被害により本島人も目覺めたであらうが、我我としても今後充分考慮しなければならぬ、畏れ多くも天皇陛下には孫の外套迄を御ぼしてゐるが、御救恤に對しては被害地の復興に萬遺憾なきを期したい、今後は流行病等が出ぬ樣に各自充分注意したいものだ、最後に內地方面の非常な同情に對し厚く感謝の意を表する

總督は更に東勢郡石岡公學校に到り郡守の出迎へを受け鄭重な慰問の言葉の挨拶を受け、引續き郡守より災害狀況の報告あり、同郡落の實地を視察し臺中に向ひ百四十五名の負傷者を收容せる臺中醫院に同じく津野田院長より震災當時の治療の狀況並に其後の經過と衞生施設に付き報告助かる見込みのあるものは身體に絆創膏を印しにつけてトラックで運び込んだと當時を語り、續いで各病棟を一室一室に見舞ひ、午後四時五十分千代田旅館に入つた

御見舞電
英皇帝から
米大統領からも

【ロンドン二十二日發電通】英皇帝ジョージ五世陛下には二十二日日本天皇陛下に臺灣地方に於ける震災に對し左の如き御鄭重なる御見舞の御親電を發し深厚なる御同情の意を表示あらせられた

今回臺灣地方において地震發生し爲めに多數の人命を失ひ且多大の罹災者を出し多大の損害ありと聞き眞に痛惜に堪へず、茲に[illegible]

ルーズベルト大統領は天皇陛下に對し奉り臺灣震災に關する米國民の衷心よりの同情の意を電報を以つて表明し、又ハル國務長官からは廣田外相へ宛て同樣見舞を打電して來た旨二十二日發表された

各國大公使が深更な見舞

【東京二十四日發】臺灣大震災の報一度び傳はるや世界各國より我國に對して多大の同情が寄せられるに至り、バッソンピエール白耳義大使を初めユレネフ蘇聯邦、クライブ英國、グルー米國、アクサ暹羅、マーラー加奈陀、パブスト和蘭、オーベル諾威各國大公使並にルーマニア、瑞典、ペルー、玖馬[illegible]

憲法解釋に關する陸軍パンフレット
將校雜誌附錄として配付

【東京二十四日發】陸軍省軍事調査部調査班では美濃部博士の學說問題が起るとともに帝國憲法の解釋に關し研究中の所最近完成を見たので『大日本帝國憲法の解釋に關する見解』と題する菊版二十二頁のパンフレットに纂錄し將校團關係偕行社記事五月號の附錄として配付したる所帝國在郷軍人會本部では全體の贊意を表し特に偕行社の承諾を得約十萬部を同會各團體及び希望者に頒布することとなつた、右は本問題に對する全陸軍中央部の眞實上の代表的見解として注目されてゐる、內容の骨子は左の通りである

一、我國體の根幹たる天皇主權說を千代萬代に確認せる我が帝國憲法との本質上の差異

一、要するに帝國憲法は我國に古來傳統する所の天皇統治の大法を必要に應じて成文化したものである、この天皇統治の大法こそ即ち不文の我國憲法である、故に帝國憲法の成文條章は常にこの大法に照し國體に鑑みて解釋すべきである

二、學說と雖も國體を損ふものは放置し得ぬと考へる

三、吾人は速かに斯かる迷妄の說を一掃するのみならずその說の背後の思想是正の要を痛感す

思想問題として調査局に移す
◇…陸軍側の意向

【東京二十四日發】憲法學說問題に關し政府としては適宜の處置を講じつつ大學教授の一部者の見たものとなしてゐる政府であるが陸軍ではこの問題をもつて思想問題であるとなし[illegible]

これが實行が陸軍のみの要望で實現し得ざることは明瞭なので陸軍としてはこれを內閣調査局に移し各省一致の下に邁進せんとする意響の如くこの場合の指導原理は部項「大日本帝國憲法の解釋に關する見解」を基本とする筈である

昨日後藤內相齋藤子を訪問

【東京二十四日發】後藤內相は二十三日午後五時四谷の私邸に齋藤子を訪問、午後六時半辭去したが、內閣審議會問題其後の工作經過の詳細報告し、特に政友會關係[illegible]

各國大公使が
深更な見舞

[illegible]廣田外相へ宛て同樣見舞を打電し二十二日發表された

稅務課長會議
けふも續開

稅務課長會議は二十四日午前九時より總督府會議室に於て五州稅務課長會議を開催したが二十五日も引續き開催の筈で附議事項は改正地租並に臨時利得稅に關するものでこの會議に今回の震災による減稅及び免稅についても協議することになつた

審議會不參加を若槻男仄めかす
賴母木總務に對して

【東京二十四日發】民政黨總務賴母木桂吉氏は內閣審議會問題について二十四日午前九時若槻總裁を訪問、政府より同男に對し審議會に參加希望あつたが、若槻男は

自分は心身共に疲勞し昨秋も政界引退を勸めさせて貰ひ、其後只管靜養を續け、今後も閑地について靜養したいと思つてゐる、併し審議會は國策樹立の爲めに努力せねばならぬから與論の一致を以てやる事が出來れば結構であるが、政友會が審議會に參加せぬとて其の價値は下落するものでない、民政黨は委員を送り黨の方針を加味した國策を樹立し政府を援護すべきである、但し自分個人の事については政府から正式交涉などあつては困るから、そのやうな交涉のないやう取計はれたい

とて審議會參加の意思なき事を明かにし、賴母木總務は十時過ぎ辭去した

各國大公使は何れも二十二日より二十三日にかけ外務省を訪問、廣田外相に面會又は書翰を以て夫々本國政府を代表し深厚なる見舞ひの意を表示した

河原田氏より見舞電　元總務長官河原田稼吉氏より中安長官宛左の如き見舞電報があつた　大震の報を聞き心痛に堪へず、當局官の御心勞を考察し復舊に萬全を期せられたし

臺大教授新任

【東京二十四日發】二十四日左の如く發令された

大阪高等學校敎授　岡野留次郎

任臺北帝大敎授（二等）

岡野敎授は先般東京文理科大學敎授に轉出した務臺理作氏の後任で臺大文政學部で哲學を擔當する、因みに同氏は大阪高等學校敎授の傍神戸商業大學講師を兼ねて居た

人事

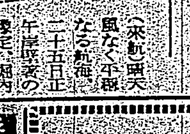
▲長島代議士　二十四日の吉野丸にて歸京

▲田中勘次氏　上海赴任のため二十四日臺北發にて一先づ內地へ

▲鈴木茂德氏（總督府嘱託）二十二日出北（明治製糖專務）二十九日上京

▲古山省司郎氏（臺北地方法院檢察官長）二十四日の吉野丸で內地へ

▲篠田省吾氏（日本石油取締役）二十二日出帆中より入北（鐵道ホテル）



大和丸より

（來電）順天風なく平穩なる航海、二十五日正午岸壁の着を豫定、堀內國學校長、茂木同校教授、濱岡臺大教授、橫田臺灣重役、持田臺灣製糖重役、加賀山臺北州商業本部長、水越幸一、西村新竹州內務部長、中央氣象臺本多技師、竹花技手、西田大香の諸氏その他多數臺北小公學校生徒諸元氣（二十四日着無電）

シナチク

◇臺灣の地震は、內地へは殘分大きく報道されてゐる模樣で、臺北等も被害あつたかの樣に考へられ臺北在住者などへも頻々見舞電報等が飛び込んでゐる、恐らく內地や外地或は外國等では臺灣全部が激震で被害したくらゐに考へてゐるらしい▲今度の地震は、新竹と臺中州とに限られ其の死傷者も總務局の發表によると死者三千二百、負傷者重輕1萬で一萬、倒壞家屋全壞が一萬五千戶、其損害額約二千三千萬圓見當といふところである▲鐵道や交通の不便な關係もあり今次の震災が非常に大きなものと考へられたがる風のあるは已むを得ぬが、更に角事實は何處までも事實であるのだから之を曲げる事は出來ない、二十五日夕刻には帝大長官も全國中繼で臺灣地震につき放送するさうだから今後は此點も全日本に明瞭に知れ渡る事だらう▲但し震災が甚大に近い爲か震災に對する義捐金や同情は多々益々辨からんことを望むは勿論のことである。

四月二十四日臺灣日日新報第二面震災義捐金特約店名ノ內臺灣材木店寄贈誤レニ付訂正ス
臺灣材友會

謝震災御見舞
昭和十年四月二十二日
株式會社彰化銀行
臺中支店　彰化支店　南投支店　豐原支店　鹿港支店　員林支店　埔里支店　東勢支店　清水支店

訂正　昨日掲載千代田生命保險會社震災御見舞廣告中契約者にてとあるは契約者にての誤植

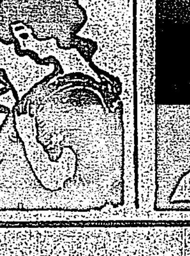
特約代理店募集廣告
各市郡各一ケ所
今回東京宮良商會株式會社にて化學工業界の權威者指導監督の下に多年研究され國家的一大發明品として出現致しました扇印バンク防止劑は遂に完成され國家各位の期待につきまし大發明品でありますので來たる有形無形の損害と不便と苦痛はこれで解消されかなる山間僻地でも安心して御乘りかれますことは確實であります、一大發明品の特色として內地各府縣に於ても既に出品されて居ります、就ては有志の方には五月十五日迄に御申込下さい、有利なる有望の方は代理店として其の地方に販賣一手に取扱ふことと成りまして規定書並値段表及說明書等御申込次第御送付致します
扇印バンク防止劑
製造元　東京市京橋區銀座西六丁目五番地　宮良商事株式會社
臺灣總發賣元　東京宮良商會臺北支店
營業所　臺北市大和町二丁目一番地
本店　東京市京橋區木挽町一ノ七

流行の拵
梅花ゆかた
長谷川商店

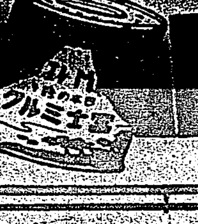
感傷の春逝き明朗の初夏訪る
昔の青葉で御座います、此の度數名の美女達と共に本日モンパリへ參りました、矢張り臺灣の感じは何とも申されません、最うすつかり其の頃の氣分になりました、是非一度御出をお待ちしてゐます……
臺北　カフェー　モンパリ
青葉改め　孔雀

化學工業の一大福音
用途
一、活性炭に依る溶劑回收裝置
◉天然發生瓦斯の精製並回收
◉溫暖なる地方の石油より發生する揮發瓦斯の回收
◉瓦斯工業に於ける發生ベンゾール其他の回收
◉護謨工業に於ける發散溶劑の回收
◉人造皮革工業のアルコール、アセトンエーテルの回收
◉火藥工業に於けるエーテル、アルコールの回收
◉人絹工場のアセトンの回收
◉錯酸纖維素人絹工場のアセトンの回收
◉セルロイド及同種工業に於けるアルコールの回收
◉油及香料の抽出等
一、蒸餾精製裝置
◉酒精回收並製造裝置
◉アルコール蒸餾裝置
一、活性炭素
◉破碎炭
◉造粒炭各種

PATENT SOLVENT RECOVERY PLANT AND DISTILLATING APPARATUS FOR GASES AND VAPARS
特許　溶劑回收裝置
—裝置精製餾蒸並—
株式會社島津製作所機械部
本店　京都市中京區河原町二條南
支店・出張所　東京・大阪・名古屋・福岡・京城・大連・奉天・新京
臺北出張所　臺北市本町三丁目五　電話四〇四〇番



ダンダンは風の妙藥
發賣元　臺北　信生堂藥房
代理店　東京小石川區音羽町大通　大木合名會社
大阪東區淡路町二丁目　同支店
各藥店に販賣す



富士ミルク
日本の誇り　最高優秀品

媽祖さまの御蔭で 三千餘人が命拾ひ
參拜に行て震災を免る

【新竹電話】慘状を極めた中部地方震災の二十一日は北港媽祖大祭の中日に當つたので災害地の新竹・臺中兩州からの參拜者だけで三千餘人の參拜者が北港で難を免れた、命拾ひしたこれ等の善男善女は家族の安否を氣遣ひながらも媽祖さんの御蔭と感謝し郷里に飛び歸つた

各團體を總動員して募集

【高雄電話】その甚大な震災の害に鑑みてゐるだけに臺南市に於ける中部震災への同情は忽ち動き臺南市役所に中部地方震災義捐金取扱ひの看板を上り市役所に本部を置きこれ等の事務を執り町委員、方面委員、官衙、學校、團體等を總動員して募集に著手する事とし二十三日午後四時過ぎ打合せたがその日の中に七百九十五圓と云ふ數字を示した、二十四日は朝來百圓五十圓と云ふ大口の申込が續々あり役員は勇躍して募金に奔走してゐる

本島人率先して義捐

【花蓮港電話】過般の新竹、臺中兩州下に於ける大震災に對し花蓮港在住の本島人は率先して罹災者のため義捐金募集に著手、臺中州竹、臺中州下出身者は何れも各區長を通して義捐金募集に著手したることとなつた、尚市内在住の新

町委員を召集

【屏東電話】屏東市では二十四日午後一時より屏東會館に町委員を召集して罹災義捐金募集に關する打合せを爲し直ちに實行に著手することとなつた、同郷會花蓮港本部が三百圓林玉鑾許聯敏氏外三氏が各々百圓其の他の有力者が醵金し二十四日迄に一千百二十五圓を纏めたので總督府に發金其の配付方を一任することになつた

防組では二十三、四の兩夜臨時に於て演藝大會の義捐興行をなし收入全部を罹災民の見舞金として急送すると

臺東廳下から 二千圓を醵出
震災地義捐金

【臺東二十四日發電】臺東廳では今回の新竹、臺中兩州下の大震災義捐金募集に付て二十三日同廳會議室に廳員郡務課長以下各係長參集協議の結果赤城廳長出席して臨時を開き廳下より二千圓を

災害の狀況
二十四日午後二時 總督府警務局發表

二十四日午後二時總督府警務局發表の新竹臺中兩州下の災害狀況は左の通りである

	新竹州	臺中州	合計
死亡	二、三五三	八六四	三、二一七
重傷	一、三五四	七、四六八	八、八二二
輕傷	二、〇三五	—	二、〇三五
全壞	九、八〇四	八、〇三七	一七、八四一
半壞	八、二三七	七、六二五	一五、八六二
大破	二、九〇〇	一、五六二	四、四六二
小破	三五、五六六	—	三五、五六六

二十三日午後八時發表に比し死傷者三百四十五名、家屋損傷に於て千百八十九戸の増加である

十四の公學校は 震災で授業休止
全壞大破等のために

【新竹電話】今回の震災により小公學校中全壞又は大破等により直ちに授業を開始するを得るか否かにつき新竹州で取調べた所によれば二十三日までに判明したものの中同州下で當分授業を休止するの止むなきもの十四校の多數に及ぶと

震災展を開催
臺南消防組

【臺南電話】臺南消防組では二十四日の消防日午前六時モータ、サイレンを鳴らし村上組長始め組員總出動消防官吏も參加し火の用心その他の防火宣傳ビラを市内に撒布したが當日は午前九時から公會堂に大震災展覽會を開催し一般の觀覽に供した

蚊帳一千帳
愛婦から配給

【臺中電話】愛國婦人會臺中支部第一回慰問として蚊帳二千帳、洗面器二千個を各郡の被害率に應じそれぞれ配給した

嘉義署の防火宣傳

【嘉義電話】嘉義署では二十四日防火日に當り午前六時消防組及び市内壯丁團を招集し消火器具の點檢を行ひ中央噴水に放水演習を行ひ終了後伊東署長の講評及び訓示あり引續いて自動車九臺に分乘して市内を練宣傳ビラを撒布し防火宣傳をなした、一方消防手及び各壯丁團は手分して各戸を訪問し炊事場の點檢を行つた

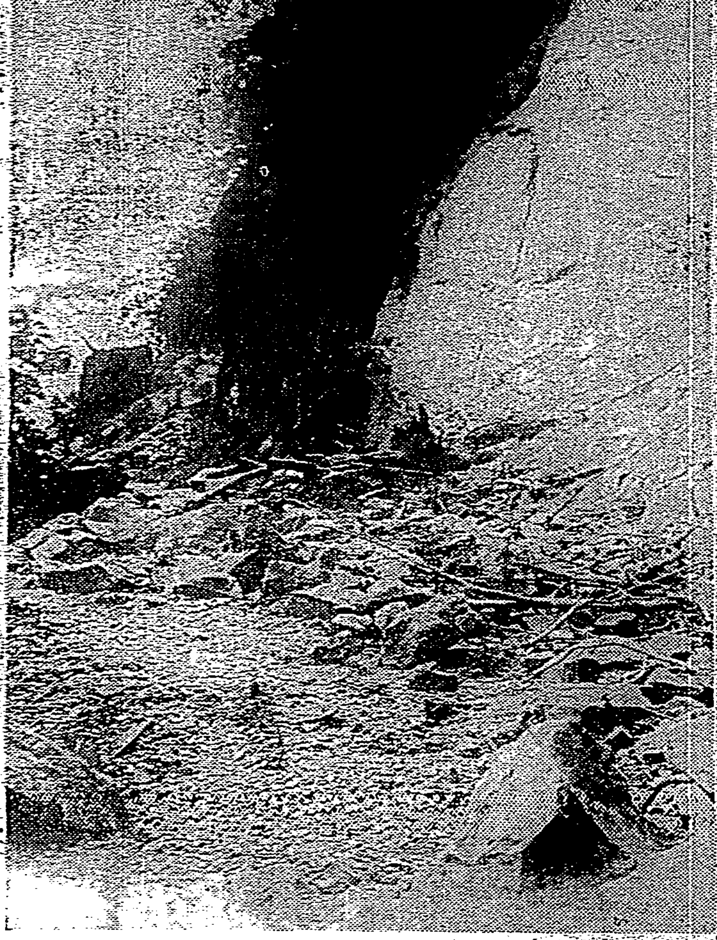
青年團員を派遣

【臺中電話】臺中州南投郡草屯庄青年團十名は二十四日朝州警務部を訪問、私共は糧食四日分携帶して被害地に派遣し救護に從事したいと申出たので直ちに豐原郡下の救護隊に派遣し救護させ

區委員會
【淡水電話】淡水街役場では二十五日午前九時より街協議會並に區委員會を開催
一、中部地方震災義捐金募集の件
一、腦炎流行に付き豫防方法並にポスター配布の件
一、天長節祝賀會に關する件
に付き打合せを行ふ筈

無名氏の義捐
【新竹電話】今回の震災義捐金として無名士より金二百圓の寄附があつた

商工專修の入學者
【高雄電話】新設高雄商工專修學校では二十五日より開始すべき夜間部生徒入學試驗を二十一日實施し銓衡の結果應募者國語科八十六名、商業科八十二名、簿記科九十



道路の崩潰
新竹州大湖と苗栗間の道路崩潰の慘狀

海産物を 沙鹿へ急送
華僑も義捐

【臺南電話】臺中州下の震災地沙鹿の田村庄長より二十二日夜十時臺南市役所に對して食糧品缺乏を訴へ海産物の救恤方を依賴して來たので市當局では直ちに鹽乾魚類九百尾を取纏め二十四日午前六時八分發臺南驛發一番列車に積込み現地に向け發送した

【嘉義電話】嘉義中華會館では中部大震災に同情し二十三日午後七時から同會館に緊急總會を開き義捐金募集に付き協議の結果寄附を募り組織して市内在住華僑一般から義捐金を募集する事に決定した

二名、採用科九十六名、合計三百五十七名の中より各科共四十名つつ入學許可することとなり二十四日發表した

澤庵を寄贈

【高雄電話】高雄青果同業組合では新竹、臺中兩州下震災地の救護用物資として臺中州に對し澤庵漬四十樽新竹州に對し同じく二十五樽を寄附することとなり、二十四日發送した

馬公に針路を 變更したは不當
怪船長きのふの公判

軍港を侵した者は 嚴罰に處す可である
次回公判は二十六日

【高雄電話】怪船ジユノウ號船長の第三回公判は高雄港のパイラー川井彦三郎氏の鑑定の結果如何と全島民注視の下に二十四日午前十時二十分高雄法院支部刑事第一法廷にて上田裁判長、[illegible]松岡檢察官臨席、長尾辯護士立會、傍聽席は馬公要港部先任參謀中富中佐、鈴木副官、[illegible]所長、オランダ代理領事ツメリー氏、松村高等課長、杉田警務局[illegible]等の顔も見え緊張裡に開廷された、先づ上田裁判長は川井鑑定人に對し同氏提出の鑑定書の内容につき多様專門的説明を求めた後船舶の性能、船長及び乘組員の素質、當時の氣象より觀て鑑定した結果等を問ひ川井氏より

一、馬公に向け針路を變更したことは不當である
一、被告の採るべき道は外にあつたと考へる、經驗ある船長ならば斯る馬鹿氣た處置を採らない
即ち當時の氣象及び四圍の情況は決して切迫して居らない
一、颱風解消の通報に接したならば直に針路を他に轉ずべきである、上田裁判長より斯る重大事件を惹起した失當行爲であつたなら被告の目的は果して奈邊にあつたか鑑定の結論を述べよ

これに對し川井氏は

私には分らない、經驗は鑑定の範疇ではない、他に目的があつたかは判らない、船長の處置は經驗淺き爲め徒らに氣象を盲信し國際公法を無視したものと認めるだけである

午後一時四十分再開、被告が長尾辯護人補佐の下に鑑定人との間に要點を確認した後ら上田裁判長、若し川井鑑定人の鑑定を不滿に思ふならば更に鑑定人を再申請することが出來る

被告　私は日本人でなく日本人に對して當時の馬公に入港しなければならなかつた氣持をはつきり併べることが出來ない、再鑑定を申請する必要はないと思ふが辯護人に御尋ね下さい

長尾辯護人　再鑑定を願ひたいが船長に任せる

では定められないからこの點は經營關係にて一日も早く斷罪して貰ひたい事情があるから獨斷を問ひ

その間長尾辯護人は裁判長の許可を得てオランダ領事ツメリー氏と別室にて打合せた結果再鑑定を申請しないことに取決めたと申述べたので裁判長は職權を以て特別傍聽席にある馬公要港部先任參謀中富中佐を參考人として訊問し馬公港の軍事上の地位と重要性及びジノウ號が投錨した地點の重要性に就て問ひ

中富參謀　馬公は帝國海軍の要港にして周知の如く要港は五ケ所あるが就中馬公は外國の領土に接近し最も重要性を持つもので基隆、高雄の兩港に碇泊するには基隆、高雄の兩港に碇泊する事が出來るが狹くて大部隊を收容することは出來ない、その點より見ても澎湖を守る上から馬公は重要性がある、ジユノウ號の入港した地點は海面のみならず陸上からしても軍事上よりこれを觀れば重視さるる所である

上田裁判長　船長の經歷より觀て次に長尾辯護人より鑑定人に對し馬公の澎湖島附近に於ける船長の採つた行爲及びその位置並に軍事的立場を抜きにして馬公に入港した行爲は經濟的にこれを見れば對岸の厦門又は安平、高雄等に寄港した方がより經濟的價値ありやとの質問あり、鑑定人は一々詳細に説明した後軍事的立場を抜きにすれば馬公に入港することが一番經濟的であると答へ斯くして裁判長は被告に對し鑑定の結果を傳へ馬公入港三時間前の七日午後二時半に颱風解消との通報を接受すればコースを變更すべきであつたと前回の公判にて被告が申述べたが若し解消通報を受けたものなれば馬公に入港した目的が他にあると見られてもよいかと鋭鋒の問ひ詰め被告は大いに狼狽して初めて颱風に遭つたこととて支那海に關する知識なきため狼狽した問題で決して不當ではないと前回公判と同様否々を連發し長尾辯護人より鑑定人は更に鑑定人との間に颱風の進行方向その他部門的議論を闘はしたが正午一先づ閉廷休憩した

再公の軍事上の機密を窺ふことが出來るか、又その實害及び馬公の機密を守るに他の方法はなきや

中富參謀　軍事上の機密を窺ふことが出來ると思ふ、實害としては濁口の地形を良く見たと考へられ、或は内部迄見透したかもしれない、船名旗を掲げて堂々と乘込むものに限つて心を許すことが出來ない、從來度々同種事件が發生した、機密を守るには他の方法もあるがジユノウ號が早く投錨した爲め實行することが出來なかつた

長尾辯護人　證言者が發見した當時の狀況及び馬公に於る取調べに付て質問したい

中富參謀　我々は理由の如何んを問はず大事な帝國の要港に這入つて一寸の實害に對し細いことを詮議するかどうかは眼中におかない、唯これを罰すべき信念を持つてゐるだけである

長尾辯護人　素人の眼で機密がわかるか否か、その實害を問ひたい

中富參謀　裁判長！そんなことに答弁する必要があるか

と稍氣色ばむ、それより證據調べに入り同三時四十五分閉廷、次回公判は二十六日午前九時より開廷のこととなつた

庄長宅の崩潰
苗栗郡三叉庄[illegible]庄長宅[illegible]した家屋の下敷となり二十一日午前[illegible]

臺南の安平港 近く工事に著手
三ケ年繼續事業で

【臺南電話】安平港の修築工事は愈々本年度から三ケ年繼續事業として起工することとなつたが總督府の補助金六十二萬四千圓の外州市負擔金十五萬六千圓を合せて七十八萬圓の工費を以て來る十一月早々から起工する事となつたが同工事は高雄築港事務所に於て直接に指揮監督する筈で初年度十九萬五千圓二年度三十九萬圓三年度十九萬五千圓の豫算を提出工事を進めることとなつた

祖先傳來の 粟祭を廢止に決定
高山蕃のブヌン族

【花蓮港電話】玉里支廳下の高山蕃ブヌン族には古來マナクタイガ祭と云ふ祭典がありこれは粟の收穫後全蕃社を擧げて數ケ月間に亙つて飲酒歌舞に耽る習慣で其の結果良風美俗を害するので警察當局では豫て其の弊害を一掃すべく蕃事の改善を圖つて來たがこの程同支廳下の山間地帶に移住した蕃社に於て祭典執行の際、純日本式な天照大神を祭神とする祭りを實施させ清水駐在所に於ていと莊嚴に式を行つたが蕃人達は始めて日本の神様の有難き尊さを認識し以後は從つて多年行つて來たマナクタイガ祭を廢止することを申合せた

蕃産品の 陳列所竣功

【屏東電話】屏東市の蕃産品[illegible]陳列所はこの程竣功し近々二十二日[illegible]することとなつた[illegible]が下山して蕃人の民俗其の他の製作に當つてゐる、陳列品は當局と協力して約一千點を蒐集してゐる

濁口溪上流の 自然の浴槽
湧出量一時間に 十八石餘

【屏東電話】高雄州旗山郡蕃地十八附近の濁口溪上流發附に湧出する溫泉は數年前發見され湧出量並に水質その他から見て相當の施設をなし一般に紹介するに足るものと云はれてゐたが何分同地は人跡未踏の蕃山の蕃地である爲め現在迄その儘放置されてゐた所、最近伊藤屏東市尹始め屏東商工會有志は大津驛附近の屏東郡下蕃界に通ずる水路を設けてこれを導き同所に相當の設備をなし廣く紹介しては如何んとの意見が起り十八日伊藤市尹始め商工會有志が實地踏査を試みて詳細なる調査をとげ歸屏した同溫泉は一時間の湧出量は約十八石、溫度は攝氏百二十五度で四果後の硫黄分と酸同質のものと思はれ幾分の硫黄分とカルシウムを含有してゐる模様である

前年よりも 五萬圓の増加

【花蓮港電話】花蓮港街の昭和十年度豫算案は去る二月の通常協議會に附議、その承認を得て總督府に對し認可申請中であつたがこの程認可を得て確定を見た、歲入計常部一〇〇、二八六圓、同臨時部五二、九八四圓、合計一五四、二七〇圓、歲出計常部八八、二二四圓、同臨時部六六、一四六圓、合計一五四、二七〇圓で前年度に比し約五萬圓の増加である、新規事業としては花蓮港小學校校舍増築費四千六百圓、午報機改築費四百圓、衛生殺菌池新設費一萬一千圓等が主なるものであるが本年度に於て實施せらるべき街營住宅新築費九萬圓は目下散地問題が街當局と法院當局とが折衝中なので其の決定を見た上追加豫算として計上することになつてゐる

國講所再開

【臺南州東石郡】布袋庄業部區第二回の國語講習及夜學會は頗る好成績で殊に婆れて社會教化を叫ぶ部講師の大婦が自宅を提供し且つ自ら教鞭を取つて熱心に講習しつつあるので地方民から賞讃されてゐる

臺南市內を視察

【臺南電話】大分新聞社主催大分縣視察團一行二十五名は二十三日夕刻北部より來南驛前東旅館に一泊二十四日午前八時自動車に分乘し臺南市內各所を視察の後午後二時三十七分發列車で高雄に向つて出發した

結核豫防を庄民 に徹底

【臺北州基隆郡金山庄にては結核豫防に關する觀念を徹底させる爲め來る二十七日の結核豫防デーには金山青年團樂隊を先頭にして金山庄一圓を練り大いに結核豫防の宣傳に努める由、なほ小林公醫は當日特に健康相談所を開設し健康診斷並に本病豫防の相談に應ずると、尚庄當局は一般に結核豫防の小册子宣傳ビラを配付し結核豫防に對し最善を盡しつつある

四十五錢を返せ と喧嘩

【嘉義電話】嘉義市北門町五の二七竹商黃發派(二四)は二十二日午後九時頃市內西市場前街路で市內玉川町二八謝本福松と八年振りで出逢つたと昔の竹の掛買代金四十五錢を要求した所今金を持たぬから他日返すとの返事にむつとして手拳を持つて謝本を毆打顏部を折り治療四十日間の重傷を負せた爲嘉義署で取調べ中

寄生蟲を驅除

【臺南州東石郡下】一般は寄生蟲驅除の爲め四月二十六日より服藥を實行し五月上旬迄にて完了する豫定である

牛畜羅市

【花蓮港電話】[illegible]廳下南[illegible]の牛畜羅市には二十五日タラウンで行はれるが設出しは午前九時である

遺族のために慰 安會

【花蓮港電話】來る二十日花蓮港街役場主催で日露戰役從軍人及び戰歿者遺族慰安を行ふが廳下に於て出征軍人從軍者は左記四名である

壽區豐田村八一倉田宇八、豐田村大平六七佐藤喜平、林田村南岡一五〇丹本金次郎、壽區壽村一〇二尾崎宗四郎

戰歿者遺族は廳下で五家族である

遙拜式

【臺南電話】臺南市では來る四月二十日の建功神社例祭に當り當日午前八時公會堂を式場に當官民多數參列の下に遙拜式を行ふこととなつた

父兄に惜まる

臺南州布袋公學校長[illegible]氏は今般他に轉任したが氏は德望家で其の轉任につきては兒童の父兄は固より一般が之を惜んでゐる

眞夏の屏東
海水浴季節に入る

【屏東電話】南部地方は昨今盛夏を思はせる暑さが續き、愈々海のシーズンに入つたので東港海水浴場は四月二十五日から開場する事となつた、同東港街では本年度約八千圓の經費を以て海水浴場を別に新設することになつてゐる

高橋大佐の講演

【臺南電話】臺南州共榮會主催にて二十六日午後七時半から公會堂に陸軍大佐高橋勝馬氏の空の問題航空の實際と題する講演會を開催一般の聽衆に公開することとなつた

不測の御災害謹みて取敢ず御見舞申上候

第一生命保險相互會社

東京京橋第一相互館

天使 (55)

横光利一 作　宮田重雄 畫

六の一

明石は、幹雄とコツで落ち逢ふ約束をしたその時、京子に出す手紙を書いてゐたのであつた。彼は京子に、幹雄から扱つた雄雄の依頼に従へて、自分の意見と、幹雄の傳言を書いたのだが、それをポストへ入れてコツへ行つたときには、もう幹雄が京子をつれて、歸つてしまつた後だつた。明石は、そのときから、暫らく幹雄と逢はなかつた。そのうちにある日、京子が突然、明石を會社へ訪ねて來た。地下室のグリルで、明石は京子と逢つた。

「いや、それも、議論を二人でしたんですよ。あなたと佐山の事を、もう幹雄は知つてますからね。」

「まア、いやだ。あたしと佐山さんと、どうだと仰言るの？」

京子は、眉を上げて、笑ひ出したいやうな口もとを、やうやく抑へて、明石を見詰めた。明石は、ぽつと顔を赧らめた。

「僕は、佐山の事については、あまり云ふ權利はないんですが、あなたと佐山との親密なことは、綜合だと思つただけなんです。」

「それだけなの？」

と京子は、髪を波打たせて訊ねた。

「それだけです。」

「ぢや、あなたとあたしとは、どうなんですの？」

「そんな事は、京子さん、よく御存知でせう。」

「あたし、どんな事を知つてるんでせう。あたしは、ただあなたの不誠意を、聞いただけだわ。」

「僕は、あなたの誠意を疑へない方か、昔からまじだつたんです。僕はあなたに、誠意なんか、持ちすぎて、失敗したんですからね。それに、まご誠意なんか、持つと云ふたつて、あなたの方が無理ですよ。」

「あたし、今、議會の別邸にゐるの。誰にも默つてゐてちやうだい。」

と京子は云つた。

「ぢや、僕の手紙は着かなかつたんですか。」

「ああ、有り難う。廻つて來たの。でも、あの手紙、何んだか、僕ったいわ。幹雄の方よ。」

「僕は中の内容は知らないんですが、あなたが氣に入らなければ、返してくれと云つてましたよ。吾なし内容なんでせう。」

「吾なしすぎて、涙がこぼれちやつたわ。幹雄でも、あんな心があつたのかしらと、思つたほどよ。でもね、あたし、幹雄のために、あの手紙は貰つとかうと思ふの。あの人、自由になるんですもの。もう少し、幹雄を助けてやりたいのよ。あたしと一緒にゐちや、きつと幹雄だつて困ると思ふわ。」

明石は默つてゐた。

「あたし、それで、今日お訪ねしたのは、幹雄のことでちや、ないんですのよ。幹雄の方は、あれはあれで、このままにしといて、あなたから、さう云つといていただくわ。ね、いいでせう。」

「承知しました。」

と明石は云つたが、また何か、説明し難いものが、後に殘つた。

「あたし、幹雄が、あの手紙をあなたにお頼みしたのは、どうかと思ふの。それや、あたしとあなたとの事を、圓滿にしたいと思つてやつたことだとは、思へないんですのよ。あなたは、どうお思ひになつて？」

千里不毛の曠野を 一路滿洲里に向ふ

壯烈な荒木大尉を偲びつつ

興安嶺にて　小濱特派員

ボクラを出た私は、二晝夜と半日を費して一望千里荒漠たる蒙古の曠野を眺めつつ一路滿洲國の國際列車によつて滿洲里に向つてゐる。

昔から此の西部線は、國際列車と銘打たれただけに、南部線よりは乘客のタネがすつかり變つて二等以上のお客は目色毛色の變つた外人で滿員だ。

私と同車したドイツ人の若い獵……ケールが大きい。やはり國際列車らしい。

× ×

列車が段々深に着く。第〇〇國の將校が這入つて來た。「どうも此列車は日本人が居ないので、何んとなく寂しいですね」將校殿も私達も同じ氣持らしい。ドイツ人、二人で空いた部屋へ引取つてから、しきり二人で色々話し合つた。此將校殿が教へて呉れたのだが、ハイラルは迚も面白い處で狩猟が出來るとのことだ。彼氏の話によると怪獸でも狼が多いので狩猟家によく狼狩をやるさうだ。今年の二月の如きは、夜自動車で森林地帶へ乘りつけたところ、二匹の狼に鋭い牙を露いてヘッドライトに二匹も飛びついて來たので、パン／＼と射止めたさうだが、こんな事は決して珍らしい話ではないさうだ。

無論私達も、よくハイラルの話の狩猟談は聞いてゐることなので、是非やつて見たいと思つた。それ程に此邊の狩は壯觀なさうだ。

夕餐になつて、食堂に行くと、圖らずも滿洲里の田中領事と會つた。今度蘇聯領事に昇進してロシヤ通（ロシヤで行かない所はないと云ふ）後藤副領事に昇つた。氏は今日赴任するのだと云ふ「まあ國境へ行つてロシヤと外交……でも眺めて居れといふことですから安臓番に行きますよ」と笑極君ん氣だ。

× ×

夜となると北滿名物の野火が、曠野の各所に紅い焔を上げて誠に美しい枯草を燒いて行く。紅い焔は物凄い勢で枯野原を這つて行く壯觀を呈してゐる。列車は興安嶺の入口である博克圖に着いた。

此處は北鐵接收の朝野員一同を集めて訓示中、突如卒倒して遂に鐵路局最初の殉職者となつた吉留井事務長の英靈の永遠に眠る悲しい土地なのだ。生前君を知る私は君の面影を思ひ浮かべて英靈の冥福を祈つた。

× ×

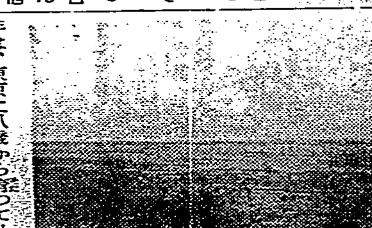
その中に列車は靜かな音を立てて興安嶺にさしかかつた。夏から秋にかけては全山葉と花で埋る詩的な驛ではあるが、今は唯枯れ木と寒い草が殘りの寒風に動いてゐるだけで、一向興味も湧かない驛しさだ。

私は列車がトンネルに這入つたので意外より勇壯な荒木大尉の殉死を追憶して再び冥福を祈つた。

荒木大尉の殉職に就ては私は忘れられない記憶があるのだ。同大尉の壯烈な殉職の模樣が打電されて來たのが細々と嘆いたのだ。今その音を偲んで感慨深い追憶に沈つてゐる。列車は興安嶺も過ぎたハイラルも眞夜中の中に過ぎた。思へば、北滿鐵路の終點である新京を出て茂日、二十七日餘り口を完全に遊牧せんとしてゐる。

× ×

夜が明ければ滿洲國境端の西部國境である滿洲里に着くのだ。私の乘つた此列車のつひ前に大家族の事一同引揚げとして、北鐵從業員の家族連れ二百餘名が、三十年の思ひ出の地をおさらばするのだ。朝には其の人達とも會へるであらう。



見渡す限り茫漠たる原野。夜になると紅い焔が枯草を燒いてゆく。

三十年の思ひ出の地をおさらばする人々

ラヂオ

午前の部

【八・〇〇】衛生メモ（東京）
【九・三〇】家庭百科問答（臺北）△紹介の心得その他についてお尋ねの方へ△本年二月生れの男兒の服裝に就いて△紙に書いたクレヨンを取り去るには
【一〇・一〇】家庭料理獻立（臺北）第三高女田中静登美 △のつぺい汁△花キャベツの衣揚げ△胡瓜と鮭の混ぜ合せ
【一一・〇〇】日用品小賣値段（臺北市公設西門市場發表、臺北市）

午後の部

【一一・五九】正午の時報、氣象通報（臺北のみ）臺北證券所發表
【〇・〇〇】放送局編輯ニュース
【〇・一〇】晝間娛樂時間（レコード演奏（臺北）うた澤「一、花の雪」二、鯉の瀧」歌澤寅右衛門その他
【〇・五〇】經濟ニュース（一、引繼き内臺定期航路船入港時刻及接續列車時刻のお知らせ、鐵道部運輸課發表）
【一・〇〇】氣象通報（臺南のみ）臺南測候所發表
【一・四〇】全國氣象通報（東京）
【四・〇〇】講演（東京）丸の内東京銀行集會所内東京手形交換所より中繼「財政經濟に就て」高橋是清
【五・〇〇】子供の時間（熊本）お話 加藤清正の武勇 角田政治
【五・二〇】子供の新聞（東京）關屋五十二
【五・二五】英語講座（臺北）中等

夜間の部

【五・五五】カレント・トピックス（東京）科學八講：片岡治一
【六・〇〇】子供の時間（臺北）童話 少年正宗 牧野幸雄
【六・二〇】特別講演（全國中繼）臺灣大震災に就て 總務長官 平塚廣義
【七・〇〇】寄席中繼（東京）一、講談 二、落語 三、聲色・音曲 四、大の眼 他
【八・〇〇】浪花節（東京）大石の生立
【八・二〇】時報（東京）
【八・二一】管絃樂（臺北）JFAK管絃樂團、指揮 侯眞三郎「一、歌劇『バグダッドの太守』序曲（ボアルデュウ作曲）二、日本の夜（フラハム作曲）三、國舞曲愛の歌（チブル作曲）四、行進曲カディックス（ヴァルベルディ作曲）」
【九・〇〇】長唄（レコード演奏）（臺北）臺北四季（醉鄕散人作詞、松永和十郎作曲）唄 松永和十郎、三味線 杵屋巳六、杵屋巳次郎、笛 望月長七郎、小鼓 梅屋勘兵衛、大鼓 梅屋勝六郎、太鼓 梅屋勝藏
【九・二〇】氣象通報（臺北測候所發表）番組ニュース（臺北のみ）放送局編輯ニュース（臺北のみ）臺南新報ニュース（臺南のみ）公示事告知事項、明日のプログラム發表

長唄 臺北四季

（醉鄕散人作詞、松永和十郎作曲）

唄……松永和十郎
三味線 杵屋巳治 杵屋巳次郎
笛 望月長七郎
小鼓 梅屋勘兵衛
大鼓 梅屋勝六郎
太鼓 梅屋勝藏

（一）本調子（前弾）「朝霞大屯山にたなびきて昨日にかはる春なれや（合）こがきの外にこくうすく猩々木の色つきて年賀く人も（合）千暦定行きかふ街の賑はしさ

（二）（合）「椰子の茂れる南の國は照る暑さに夏衣（合）たちて涼しき新店淡水の流れを下る涼み舟（合）

（三）二上り「紗帽山のさかき葉に露散輝く秋の夜は（合）老もわかきも打つれて（合）其心こむる神まうで

（四）三下り「時雨降る冬はことさら草山のいでゆに遊ぶ浮かれ客（合）すすきが原に木枯の（合）寒さを凌ぐ無理な酒心を空に年のくれ「島の都はうつり行く四季の眺に色そへて物いふ花も咲みだれ訪ひ來る人を待つばかり（合）訪ひ來る人をまつばかり

五月洋盤新譜

ビクターもの

ビクター今月の洋樂はヴァアグナー特輯である。ショパン特輯の後を受けて、再びロマン主義の巨匠を持つて來たのは遅い五月がヴァアグナーの誕生した月であると云ふ様な偶然的理由からばかりでなく矢張り音樂に於ける一つの傾向を語るものと思はれるためであらう。大物としてはヴァアグナーの最大傑作と云はれてゐる「ニーベルンゲンの指環」の樂劇「神々の黄昏」と「ヴァルキューレ」の二つがある。何れも現存する指揮者の中で、最もヴァアグナー的存在であるストコフスキーの編曲と指揮であるから、百パーセントに莊重であり、雄大である

嘉なかだち　式服一件一回 壹圓貳拾錢　其他一回 壹圓七拾錢　匿名倍額

店員入用　内地人二十三歲迄　臺北榮町　山一物產販賣所　電九七四番

店員入用　内地人年齡十五歲迄　市内保證人を要す　大和町三ノ二

電話交換手　經驗のある者若干名募集　臺北鐵道部　鐵道ホテル

求職　……

貸家　……

賣家　……

結婚調　……

有田吉松製劑

下記專賣所にて御買取あれ

台北　本町二 有田ドラッグ　新起町 有田ドラッグ　大稻埕 有田ドラッグ
基隆義重町 有田ドラッグ
宜蘭街南門 有田ドラッグ
新竹東門市場通 有田ドラッグ
台中榮町四 有田ドラッグ
嘉義驛前 有田ドラッグ
台南錦町一 有田ドラッグ
高雄山下町 有田ドラッグ

本舗 大阪天六本町 有田ドラッグ

店頭にて藥をせにする者ギザ師にあり　本劑に有田吉松製とあるものを御買取あれ

梅毒は恐ろしい病氣 手當は一刻も早く

商會の梅毒藥は政府制定日本藥局方處方三種と東洋梅毒藥の新處方を主藥とし副作用の絶無を期した出願許可濟の公認梅毒劑にして初期のカンソ、ヨコネの治療は勿論、第二期の全身梅毒、梅毒性ロイマチス等、遺傳性梅毒、潜伏梅毒等も本劑の内服によつて直に飛躍作用を行ひ、梅毒から來る不快症状や局所並に全身症状が漸次消散して治病の目的を達し得るのである。一日も早く、商會の梅毒藥を服用されたい。

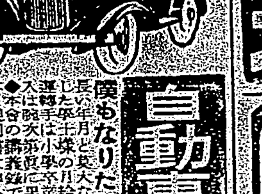
梅毒藥　別製（十七日分）八円　特製（十七日分）六円

淋病藥 選定問題

良いから効く 効くから賣れる

商會の治淋藥は、歐米は元より我が醫療界の稱用せる政府制定日本藥局方治淋劑六種を主藥とし、何等副作用なき様配劑せる出願許可濟の公認治淋劑なるを以て……

淋病藥　別製（八日分）八円　特製（八日分）四円



自動車運轉手講義

僕もなりたい運轉手

水生の健康法

誰でも獨自の秘めたる健康法を持つてゐるものです。その健康法を知ることは決して他山の石ではありません。

◇…衛生、趣味、流行の新雜誌 ホームライン四月號（四六倍四〇頁色刷表紙）には各方面の知名人の獨自の健康法が開放されてゐます。まだ御覽にならぬ方は郵券五錢封入東京日本橋區本町吉田藥局名會社へ申込下さい。

舌の荒れ、口の荒れを防いで、口臭を消し味覺を整へる

何處が悪いともなく身體の倦い春先きの惡氣を、スッキリと拂ふ

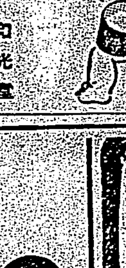
徳用包からお手持ちの容器へ小出しにして最も經濟的にお服み下さい

仁丹　仁丹　仁丹

感冒に トラフシン

田口博士創製　（二日分）二五錢　（五日分）五〇錢

全國藥店百貨店にあります



御出産の御準備に……

ハッワロール

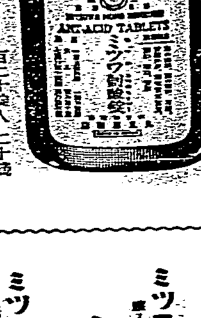
和光堂

酒

ミツワ 制酸錠

酒の過飲、酒の惡醉、及び菓子の過食等に因る胃酸過多症に效ある

適應症候　酒の宿醉。酒の過飲。病醉。菓子の過食等に因る胃酸過多症。急性胃加答兒。惡心。嘔吐。胃痛。吐瀉症等



定價 一百二十錠入 三十錢

御申込次第進呈 ミツワ家庭藥三十二方の説明小冊子

他に ミツワ健胃錠　ミツワ清腸錠　ミツワ胃腸散　ミツワ緩下錠　ミツワ腋臭藥

ミツワ石鹸本舗 東京 丸見屋商店藥品部

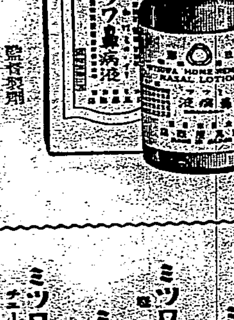
B.75

鼻

ミツワ 鼻病液

腔内の分泌腺を調節し、且つ消炎作用あるを以て、鼻病に效ある

適應症候　鼻加答兒。鼻充血。鼻出血　肥厚性鼻炎。臭鼻症。鼻茸



定價 一瓶四十錢・七十錢

他に ミツワ齒痛液　ミツワ點眼液　ミツワ養毛液　ミツワ制痒膏　ミツワ鎭痛藥　ミツワ整腸液

katei yaku

●學習に大切な 頭の藥 ノーシン●

クラブ高級化粧品

サラリ爽か クラブ淡白クリーム

お花見…散策…ハイキング ほのかに汗ばむ春のお肌も淡白クリームで美しく爽か

脂肪性の方に相應しいヴァニシング式 クラブ淡白クリーム（正價五十錢）

皮膚を滋養に若く美しくする クラブコールドクリーム（正價五十錢）

明るい桜色のお化粧を一段と鮮やかにする クラブほゝ紅（正價三十錢）

主要品目　クラブ白粉　クラブ煉白粉　クラブ水白粉　クラブ粉白粉　クラブ紙白粉　クラブ洗粉　クラブ化粧水　クラブ乳液　クラブ口紅　クラブ香油　クラブ植物ポマード　クラブ香水　クラブ石鹸

●船車二日醉に はれやかで元氣をもどす 汽車の醉●

景況の羅針
島內會社の動態(下)
新設は未だ少ないが　合併增資は著しく增

	資本	拂込
臺灣製氷(增資)	[illegible]	[illegible]
瓦斯事業	[illegible]	[illegible]
椰子製造	[illegible]	[illegible]
運輸交通業	[illegible]	[illegible]
自動車運輸	[illegible]	[illegible]
不動產賃貸	[illegible]	[illegible]
金融業	[illegible]	[illegible]
物品販賣其他	[illegible]	[illegible]
共同商事會社	[illegible]	[illegible]

(二)增資（內、內地人經營）

	增加高	拂込增加高
臺灣製糖	[illegible]	[illegible]
昭和製糖	[illegible]	[illegible]
基隆船渠	[illegible]	[illegible]
基隆輕鐵	[illegible]	[illegible]

(三)新規拂込（內、內地人經營）臺灣電力、赤司製糖、臺灣製糖、帝國製糖、臺灣紙業、其他

(四)減資　主なるものは基隆船渠の增資を削除とする減資三三〇〇〇圓とす

(五)解散（內、內地人經營）臺灣製糖(新高製糖)、塩水港製糖(昭和製糖)、新竹製糖(合併)、沙鹿製糖、臺灣運送、東洋製糖、建成商行(保全合社大阪)、其他

(六)社債發行償還　發行は帝國製糖の五百萬圓償還に對し四百五十萬圓の借換發行あるのみ、償還は臺灣電力の十一萬弗(三百三十圓)臺灣製糖の五百萬圓、鹽水港製糖の五十萬圓とす

合名會社

	社數	資本金	一社平均
(一)新設	[illegible]	[illegible]	[illegible]
內地人經營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
本島人經營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
業別			
工業(茶行、製帽業)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
農業(柑橘栽培)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鑛業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水產業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
金融業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
運輸(內五社は自動車運營)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
不動產賃貸買	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一般商業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雜業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)解散	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右と製造工業會社に解散なく多くは中小商業者とす、就中異色あるは比較的資金大なる自動車會社四社三六、八〇〇圓の解散にて局營バスの運營によるものなるべし

合名會社

	社數	資本金	一社平均
(一)新設	[illegible]	[illegible]	[illegible]
內地人經營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
本島人經營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
業別			
工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
農業	[illegible]	[illegible]	[illegible]
自動車運營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
物品販賣	[illegible]	[illegible]	[illegible]
諸貸	[illegible]	[illegible]	[illegible]
(二)解散	[illegible]	[illegible]	[illegible]

「いもち」の蔓延は
今後の天候次第
然し近年の品種は一般に耐病性
何れにしても昨年より增收か
中研植物病理科長　三宅技師談

稻熱病の爲め全島的に騒がれてゐる折柄、北した中研農部の三宅技師の談によれば一期の米作は前期に比し增收と見られる傾向である」といふのであり、何れにしても昨年より增收を見る限りに

稻熱病の ために一部では本年の一期作は各州とも一千甲乃至二千甲の作付增であり、要素の增は在來より高率であるから、下の要素が全滅したとしても全般的收穫は先づ昨年よりも增收と見られる。からいへば昨年より增收見込なきは見當であり、殊に稻は生きものであるから天候が回復すればドンドン新葉をふき出すものだ。相當被害がひどかった様に傳へられた高雄州方面は發生も早かったんだが、今では被害の後から新葉が出て素人目にはいもちの跡かたも見えない程に回復して居り、又臺南州の北部や臺中州下にしても一時は相當ひどかったが、今頃は恐らく回復に向つてゐるだらう。目下

警戒中に あるのは新竹と臺北の兩州である、併し全島的に見て無被害の水田と云ふものべてこれ保菌状態で、例へば海岸地帶の沙山、二林、龍潭、大甲、清水方面のものは健全だとのことだが、實は殆ど全部いもちに罹ってゐる。臺北だって同じことである。そこで要するに全島的にいもちが發生すると云ふことも知れぬ待機状態にあるといつてよからう。詰まり蔓延か否かはれるのは今後の天候で、五月中旬から六月にかけての氣象の配置から來る天候の變化である。北の事に關心を持つものは遠く東京一帶の氣象の配置に着目してそれより影響を受けるところの臺灣の天候について心配するのである。いふなれば品種との關係について…

同科長の談によると、近年の品種は一般に耐病性に富む品種が增えたので、十年前の被害とはそこに非常なる相違がある

蓬萊の初檢查
高雄州溪州で

本年一期蓬萊米の初檢查は二十六日高雄州溪州驛にて行はれる筈である、檢查數は百六十五袋となつてゐる、去年の初檢查も矢張り同科長談によると五月四日に行はれ、檢査數は三十二袋であつた、そこで本年の初檢查は二十日早いことになる

商工取引案内
臺北商工會扱

(買入希望)　果實(朝鮮)罐製(釜山府)、米粉(開城府)、藥原料(朝鮮)、毛皮(東京市)、仙人草及各種藥草(三川府)、葛粉原料(滿洲)、昆布類用並鉄(熊本縣)、檜瓶罐詰(名古屋市)、イヤンコーイイペー(兵庫縣)、茶(ハルシャ)

(賣込希望)　各種教育品及手工道具(久留米市)、蜜術帽本(鹿兒島市)、履物(廣島縣)、小型懷中電燈(大阪市)、各種工作機械、高級玩具、各種材料(名古屋市)、ラヂオ(岡山市)、京阪關西用品(名古屋市)、麦具、彈具及模型材料(和歌山市)、鐵工(大分縣)、各種族及會(京都市)、小間物、雜貨(名古屋市)、玩具(東京市)、植物油脂(大阪市)、生花用具(愛知縣)、各種調味(神戸市)、毛皮製品(東京市)、生花用金物(堺市)、日本香物商(久(全南)東京市)、大物店(名古屋市)、紙商(大分市)、呉服品店(新竹市)、果實問屋(新竹市)、野獸捕獲業者(東京市)、麴菌原料商(大阪市)、メリヤス雜貨店(名古屋市)、ラヂオ商組合(東京市)、山加羅紗(大阪市)、リザーラヂオ(東京市)

三菱支店長が
米商組合長就任

三菱商事株式會社臺北支店長三宅又雄氏は前任者田中勘次氏の後を承け臺灣米穀移出同業組合長就任を受諾した

災害復興に
木材需要急增せん
材友會と親木會では
此際一切値上げをしない

今回の大震災は臺中、新竹兩州下に於て被害甚大を極めたけれども、昨年來米高地方は相當惠まれ農家や地主階級に於ては早くも出來るので罹災者に對する

救助資金 の勸發や各方面の義捐金の救助と相俟つて災害復興も案外迅速に行はれるものとみられ早くも各地方に復興氣分が擡頭してゐるやうであるが、此の災害復興の爲めに必要なる建築材料は木材を始め金物、セメント煉瓦、瓦等で中にも木材はバラックを建てる爲めにも差當り必要であるのみならず今回の罹災家屋が多く土角造りや煉瓦造りの本島人家屋であり煉瓦造りと云つてもセメントを用ゐず石灰を用ゐたものとし要の方は土角造りのものなど或は道路に面する表だけを煉瓦造りしたのが多かつた爲め

全壞大破 宇損等を多くそれが爲め多くの家屋があらしめ殺つて死傷者を多く出すに至つたことが明かとなり今後災害地方に新築さるべき家屋は耐震的な家屋殊に木造建てが多くなりはせぬかとみられて居り從つて木材の需要は著しく急增する見込で早くも災害地方より臺北木材商の許へ夥しく註文が入り込みつつある

營林所材 は帆材を始め比較的上級材が多いので地方の罹災者には現在の處幾分不向きな點もあるが官廳側では此際復興材料の價格が昂騰するのを防止する意味で、營林所木材指定取引商の團體たる臺北材友會及び親木會の會員は二十二日午前中に臺北支店の材料資管理倉庫に於いて協議の上現在木材の價格を一時に多額の註文を受くるとも此の際値上りを

値上りを 防止する意味で一切値上げを發せず從前の値段で取引することに協定を爲し此旨を定商たる兩會員連名で發表することとなつた

本島人家屋には大むね其の杉丸太や杉板が多く賣れるものとみられて居り、方寄り之等用材の註文は本島人木材商の許へ殺到することとなつたが、此の時機に營林所が臨時に販賣する木材の價格の據合と臨時的な内地人木材商の註文を受くる以上、右の木材は取引申込の有無に拘はらず迅速に供給の出來る様に今後災害の需要に對し可能な限り迅速に供給されるものと期待されてゐる

神戸蓬萊市況
【神戸二十四日發本社特電】蓬萊…

種類別に見た
煙草の賣上高
朝日とレッドはぐんぐん增し
敷島と臺灣刻は減少氣味

昭和九年度煙草賣上高二千六百五十五萬二千七十四圓を種類別に見れば左の如くである(單位千圓)

	九年	八年
▲口付	六、三	六、六
朝日	[illegible]	[illegible]
敷島	[illegible]	[illegible]
カメリヤ	[illegible]	[illegible]
▲刻	[illegible]	[illegible]
▲外國品	[illegible]	[illegible]
▲紙卷	[illegible]	[illegible]
第二	[illegible]	[illegible]
レッド	[illegible]	[illegible]
七星	[illegible]	[illegible]
ヘロン	[illegible]	[illegible]
ラガサン	[illegible]	[illegible]
▲葉卷	[illegible]	[illegible]

先づ口付について見ると、朝日の二十八萬圓は九年には約二十四圓を增加して六十萬五十一萬圓となつたが之に對敷島の減少であつて

內譯…についていへば數年より七十四萬圓減少し朝日は九十と萬圓の增加となつてゐる、之は朝日の辛い味を好む結果に外ならぬ、內地刻に割り口付の割合は四百二十萬圓となつた

雨切…は時代の趨勢で前年より約百十萬圓減少して四百九十二萬圓に激減した、そのレッドジャスミンは四百十九萬圓で前年より九十六萬圓、第二ジャスミンは六十一萬圓で十二萬圓增を示した。最後に臺灣刻は年々減少の一途を辿り九年は十五萬三千圓に減少してゐる

外國品の一萬五千圓は減少に…これアッサリした內地刻の味はひを嗜好する様になつたためである。入の必要を認めない様になつた結果である

今次震災と
生保各社の支拂額
被保險者は死亡者の五%以內
約二十萬圓程度か

各生命保險會社では今回の震災地方に對し相當保險契約を持つてゐるので目下代理店外交員をして被保險者の狀況調査中であるが此際死亡者に對しては監督官廳の認可を得て保險金の速時支拂(簽察官吏の證明を要す)を爲すと共に保險料金、貸付金の利息徵收も規定の期限より一ヶ月延長の便法をとる事になる模様である、全島の生命保險契約高二億二千萬圓、一ヶ年の保險料收入約七百萬圓に上つてゐるが、今度の震災による死亡者三千數百人として此內被保險者五パーセントとみられ保險金の支拂額は先づ二十萬圓位に止まるものとみられてゐる、主なる會社の狀況は次の如くである

明治生命 昨年來中部方面に可なり進出し臺中に契約四十萬圓、沙鹿に三十六萬圓、清水街に十三萬圓外に內埔、苗栗等にも多少契約を持つてゐるが被保險者で死亡判明せるものは一萬圓、五千圓各一口、一千圓二口計一萬七千圓で今後判明するものが相當あつて

日本生命 中部には早くから相當地盤が開拓され茲一、二年來契約高も可なり增加したが他社とは自ら異りたる分野があつて當社は臺中以南殊に彰化、南投方面に契約多く災害地域の契約高は約二百萬圓で此內被保險者の死亡判明せるもの一萬二千圓　今後判明するものを加へても先づ三萬圓に止まる見込

千代田生命 同社は三四年來本島人を主たる對象として極力保險網の擴大に努力したので中部方面の契約高可なり多く臺中五百萬圓、豐原百二十六萬圓、東勢十萬圓、苗栗二十七萬六千圓に上つて居る、今のところ被保險者の死亡判明せるもの三、四人に過ぎないが一口平均千二百圓位であるから大した金額ではなく今後申出者出すると見て手廻引いて待つてゐるが同社のいふ十萬圓は何うかと思はれる

帝國生命 同社は可なり古い地盤を持つてゐるが、內地人方面には最早居店の營業少いと見て三、四年來努めて本島人方面に進出し、一時に新契約六萬圓內地人、本島人各半々の割であつたが現在では新契約も多く被保險者も本島人である、從つて今回の災害地方にも相當契約を有つてゐるが一般に死亡者も多く被害は十五萬圓乃至二十萬圓に割判明するもの四百二十圓等が同社…

第一生命 相互組織の同社は從來殆んど內地人を對象として本島人方面には進出してゐないが、內埔、苗栗方面である

三井生命 昭和二年來臺灣の方面に進出し九年在契約高六百萬圓により此內臺中新竹州下に少しく被保險者があり其の契約者の狀況も當然判明するものは一萬圓程度と見込

今回の震災 による保險支拂ひもの今のところ一口もなく五大會社中では一番影響の少い方である

記念博を機に
內臺聯合茶業大會
茶業關係者が協賛會組織
其他計畫を決議

臺灣茶業關係者は二十四日午後二時臺北茶商公會事務所樓上に集合、來る十月に開催される臺灣博覽會に對する出品その他に關し協議を遂げた

臺北茶商公會會長陳天來、岩田理事、臺灣茶共販會木理事、特產課谷村技師、宮川技手、稻田新竹州廳その他集合、次の如く可決して四時半過ぎ散會した

一、臺灣博覽會茶業協賛會を組織をして統一的に活動すること

二、出品する外茶宣傳を極力宣傳をなすこと

三、內臺聯合茶業大會を主催すること

向經費は官廳の補助を受くる外茶業者並に茶業關係團體より醵出することに決定した

上海標金は
亂高下
日本向爲替跡暴落

【上海二十四日發電通】昨日八日市況上海標金市場は…堅調で推移した結果…

米は定期小締りに始まり堅調の加勢見で大部利食に處理九十四弗…圓四十錢見當で引けた

震災と信用組合被害

頭人電の海外銀塊新高値を報じ本乾寄付七百八十九弗と暴落して始め更に八十四弗七まで瓦落したが跡金の高騰に左右されて七百九十七弗八まで買はれ結局七百九十五弗五前中百四十圓二分、買り止前頃には百三十八圓四分二厘安へとなつた

臺灣信用組合協會に這入つた情報によれば新竹、臺中兩州下震災地に於ける各組合の被害狀況は左の如くである(二十四日迄に判明の分)

新臺中州▲內埔信用組合は組合長及び監事二名即死、理事二名重傷、事務所全壞、損害五千圓▲清水信組は事務所及び農倉と其下起工中の倉庫全壞、損害一萬二千圓餘▲沙鹿信組事務所半壞、損害二千圓餘▲神岡庄信用組合事務所倒壞せる外損害六百圓位▲新竹州▲竹南郡の頭分信組事務所倒壞▲同郡中港信組倉庫半壞

興銀、鮮銀の副總裁發令さる

【東京二十四日發】興銀、鮮銀副總裁は二十四日左の如く正式發令された

株式會社日本興業銀行副總裁被仰付　寶來市松

株式會社朝鮮銀行副總裁被仰付　松原純一

三月中の外國貿易

【東京二十四日發】大藏省發表、三月中の帝國全土外國貿易額左の如し(單位千圓)

		前年同期
輸出	二二六、七〇七	一八一、六〇三
輸入	二二〇、七二〇	二三六、一四四
計	四四六、九八六	四一七、三四七
入超	三、八二三	五四、五三〇
一月以降入超累計	七三、九八〇	七一、一六二

溪湖工場終了
產糖六十萬九千擔

明治製糖溪湖工場は二十三日午前四時本期の製糖作業を終了した

壓搾原料	三三三、九〇〇、三〇〇斤
產糖	六〇九、一三三擔八〇斤
步留	一二・四八三

商況(廿四日)

蓬米現物相場
臺北米穀商同業組合調

臺中米價(二十四日)　蓬萊米一〇圓五〇錢、出米前…

臺米現物相場（臺北米穀商組合調）

一期蓬萊米	[illegible]	[illegible]
二期蓬萊米	[illegible]	[illegible]
二期在來米	[illegible]	[illegible]

高雄在庫米(二十四日)
基隆在庫米

青物魚類相場
中央市場
四月廿四日(仲値)

品名	値	品名	値
大根	[illegible]	筍	[illegible]
蕪	[illegible]	竹筍	[illegible]
人参	[illegible]	冬筍	[illegible]
牛蒡	[illegible]	萵苣	[illegible]
甘藷	[illegible]	シンギク	[illegible]
里芋	[illegible]	甘藍	[illegible]
蓮根	[illegible]	白菜	[illegible]
生姜	[illegible]	芥菜	[illegible]
玉葱	[illegible]	花椰菜	[illegible]
茄子	[illegible]	胡瓜	[illegible]
小茄子	[illegible]	冬瓜	[illegible]
蕃茄	[illegible]	南瓜	[illegible]

魚類(百斤相場)	値	魚類	値
生	[illegible]	中エビ	[illegible]
マグロ	[illegible]	小エビ	[illegible]
カジキ	[illegible]	アイ	[illegible]
サワラ	[illegible]	タイ	[illegible]
白丸	[illegible]	水イカ	[illegible]
草エビ	[illegible]	甲イカ	[illegible]
白エビ	[illegible]	中血子	[illegible]

株式

東京長期前場
東京長期後場
東京短期後場
大阪長期後場
大阪短期後場
堂島兩建控除倹合
神戸期米後場
東京期米後場
大阪期米後場
正米市況後場
臺銀建値（爲替）

肥料
神戸豆粕
大連特產前場

砂糖
大阪清算

絲況
大阪綿絲
大阪棉花
大阪人絹
横濱生絲

春に多い百日咳にチミツシン

流行期！

春です、風が吹く、埃が立つ、氣候が激變する！小兒は百日咳の危險に襲はれ勝ちで學校から街頭から病菌を背負つて來ます。熱は無くとも時間を置いて來る執拗な咳を始めたら惡化しない內に早くチミツシンを與へて下さい。

治療にも、豫防にも良效があります、初期に與ふれば頓挫せしめ、罹つてからでも經過を樂に餘病を防ぎ、治癒日數を短縮します。

香りがよくて甘いので小兒は喜んで服み、與へすぎても無害です。殊に寢る前の一匙は夜中によく作用してせき込みを和らげ安眠を得せしめます。

百日咳	普通の經過	チミツシン服用の場合
加答兒期	一－二週	一－六日
痙攣期	三－八週	一－二週
恢復期	二－三週	一週
計	六－一五週	三－六週

（日本之醫界第一二一九號記載）

二八〇瓦　一圓八十錢　一二五瓦　一圓　試用小瓶　四十錢

藥店にあり

東京・大阪　田邊商店

明麗ゆかた 五千五百反 贈呈の大懸賞

ウテナの愛用者御優待

何か？

一、八重ちゃんの持つ化粧品は何でせうか？ そして清楚で美しい

二、着てゐるゆかたは、何でせうか？

右の解答（〇〇〇クリーム 〇〇ゆかた）を——

ウテナ雪印クリーム
ウテナ花印クリーム
ウテナレモンクリーム
ウテナ水白粉
ウテナポマードなど

ウテナ化粧品の空函に記し住所氏名と、この新聞名を明記して（他の用紙も可）必ず封書（約四匁まで三錢）で東京本郷區本郷二丁目ウテナ本舗懸賞部へ郵送して下さい。

▲締切 六月三十日

▲發表 七月初旬、東京日日、大阪朝日兩新聞紙上に主なる當籤者氏名を發表

賞品

東京特製 明麗ゆかた（一反づつ） 五千名樣

特賞 明麗ゆかた（ジョーゼット一反づつ） 五百名樣

籤外賞 ウテナ脂取紙 十萬名樣

▲郵稅不足はお斷り申上げます。▲空函の蓋と底の部分は切捨て、目方を輕くして下さい。▲お一人で何通出しても差支へございません。▲答は、なるべくお早くお出し下さい。」

サラッと颯爽——色白くなる

ウテナ雪印バニシングクリーム

陽春の
愉快なおヒゲ剃りに
清楚で麗はしいお化粧に
無脂肪のウテナ雪印クリーム
—正價 三十錢、六十四錢—

お肌の
いつも若々しい護りに
榮養、洗顏、お化粧下に
脂肪性のウテナ花印クリーム
—正價 五十五錢、一圓十錢—

ウテナレモンクリーム
—正價 三十錢、六十錢—

ウテナ水白粉 三十二錢、五十二錢
ウテナ粉白粉 廿五錢、卅二錢、五十二錢
ウテナ化粧水 卅錢、卅五錢、五十錢
ウテナポマード 三十錢、五十錢
ウテナほゝ紅、口紅 各色 三十錢

東京・本鄉
久保政吉商店

10.4—全.2

罹災民御救恤の爲 十萬圓下賜の御沙汰
入江侍從が捧持して渡臺

【東京二十四日發至急報】天皇陛下には臺灣大震災罹災民救恤の畏き御思召を以て二十四日金十萬圓下賜の御沙汰があつたので二十四日午後三時出發の入江侍從が御下賜金を捧持し渡臺の途に上つた

兩州の應急措置費 百萬圓を越えん
義捐金も全部之に充當

罹災者の救助は可及的急速なるを要するので、總督府の救護本部では能ふ限り救護材料を現地に送りその他諸般の準備を進めてゐるが罹災救助基金による今年度支出は新竹五萬圓、臺中六萬圓となつてゐるが、總督府では法令による基金の一割、即ち新竹九萬五千圓、臺中十一萬圓の支出も許可したので差し當り新竹州では十四萬五千圓、臺中州では十七萬圓を救助資金として支出することが出來ることとなり、これによつて當分の需要を凌ぐわけである、この外街庄の應急施設に要するものについても右基金の內より融通することになつた、この罹災資金の支出は炊出、小屋掛、應急醫療、學用品、被服寢具等の應急措置に要するものに限られてゐるが、これに要する費用だけでも兩州合せて百萬圓を越ゆる見込みであるので、內外の義捐金は全部これに充當し、尚不足を生じる場合は第二豫備金より國庫補助として支出す可く目下調査中である、この外罹災關係、道路橋梁等の復舊にも第二豫備金により調査の上工事に着手することになる可く、一般の復興資金としては低利資金の融通を計り、罹災街庄の財政計畫についても目下考究中である

海軍が全島的に 完全な救護無線網
基隆の芙蓉を指揮艦として

二十四日午前六時基隆入港の第十一驅逐隊司令艦芙蓉より派遣の大森大佐引率の海軍電信隊は午後一時新竹に到着、直ちに同州下に於て無線連絡を開始したが、之に依り海軍無線電信隊は臺中、通霄、大甲、新竹と基隆高雄間に完全な救護無線網を布き、基隆の芙蓉を指揮艦とし通霄の島風、夕風、大安の朝顏、刈萱の四艦協力、救護治療、警護、食糧補給に努める事となつた

五ケ所に假病院 負傷者全部を收容
新竹州は死體の跡始末を終る

【新竹電話】新竹州下罹災民の數は二十三日午後死亡者の跡始末を終り、今では負傷者の救護に全力をあげてをり、負傷者は州の急救品及び各方面よりの寄贈醫藥品により外科的應急處置を施したが現在では負傷者激甚し醫師は東奔西走しなければならず、醫師が疲勞するばかりでなく患者の手當も遲れる事となるので、今後は患者を所々に集める方針をとり、即ち頭分、苗栗、大湖、卓蘭、獅潭の五ケ所に假病院を設置する方針の下に州土木課片寄技手及び雇三名

平塚長官が今夜 震災狀況を放送
全國に中繼するため

平塚總務長官は、今二十五日午後六時半より七時まで三十分間に亙り「臺灣大震災に就て」と題し特別講演をする筈であるが右の放送は全國中繼とするので臺灣の兩州下における實狀も之によつて相當明瞭化されるであらうと

罹災者を 無賃輸送
警察の證明ある者に限つて

家財は碎け住むに家なき罹災者はあちこちの知人や身內の者を目當に住み馴れた故鄉を見捨てて各地に轉出せんとしてゐるが、鐵道部ではそれ等の人々に對して警察

罹災民、保安林を 手當り次第に伐採
大甲、清水の災害地で

【臺中電話】復舊を急ぐ大甲郡清水街の罹災民は復舊材料不足の折柄大甲、清水沿線の保安林を手當り次第伐採するので二十四日州では之が取締應援方を依賴して來た

は二十四日出發、二十五日より直ちに工事に着手する豫定である、

醫師資格者は時の經過に伴ひ內科的疾患が發生するであらう事を慮かりこの方面の醫療器品をも增派されてゐる

救護第一線の 警官を犒ふ

石垣警務局長は救護の第一線に不眠不休の活動を續けてゐる罹災地警察官の勞苦を慰ひ激勵の意味をもかねて二十四日兩州警察官に各二百圓、警察協會より各二百圓合計八百圓を兩州警務部長宛に贈つた

基隆小公學校の 義捐金醵出
一人五錢以上

【基隆電話】基隆市內小公學校並に幼稚園の義捐金醵出に關しては關係者協議の結果左の如く決定された
△小公學校兒童（八千二百餘名）は特別の事情ある者の外一人五錢以上
△學校職員は總督府からの通達を待つて醵出する
△外に教化團體を總動員して義捐金を募るべく公文書を發送

慰問品も積み 瑞穗丸出帆
赤十字救護班も便乘

【神戶二十四日發本社特電】地震後の第一船瑞穗丸は定時出港したが、地震で急遽歸る人々で二、三等は超滿員、貨物の方も慰問品や復興用品にて滿腹、何となくあわただしい出帆で、門司迄の船客は何れも安否を氣遣ふ人々のみにて洮滿な面持ちの者多し、同船にて日本赤十字社より派遣の平尾醫師以下醫者三名、看護婦十七名が醫藥器具、ベッド、天幕等三十七行李を積み込んで罹災民救恤應援に向つた、平尾氏は語る
豫定は二週間であるが萬事向ふの都合次第である、早く行つて苦しい人々を助け度い氣で一ぱいである

配給圓滑
山線が十六分まで通じて

【新竹電話】新竹州下の罹災地の食糧は二十四日より山線の十六分まで開通により稍圓滑となり、苗栗までつてゐた所も白米が行くやうになり、副食物も味噌、醤油、梅干、食鹽、罐詰類等の配給を行ひ、軍隊より寄贈の堅パンを始め臺北、基隆兩市始め各方面から送られたミルク、菓子、罐詰、衣類、蚊帳、シャツ等も送ばれ臺東丸の太田陸揚も二十五日より大崎に依給し、罹災民の收容と復興を急ぐ筈である

交通巡査が出て 觀衆を整理
ゆうべも三ケ所で 震災映畫二報公開

本社映畫班の高原、坂岡兩社員が決死の覺悟でフイルムに收めた震災被害實況の第二報は昨日に續いて二十四日午後七時より市內新公園、同七時半より老松公學校、同八時半より大稻埕永樂町の三ケ所に於て市民の爲に一般公開を爲したが、各所共定刻前から多數の觀衆が押かけさしもの廣場も立錐の餘地もない位で、觀衆整理の爲に交通巡査が立ち、場の入口には屋臺店が並び盛況振りだつた

二百餘戶の內 殘存十數名
卓蘭庄埔尾が震央か

【臺中電話】新竹州大湖郡卓蘭庄埔尾の部落二百餘戶は全滅、生殘りし者十數名に過ぎないとの情報が臺中州東勢郡より派遣された救援隊により報ぜられてゐる、同地は地面に非常に大きな龜裂あり震央ではないかと云はれてゐる

豐原、清水街に コソ泥跋扈
家人の屋外避難を幸ひに

【清水電話】未曾有の强震の被害を受けた臺中州大甲郡清水街及び豐原郡下一帶の被害地は二十一日の强震以來每日數回の餘震あり不安のドン底に喘ぐ罹災民は何效々たる有様で、夜は路傍又は廣場に

后里圳を 應急修理
一萬五千圓で

【臺中電話】既報の如く后里圳の決壞により二千二百甲歩の水田は灌漑不能となり枯死を待つ許りとなり、又同埤圳から飲料水をとつてゐる屯子腳一帶の被害民は何れも水饑饉に喘ぎ、臺中州土木課當局では取敢ず應急策として內埔庄枋寮の大甲溪後備取入口より圳水を取入れ、二十七日より給水することになつた、同圳復舊工事には莫大なる工費を要するが差し當り一萬五千圓を以て應急修理を急ぎ水田枯死を防ぐことになつた

臺北も通り 倫敦から東京へ
阿野飛行士の出發 來る三十日と發表

【ロンドン二十三日發電通】印度經由の南方コースに依る邦人最初の歐亞連絡飛行計畫を樹て準備中であつた阿野勝太郎飛行士は愈々途中の着陸地との打合せも出來たので來る三十日ロンドン郊外クロイドン飛行場出發歸途に就くことになつた旨發表した、着陸豫定地は左の通りである
ロンドン、ブラッセル、ベルグラード、バグダット、カラチ、ボンベイ、カルカッタ、香港、臺北、大阪、東京

羅災地の空中視察（3）
薄氣味の惡い紫暗色の流れ
大安溪下流の河原に

河村本社長から日下臺中州知事に宛てた慰問のメッセージを私は書中讀ふ時間が惜い、南に濟ましたいとは思つたが非常の際だ、あたつて砕けろといふわけで深川交數局長にお願ひすると『よし引受けた』と萬事O・K……あとは本社飛行局のゴールへ一直線にダッシュするばかりだ

◇

午後二時二十分再び義勇號愛國號上の人となつた私は彰化を右に見て大肚溪を眼下に見下してゐる、左は眞新らしい線のやうな青田を眺めて遙く、右にき

らめく太陽に映える赤土の丘……想へば恨らしい自然の暴威だ、昨日に變る今日の姿……廢墟となつた死の街清水が見える、街路の辻同とはコースを別にとつて海岸線に沿うての直線飛行だ、清水陳構內の四字型の煉瓦造建物が無殘にも破壞され學校らしい横倒しになつて息を引き取つてゐる、建物は未だ新築のものの如く崩れ落ちた煉瓦の色も一際赤く見えるではないか、附近の部落はいづれも平家建のやうに押潰されて痛ましい形骸を留めてゐる、碎れ傘のやうな灰色の屋瓦の下からた土塊のやうなものが醜醜の如くはみ出してゐるのだ

◇

それから五分間の後三時四十五分には大甲溪流の上空……河水は枯れて帶の如き數條の流れを見るのみ、三時四十七分震源地と云はれてゐる大安溪下流の上空だ、氣の故かしら白い河原に薄氣味惡い紫暗色の如き紫暗色の流れが蛇の如くうねつて流れてゐる、通霄海岸には島風の走る姿が悠然として無限の海上に威風四海を拂つてゐる、藍海と土塊……かうした對照が私の感覺に疑み込まれる、島風はあの大海の自然を睥睨してゐるではないか、同じく自然とは云へ地震の暴威に木端微塵に粉碎し去られた土塊家屋の無力さの慘落が今私の眼下に展開してゐるのだ、自然の克服、これは地上に棲息するものに課せられた命題ではないか

◇

三時五十八分機はすでに苗栗の上空……グーツと旋回して低空飛行右方に大地が盛り上つて來る、空は左方へ非常な勢ひで落下する、被害は甚大だ、屋根も落ち壁も剝れてグシヤ〳〵に押潰され見るも慘酸なバラ〳〵の被害家屋だ、家屋の群にちがひない、四時二分右方の山嶽地帶に紅雲の火花を見る去日噴發した錦水の油田井に相違ない

◇

斯くて苗栗……[illegible]してゐる、平和な姿を眼底に收めて四時十五分湖口演習場の上を飛ぶ、機は高度を六百米に高め、去來する密雲の上へ出て再び雲海を眺めて下降、高度三百米で中壢の上空を後にする、雲霧漸く近づかんとしてゐる桃園の上空を飛翔してゐる、機は大屯、七星の山嶽へ打衝けるやうに機首を向けた、四時二十七分……淡水河も眼の前だ、定規でトレースしたやうな正しい線を引いた道路がスーツと伸びてゐる、點在の部落も安らかに眠つてゐるやうだ、私は首都臺北の空に歸つてゐるのだ、機はグルッと旋回すると共に輕いバウンドを殘させたときには私を格納庫へ向けて歩ませてゐた、時に午後四時三十五分……臺中出發から[illegible]

斯くて私は航空部ゴールへ飛込んだのであるが、此の短時間に竹南後龍、苗栗、通霄、大安、清水、神岡、內埔、豐原等の被害の最も甚大であつた罹災地の大半を空中より視察し、而も新竹、臺中兩市の上空を飛翔して州下罹災者に對する知事を通して州下罹災者に對する深甚なる同情と慰問の意を表し得て此の使命を果したのであつた

◇

空からの視察によつて與へられた私への感激といつたものは罹災地及び主要道路の完成、建築物の强化等の外に飛行機の重要性と更に飛行場整備の緊要なることであつた

「もつと飛行場と飛行機に恵まれて遭難の人々が理解を待つて頂けるといいのですがね[illegible]」と[illegible]言葉少なく語つた

（完、笹盛特派員）

子供の日
催物のいろく

臺北市主催の「子供の日」は來る二十五日から五月五日迄の十一日間に亙り擧行される、實施事項は左の如くラヂオ放送、立看板、ポスター掲出、ビラの配布、映畫により又新公園及兒童遊園地に大旗幟を立てて氣分に添る

一、第四回臺北市乳幼兒審査會を四月二十七日午前十時から蓬萊公學校、二十八日午前九時から臺北州會館、市營撫育所で開催する、被審査資格は本市居住の乳兒で昭和九年一月以後出生したる者

二、乳幼兒愛護の夕を二十三日午後六時から新公園で開催する

三、優良兒選獎式を五月五日臺北信用組合樓上で開催する

四、育兒講習會を市社會事業助成會で開催する

五、育兒講習會を四月二十五日午後一時から蓬萊公學校、二十六日午後一時から第三高女で開催する

六、赤ん坊審査會慰問優良兒映畫の夕を二十三日から二十七日迄龍山寺前、陳氏祠、御成町市場、新公園、壽小學校の順で每夜開催する

七、動物園で動物命名式その他催物を行ふ

錦水のガス火事
近く鎮火の見込
堰堤は廿五日完成

【新竹電話】錦水油田第二十一號井のガス火事消火作業は既報の如く鐵道部で消火を急ぐ事となつたので、近日中に鎮火する見込である、[illegible]火勢は十二日後鎮火當初の十分の一位である

臺北を唄ふ 長唄新曲成る
今夜初放送

松永和十郎氏の作曲並に唄、杵屋勝兵衛作調でコロンビヤの手によりレコード二枚となつて現はれた右の歌詞は本年一月の臺日グラフに掲載されたもの、先頃その發表會が催されたが右の作曲は和十郎氏として近來の傑作で長唄中の稀な良い曲を撰り集めた觀あり玄人筋にも臺北の名物となるべきものと評判が寄せられる今夜放送の臺北四季は二十五日夜臺北放送局から初放送されるが發賣はコロンビア及び臺日商事課である（寫眞は長唄發表會）

【基隆電話】二十二日午後基隆某所に於て聞く情報左の通り
一、兩州に於ける日本語研究熱は臺とても盛んなもので六十、七十の老人連中迄が學生と机を並べて勉強してゐる風景もよく見られると、また各郡庁當局者では朝日政策の一方法として国語の巡回する國際講演會を組織、一般民衆に日本の事情を教へてゐるとの事である
二、兩州電氣公司では今月末基隆着便船で一行二十名よりなる觀光視察團を送る事になつてゐると、また今秋の博覽會には福州より官廳側、民間側と二手に分れて大觀察團を組織するとの事である

福州から― 臺灣視察團
一行卅名が今月末著臺

鶯歌庄に流腦

海山郡鶯歌庄樹林一九一黃永華の子女園（三）は數日前より發病二十四日午後四時臺北醫院で診斷の結果眞性流腦と決定、直ちに稻江醫院に收容された、當局衛生係は發生地の郡警察課に照會消毒に努めてゐる

朝日機が都城著

罹災寫眞を積込んで二十四日午前

田中勘次氏 から謝電

田中勘次氏二十四日出帆の吉野丸にて臺灣總督府上海支店長として赴任の途に就いた田中勘次氏より本社宛左の謝電があつた
在臺中の御厚誼を謝す貴紙を通じ宜敷く

（九）天氣のよて
△臺北地方（東の和風　晴後曇）
△北部地方（北東の和風　晴後曇）
（臺北觀測所發表）

拳銃と實彈の 密輸入を企つ

【基隆電話】基隆水上署平野、吳兩刑事は二十四日入港の福南丸より身なりいやしからぬ一本島人紳士を逮捕し目下取調べ中であるが、探聞するに右は廈門政府商店の番頭で臨港に際し拳銃一挺及び實彈數發を密輸入を圖らんとしたのを發見されたもので時節柄事態を重視されてゐる

五時二十五分臺北飛行場に着陸を急いで飛行士兼務の朝日機C5號は快速を利して一率臨機間を翔破し正午內地時刻宮崎縣都城着大阪から都城經由への新鋭飛行機は二〇A●號にリレーし新鋭機は一路大阪へ飛んで午後二時四十分大阪に安着した

兩州強震罹災者 救援義金領收報告
（四）

金壹萬圓也　大阪商船株式會社長　村田省藏殿
金壹千圓也　白鶴嘉納合名會社殿

金拾圓也　林 瓚 仁殿
長谷川長衛商店殿
同店、店員一同殿
楊 建 彩殿
金五圓也　高氏阿治殿
金四圓也　吉江 正殿
金貳圓也　林 仁 榮殿
金六拾四圓四拾錢也　臺北第二師範學校生徒一同殿
金貳拾圓也　臺北工業株式會社殿
金參拾圓也　佐々木長太郎殿
金參拾圓也　臺北市中央市場內鮮魚販賣協會一同殿
金壹百圓也　天理教臺灣傳道廳殿

[illegible]

震災御見舞

ウービー石鹸本舗
東光石鹸本舗
內外藥品工業原料品貿易
油脂工業・藥品工業
東光株式會社
臺北市綠町三丁目
電話四〇〇五・四〇三
工場 臺北市綠町四丁目
支店 大阪・臺南

臺灣日日新報社發行 コロタイプ版
臺灣大震災繪葉書
八枚壹組特價 金二十錢
送料金二錢
發賣所 臺灣日日新報社
基隆 商事課
臺中 支局
臺南 支局

特別廣告 臺灣日日新報社

內科花柳病 山本醫院
本町 電話

花柳病科 大栗醫院

子を持つ處女
修羅時鳥
嵐寛壽郎 高津慶子 主演

漫畫祭
坊ちやん華ちやんお待兼ね 愈明日より
極彩色マンガ ミッキーマンガ
新世界館

第十六驅逐隊芙蓉艦 二十四朝入基隆港

大森司令赴震災地

第五水雷戰隊第十六驅逐隊司令艦芙蓉。爲救護中部震災。二十四日入基隆港。繫留于大正棧橋。海軍武官前田機關少佐。桑原基隆市尹。林憲兵分隊長等。訪艦犒勞。該艦乘組軍醫官。已轉乘便艦夕顏。刻宣。急赴現場。司令大森仙太郎大佐。率電信隊赴臺北。搭午後列車往現場。芙蓉乘組先任將校松田大尉。發表如左。海軍。對今回臺灣震災。由馬公要港部與第五水雷戰隊第十六驅逐隊協力。從事救難作業。接到震災之報。爲調查狀況及救護。馬公急派驅逐艦島風。及電信隊。衛生隊等赴通宵方面。又二十三日再派驅逐艦夕風于同方面。力救罹災民使人心安定。第十六驅逐艦。警備南華。廻航馬公途次。接此急報。急補給完了。朝顏。刈萱兩艦。派往大安港。以救助警戒。本艦廻航于基隆港。與督府及海軍當局連絡。一面派遣救護班。一面待機。應其要求。輸送所要品于各方面云々。

據松田先任將校。所談如左。

第五水雷戰隊。中止一部訓練。以當救難作業。本隊在馬公。補給完了。按休養二日間。接震災之報急遽出動。海軍關今回災害。非常爲慮。急講適宜處置。糧食由馬公機關配付以外。馬公要港部及鳳山無線電信所。皆總動員本艦爲連絡臺北及現場。並指揮派往現場之僚艦云云。

新竹州下 食糧不足

新竹州下罹災地方。二十二日以來。食糧品其他缺乏。故有食生姜渡日者。救護本部。於二十三日急送糙米六百十袋。鹽鰯千五百斤。鹽鯖千五百斤。澤庵百五十桶。福神漬百五十桶。建小屋用木材三千二百本。二寸釘六百四十斤。亞鉛板一萬二千四百坪。五分板千六百坪。及繃帶二千三百本。白布。酒精。沃度丁幾其他醫藥材料云。

大甲梧棲 建臨時板屋

大甲郡梧棲街。在公共浴場前。郡役所前後。街中心地三處。各建五十坪之棟之板屋。至二十三日夜暮完成。收容罹災民。一面按在公共浴場前。至海岸道路兩邊。建半永久板屋。收容貧困者約五百名。現買集諸材料中。

臺中州慰問品 給配本部

臺中州下今回震災。受各方面寄贈金品。非常感激。然無統制。常課配給。去二十四日。在州教育課。設置慰問品配給本部。及對寄贈者。希望于左記各項。

一、要裝攜帶便利之貨。二、明記慰問者名。三、宜要避易損害物品。四、配給宜不附條件。一任于當

侍從次官 同車西下 望臺灣而發

臺灣大震災。九重軫派入江侍從。二十四日午後三時。發東京驛。啓程西下。櫻井拓務政務次官。亦與同列車。望臺灣而發。二十四日。東京來電云。

豐原東勢大甲三郡 各地救護狀況

▲豐原郡 一、受傷者救護狀況。在內埔庄屯子脚(市場後、役場、精米工場三處)七塊厝。月眉等。一時假收容所。現正努力建築患者收容所。神岡庄于神岡公學校雨天體操場。新庄子及圳堵下溪洲等三處。以假收容救護中。而患者收容所。現建築中。擬二十三日。建完一戶收容。又兩庄管內。負傷者一部。昇入臺中醫院治療中。二、救護班活動狀況。臺中州救護三班。醫師二名。警察醫一名。衛生技師二名。技手五名。其他十名。配置于神岡庄屯子脚方面。臺中醫院救護班醫師四名看護婦十名。臺南衛戍病院救護班。軍醫三名。看護卒十一名。臺南州救護班。醫師二名。看護婦八名。嘉義醫院救護班。醫師四名。看護婦五名。以上各班配于屯子脚。臺北赤十字班。醫師二名。看護婦十名。配置于神岡屯子脚兩地。高雄州救護班醫師三名。看護婦六名。臺中市救護班。醫師一名看護婦四名。其他二名。兩班配置于神岡方面。三、食糧配給狀況。二十二兩日。由臺中市及豐原街欲出配給。又內埔庄。于現地炊出救助。而神岡庄自二十三日朝。對罹災者全部。配給白米。四、對住居處置。內埔方面屯子脚市場後學校々庭。建設假小屋。開始收容。神岡方面圳堵建設假小屋。五、衣類寢具配給狀況。對神岡庄方面罹災民四十名。照慰問品配給。六、交通狀況。開闢災害地方之交通。經察憲兵隊。完全整理。七、食物雖不足。然受臺中市配給。八、衛生狀態。一般良好。九、其他。就救護之要否及處置。目下調查中。

▲東勢郡 一、負傷者救護狀況。災害發生時。郡職員非常召集。經街庄吏員青年團員壯丁團員協力。收容死亡者。而對負傷者配給藥品。各部落設收容所收容。二十二日午後。森田醫師外四名。對各部落負傷者。勸爲入院治療希望者四名。以自動車。昇入臺中醫院。二、食糧配給狀況。四月二十一日對各部落罹災民炊出。配給辦當副食物。二十二日如前日炊出配給。而副食物。蕃料鹽魚。適宜配給以外對外傷病者。配給桃源。罐頭等。三、對住居處置。照各部落被害程度。考慮復興力。而設假小屋收容罹災者。四、交通狀況。家屋雖有倒壞及崩潰之處。而無大支障。五、管內缺乏物資。副食物及藥品。僅東勢缺乏。非互全州下。由臺中市配給。六、衛生狀態。現氣候良好。尚無發病者。其他對負傷者。務勸其入院。

▲大甲郡 一、負傷者救護狀況。負傷者收容于郡役所後庭。同地公醫四名。嘉義病院應援醫師五名。看護婦四名。其他各關係者等。對負傷者二十名極力醫治。清水街民之救助。大體完結。相繼來所。對此仍加醫師一。二、食糧配給狀況。于郡役所後庭配給。二十二日朝。配給約二千人。三、對住居處置。于郡役所後庭。建設假小屋現在張天幕。收容避難民而各個人。亦設假小屋。四、對衣類寢具處置。貸毛氈約六十領。五、交通狀況。無異狀。六、缺乏之物資。由臺中方面。因米輸送困難。乃令清水郡米店賣却。故于米糧雖無缺。唯副食物不足。然此得由南投臺中方面配給。七、衛生狀態。注意傳染病等。而現在無何等異狀。八、其他救護。對鄰村方面救護。殘留人員不足。九、就救護之要否及對策。以上于二十三日前九時救現調查究中。午後三時受信社會課發表。

東京市決定 贈二萬圓 慰問災民

東京市。關臺灣大震災。二十四日午前十一時。開市參事會。協議結果。決定贈金二萬圓慰問。二十四日。東京來電云。

臺北州郡守 市尹會議

臺北州郡守。市尹。警察署長等。去二十四日午前九時。在州會議室。開會議。首有總督訓示。次知事訓辭。次關于國體本義明徵件。地方制度改正趣旨。及關係法令周知件外。移入關于選舉事務之指示事項。正午休憩。午後一時。協議注意事項。審議諮問事項云。

臺中州市郡 視學會議

臺中州。市郡視學會議。自前開于州會議室。附議諮問事項。一、鑑于各郡前年度實績。于學校教育。社會教育。社會事業各般。在本年度特要實施努力之事項如何。又議諮事項。一、昭和十年度教育行事所關件。一、同教育研究所關件。一、公民教育(政治教育)所關件。其他指示及注意事項數件。

震災後通信界 內地發出電報 尚滯積五萬通

新竹。臺中兩州下大震災。內地之親戚朋友。爲懸念安否。早自內地新聞號外發刊後。慰問電報殺到。各郵便局忙碌。臺北電信局。急講各種方法。努力受信。連日徹宵。每日受四千通。內地尚滯積有五萬通。二十二日午後。東京發信者。至二十四日。始抵臺北。又島內發信。亦未曾有繁忙。震災地各局。用紙缺乏。電報以汽車搬送較早。皇奇現象。電話。通話時間延長。二十一、二兩日。使徹底通話。而島內電話。亦因各

通開通遲延云。

時評

○九重聞奏震災。殊深軫念。欽派入江侍從。來臺視察。傳旨慰問。聖恩廣大。島民所共感激。災民尤思報效。宜也。

○災地慘狀。觀本社寫眞。而爲痛心疾首。爲平時所未爲。奮平時所未奮者。到處大有人。奈街庄當局。尚有欲待上司指揮者何。

○本島街庄當局。常爲一地方中心。救急恤災。猶斯迂緩。苟他之仁人義士。則災地死者。無人收拾。存者亦活不得矣。

○全島各地。醫師布滿。顧此非常時。除基隆。嘉義兩市一部醫師外。未聞奔往災地。效勞奉仕。其仁心不無可疑者。

中華領館設法救災 總領事訪督府親送弔金 慰問災區通電華僑募捐

中華民國駐臺北總領事館。因據連日報道中部地方。震災情重。深爲同情。特由郭總領事。召集館員議決辦法。分別三項。進行如左。

一、除由郭總領事。正式向總督府。親送弔金慰問外。並由館內全體人員。共捐日金百五十圓以非公式。交由新民報館。轉送災區。

二、郭總領事。偕同張副領事。定日內前往災區慰問。

三、通電駐日本各地本國領館。轉向華僑團體勞集義捐。

朝日機 歸還飛行

爲慰問新竹。臺中兩州下大震災。派遣之朝日機。至二十四日午後五時二十五分。搭載震災寫眞。其他新聞資料。受多數送行。由臺北練兵場離陸。就歸還飛行之途云。

早坂教授 調查中州

臺北帝大早坂一郎。臺北高校齋藤兩氏。爲調查此次震災地々質。及震源地。二十二日午後七時。抵臺中。二十四日午前九時。調查屯子脚后里。大安。清水。沙鹿。梧棲。神岡等。二十五日。由東勢向卓蘭云。

慰問救恤品 無賃辦理

神戶二十四日發本社特電。商船。郵船兩會社。豫料內地向臺灣。多搬出救護品慰問品。現正手續中。俟與兩社協定後。由公共團體學校。其他送到之慰問品。內定爲無賃辦理。一面定期船。暫時之間。歸鄉之慰問客等。應呈混雜云。

震災繪葉書 一時間賣盡

本社。臺中新竹兩州下震災繪葉書。自二十四日發賣。經一時間。完全賣盡。更追加印刷。至二十五日正午。發行第二回云。

二次續發

災害地信組 金融無碍

據產業組合協會調查。今回地震被害區域新竹臺中兩州信組。貯金保有狀況。新竹州竹南。大湖。苗栗三郡平均五成。豐原。大甲。東勢三郡平均六成。若組合員有急用。雖多額出貯金。而產組金融。亦無妨害云。

電力會社如索重犯 勸誘增燭巧語瞞騙

臺南電力會社出張所。因日月潭電力工事成功。今次欲勸誘南市用戶。增加燭光。每夜派員。出向市內各舖戶。一行數名。核對查檢有無盜電。入屋穿房。如索重犯然。極見嚴重。無知婦女。未明底蘊。恒起驚恐。其他地方亦或有之。又臺北市內。日前由電力社派員訪問人家勸誘增燭。勸誘人極其糊塗。謂此次增燭。兩月間可得半減料金。需要家問以兩月間係自點燈之日起滿兩月否。勸誘員言詞暧昧無可答應。其實即至五月九日之間。照舊料金。五月十日以後。照增燭料金。非兩月間半減。所以瞞人一時。而彼已達勸誘目的。不顧會社之信用也。

臺南漁業協同 組合成立

臺南市及新豐郡水產業者組織臺南漁業協同組合。久在籌畫中。至近始蒙許可。去二十二日下午二時于市會議室。開創立總會。來賓古澤市尹。平良助役。青木督府水產支場長。辛西淮諸氏。組員出席合計七十名。首由徐守金氏致開會辭。林叔桓氏代表發起人敍禮。徐氏報告創立經過。講該組合係圖漁業統制與協同一致。自昨年依產組法組織而規約照本月一日新發布之漁組法。是爲全島新規則發布後最初之組合云。比入議事。乃推徐氏爲議長。議事均照原案決定。理事及監事選任後。古澤市尹。村上玉吉兩氏致祝辭。閉會。該組合員二百五十名。區域乃臺南市及新豐郡安順庄一部。役員則組合長林叔桓氏。理事徐守金氏外七名。監事翁金護氏外一名云。

文山教化團 募義捐金

文山郡下各街庄長。喚起庄民同胞之心。協力一致。奮發募捐。現各方面委員。青年團及保甲役員。男女青年團至誠會員等。各分擔區域。極力勸誘。按定來五月中旬。將現金集交本社。托爲送付災地。

新莊街民 慷慨義捐

新竹。臺中兩州下震災一傳新莊街民深爲同情。新莊青年團於去二十二日。開緊急幹部會。翌二十三日召集會員。分左右兩隊。進出街路。募集義捐金。街民稱是舉爲人類愛之發露。故共鳴者衆。成績良好。而新莊座于二十五日夜。亦將開救護之夕。映寫電戲。從所收入。概充義捐。又個人自發的慨然傾義者。金二百圓。黃淵源氏。金三十五圓。周岱氏。金三十圓王乾生氏。外樂捐者續出。誠美談也。

憲法解釋所關書成 作將校雜誌附錄配付 照鄉軍希望印十萬部

東京二十四日電。陸軍省軍事調查部調查班。於美濃部博士機關說問題起時。即關帝國憲法解釋。潛心研究。最近已完。而題「大日本帝國憲法解釋所關見解」。爲文錄之菊版二十二頁小冊子。爲將校雜誌偕行社記事五月號附錄配之帝國在鄉軍人會本部。克表贊意。特得偕行社承諾約印刷十萬部。擬配同會各團體。及希望者。此爲全陸軍中央部。實質上代表見解。所共注目。內容要旨如左。

一、我國體根本之天皇統治。與近代歐米發達之民主々義政治。殆本質上有差異。

一、帝國憲法研究之態度。

一、帝國憲法學說之大觀與批判結論。

一、要之。帝國憲法。將我國古來所傳統之天皇統治大法。應所必要而成文者。此天皇統治之大法。即我國不文之憲法故帝國憲法之成文條章宜常照此大法。顧之國體而爲解釋。

二、學說有損國體。故置不得。

三、如斯迷妄之說。速宜排去。其背後之思想必要是正。

臨時補充金 支出亦可

東京二十四日電。大藏省對今回臺灣中部地震災害若總督府有申請。即欲支出總督府特別會計第二豫備金或剩餘金。萬一以此尚不足時。乃由一般第二豫備金。對總督府特別會計支出臨時補充金。俾應急救濟策無慽云。

爲思想問題 移調查局 陸軍之意向

東京二十四日電。機關說問題所關。政府以日前處置。大體解決。見一段落。陸軍則以本問題。爲思想問題。此眞解決。確信當自此觀念出發。然此實行只一陸軍處置。實現不得。陸軍之意向。欲移諸內閣調查局。各機關一致邁進此時指導精神。合本大日本帝國憲法解釋所關見解所言云。

米公使訪問 汪孔兩長 會談時事

南京二十三日電。米國常公使。自北平來京。二十三日午後四時。訪汪外長。同五時。訪孔財長。即問最近日華關係國際借款問題眞相。更望關稅加昇問題。無使不利米國。中國方面。要望米國銀政策緩和。並米華通商條約改訂交涉促進云。

滿洲國皇帝陛下 參拜嚴島神社

宮島二十四日電。御艦比叡。前夜泊於香川縣豐島海外。二十四日午前六時半拔錨。午後一時半。入宮島港。投錨聖岬海面。皇帝陛下。乘海軍小汽船。同二時半。入商船碼頭。上陸。以鈴木知事先導。進嚴島神社華表前。以野坂彌宜先導。經廻廊參拜神社本殿。御臨宮島公園平松山見晴台。賞覽四面風光。次於岩惣旅館貴賓館少憩後。爲齊藤宮司所導。御臨大千疊閣。觀大飯匙等。同五時歸艦。同夜八時出港云。

微感風邪 啓蹕出港

宮島二十四日電。滿洲國皇帝陛下。二十三日。神戶御出港以來。微感風邪。二十四日午後一時。自御艦比叡。通謀廣島縣當局。陛下嚴島神社參拜後。午後五時半。即歸御艦。同八時。尋望大連而發。以就歸國之途云。

米海軍大演習 來廿九日起如戰時狀態

桑卑路二十三日電。米國海軍史上。平和時最大演習。迫在目前。本埠軍港水兵晝夜奔行。搬食料品演習用具。搬入軍艦。宛然戰時。演習參加艦艇。百二十五隻。訂來二十九日開演。戰艦及巡洋艦。同日啓目的地出發。除此發表以外。艦之行動者。一切秘密。又空軍司令官常遜少將。爲布哇。海軍根據地視察計。既乘巡洋艦。發本埠。赴布哇。到後。合有空襲模擬戰云。

苗栗十六分間 山線開通

經貫鐵道山線苗栗十六分間。去二十四日開通。后里。豐原間。照舊運轉機汽車云。

孔顏兩家 代表一行七名 經長崎東上

長崎二十四日電。湯島聖堂。來日開儒道大會。並舉孔子祭。山東省曲阜孔家代表孔昭潤。顏家代表顏新鴻兩氏一行七名。二十四日午後一時。乘長崎丸來朝。市內遊覽後。同五時仍乘同船東上。皆服中國服。一見如村夫子。其長途長期旅行。實自此次始。而乘汽船。亦自此次始。皆贊日華文化親善之趣旨。不遠而來者。且言他日歸去。欲進而傳日本之文化云々。

國府僑務委員及駐日蔣使 來電慰問

此次中北部震災。災情之大。中外咸爲震動。國民政府僑務委員會。及東京駐日蔣公使。咸來電慰。中華總會館接報。即日通告各地云。

新竹郡人夫 百名應援

新竹郡。爲應援罹災地。由同郡召集人夫數百名。由同郡庶務課員引率之下。於二十四日出發云。

嘉義踴躍 義捐震災 金額不論多寡

嘉義市爲救護新竹。臺中地方大震災。二十三日對全市。撒布募集義捐金宣傳單。同午後四時半。集州。市協議員。各官公衙團體。學校長。暨重要者于市公會堂。開磋商會。決定即時著手募集。該方法如左。

一、金額不論多寡。

一、現金入于封袋。記姓名後提出。

一、各自方面委員。町委員集齊之。

一、官公衙學校團體。各集齊後提出。

一、截止期間。至四月三十日。

貿易商同盟 勇躍募捐 派專員四出

臺北市太平町三丁目臺灣貿易商同盟會本部臺北總商會。鑒此次中部震災大慘害。發露惻隱之情。印行震災救助募捐傳單三千張。撒布于市內。及附近住民。一面派專員。四出勸捐。其他印刷信片一千三百張。發送于全島各地會員。力事募捐。其募集方法。

一、義捐金品。一口五十錢以上。以現金爲妙。若用物品者。須有適合罹災民使用。

一、義捐金送交可委員事務所。各新聞社或各募捐機關。

一、若遠離募捐機關。或其他不便者。由本會代轉亦不妨。

結核豫防 徹底宣傳

基隆郡金山庄。以訂來二十七日。爲結核豫防日。金山青年團。以樂隊爲先導。巡回庄內。宣傳結核豫防。小林公醫。是日特設健康相談所。爲健康診斷及應接本病豫防。並對一般。配付結核豫防之小冊。及宣傳票。庄當局。對結核豫防。十分努力云。

五崙山發見 林副將墓

臺南市林姓宗親會員。近於寧南門外五崙山。發見明墓一丘。墓牌多半埋入土中。掘採之。石中鐫林公一位。再拾骸骨。復於骸上得書條一枚。楷書林公諱世川。明季前鋒營副將男文燦官殿兵鎮。隨鄭成功渡臺。明亡。公亦殉死卜葬於此。宗親會員。復往延平郡王祠。查諸該祠東西廡從亡諸神主。確符於是改葬於會建納骨堂云。

臺南州廿七日 防疫宣傳

臺南州衛生當局。定二十七日。爲結核病豫防宣傳日。現移牒諸照各市郡及街庄共同團體。於是日官民一致。各出宣傳豫防。其豫防二法。分宣傳。健康相談。講話會倡開。接客業及罹病者取締所關。宣傳依往年之法。於臺南。嘉義兩試驗室開之。郡衙所在地。由公醫擔任。講話會。則利用小公學校。保甲會議青年會。家長會時開之。而當日則臨檢諸旅亭宿屋諸接客業之處。查詢罹病者。妥加保護。當晚開映關於衛生影戲云。

東港海水浴 廿五日開場

東港街立水浴場東港海。二十五日開場。其工事費一萬圓。建設一座新家屋設備俱整。且位置在街內瞬接河邊。眺望汕尾小琉球。水勢適于遊泳。爲維持關係上。本年起徵收入場料大人五錢。小兒二錢其他亦有設備家族室。供遊客之便云。

芬園信組書記 吞組合金

彰化郡芬園庄。字縣庄七十番地。會水土年三十二。爲同庄信用組合書記十數年。辦理金錢。將組合現金一萬數千圓。飽諸私囊。事機不密被彰化郡警察課員察知。急將本人檢舉。並押收關係帳簿多數。目下由司法係力行搜查中云。

板橋 大麻奉齋

新設海山郡板橋公學校大麻奉齋式。去二十三日午前九時半在當校舉行。海山郡守。後藤警察課長。淀川街長。其他街助役及其他官民約近百名列席。首由神官修祓。降神後大麻奉齋獻饌。祝詞奉讀。大祭主植板橋公學校長。兒童總代。大田郡守。職員總代阿久根教諭。淀川板橋街長。同窓會長。及保護者會長。張鴻援。青年團長黃江柳。工事請負者。一般參列者總代山本發信諸氏奉玉串拜禮。撤饌後同唱祭神歌。閉扉。退散。

淡水 煙酒總會

淡水酒類煙草賣捌小賣人組合第二回定期總會。去二十二日午前九時半。在淡水公會堂開會。鬼頭組合長述開會辭。次附議九年度事業報告。及收支決算。照案承認。決議事項有十年度事業計畫及收支豫算。悉照要案可決。大鬼頭組合長對小賣人競技會成績優秀者。授與表彰狀。專賣局岡崎臺北支局長。對優良小賣人授與賞狀。並一場訓示。午後一時半閉會。即開懇親會。是日出席小賣人八十二名云。

新營

二十日午前九時起。在郡役所會議室。開各庄產業技術員會。議商一切產業事務云。

乳兒審查

新營街。爲乳兒愛護精神普及起見。五月五日兒童日。欲推獎優良兒。去二十一日。先開選獎會。由醫師審查結果。一等王仲明。賴陽明。劉川三男張顏遊朗諸氏。二等五名。三等十一名。應募者百餘名云。

定期檢查

新營郡下自動車定期檢查。自去二十二日起三日間。在郡役所構內。由田中八木兩檢查官實施。四十八臺中。命修理再檢查者。僅二臺。成績優良云。

斗六

震災募捐

斗六街陳林氏寶女士。自發的醵出金二百圓。劉木榮氏醵金三十圓。充中部大震災義捐。去二十三日託郡警察課轉送。洵美舉也。

建築宜改

斗六郡永田警察課長。鑑此次中部震災。家屋全潰。乃爲建築不完全。如郡下斗六街並斗南庄。正在市區改正進行中。以此機會。改善建築法。最爲急務。擬對郡民宣傳徹底。現正銳意研究。不日將發表具體案云。

嘉義

地震無傷

嘉義地方。去二十一日午前六時頃。突然地震。約一分間餘是時市民由熟睡中驚起。雖有十四秒之大動。幸東西之水平動。人畜無傷云。

獎勵產業

嘉義郡因產業獎勵所關。定來

詩壇

席上呈樸雅吟社諸君 吳子宏

二月春風樸子街。杖藜緩步景偏佳。吟壇誰作中流柱。勝會人多大雅儕。自覺風塵交倍廣。轉憐文字運偏乖。步兵阮籍眞豪爽。荷鍤隨行到處埋。

次韻 楊爾材

老來慚愧入花街。那管裙釵色孰佳。舊雨重逢消別恨。新詩一讀爽吟懷。共知身世艱難甚。莫歎生涯遇合乖。自古文章憎命薄。人間無地可憂埋。

次韻 林友笛

詩星朗々照荒街。留得騷壇韻事佳。笑我庸才雖用世。讀君佳作可開懷。欣將菽水娛親樂。恥向蒼穹訴命乖。吾輩文章聲價賤。深山何處俗名埋。

恭輓苔秋夫子 王自新

一騎青虬上尾箕。修文赴召玉樓時。贈依馬帳師雖見。憑吊鯉庭魂豈知。克紹太邱皆肖子。遺芳甚報有新詩。門牆桃李花開日。無復春風化雨滋。

父郭進昌儀四月拾參日花蓮港醫院ニ於テ死去致候間此段謹告仕候
追而四月貳拾日正午ヨリ自宅ニ於テ告別式相營可申候
昭和拾年四月貳拾五日
基隆市旭町貳丁目貳拾七番地
男 郭華洲 郭清津
孫 郭鴻鳴 郭茂樹
姪 郭奕泉 郭焜業 郭勝
親族 一同
友人 一同

新泉利商行主郭進昌殿四月十三日逝去被致候間此段及謹告候也
昭和十年四月二十五日
新泉利商行 一同

當組合理事郭進昌殿四月十三日死去被致候間此段及謹告候也
昭和十年四月二十五日
花蓮港定置漁業信用購買組合

當社取締役郭進昌殿四月十三日死去被致候間此段及謹告候也
昭和十年四月二十五日
臺灣海陸物產株式會社